

令和元年度  
久留米市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
報告書  
(資料編)

令和2年7月

久留米市



## 目次

<b>I 回答者の属性</b> . . . . .	<b>1</b>
(1) 調査票の記入者 . . . . .	1
(2) 対象者の所在 . . . . .	1
(3) 性別・年齢 . . . . .	1
(4) 認定状況 . . . . .	2
(5) 居住地 . . . . .	2
<b>II 生活機能評価等に関する分析</b> . . . . .	<b>4</b>
1 生活機能	
(1) 運動器 . . . . .	4
(2) 閉じこもり . . . . .	6
(3) 転倒 . . . . .	8
(4) 栄養 . . . . .	10
(5) 口腔 . . . . .	12
(6) 認知 . . . . .	14
(7) うつ . . . . .	16
2 手段的日常生活動作	
(1) 手段的日常生活動作 . . . . .	18
(2) 知的能動性 . . . . .	20
3 社会参加	
(1) 社会的役割 . . . . .	22
<b>III 調査結果</b> . . . . .	<b>24</b>
問1 あなたのご家族や生活状況について . . . . .	24
問2 からだを動かすことについて . . . . .	29
問3 食べることについて . . . . .	34
問4 毎日の生活について . . . . .	41
問5 地域での活動について . . . . .	52
問6 たすけあいについて . . . . .	58
問7 健康について . . . . .	66
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について . . . . .	72

問 9	セーフコミュニティの取り組みについて	73
問 9-1	転倒予防について	73
問 9-2	高齢者の虐待防止について	75
問 9-3	防災について	77
問 10	地域包括支援センターについて	79

## I 回答者の属性

### (1) 調査票の記入者

	全 体	本人	家族	その他	無回答
全 体	3,673 100.0	2,430 66.2	140 3.8	20 0.5	1,083 29.5
要支援1	515 100.0	291 56.5	45 8.7	4 0.8	175 34.0
要支援2	521 100.0	263 50.5	47 9.0	12 2.3	199 38.2
一般高齢者	2,623 100.0	1867 71.2	47 1.8	4 0.2	705 26.9

### (2) 対象者の所在

	全 体	入院中	施設入所中	転居	死亡	その他	無回答
全 体	3,811 100.0	49 1.3	16 0.4	4 0.1	1 0.0	68 1.8	3,673 96.4
要支援1	564 100.0	16 2.8	11 2.0	- -	- -	22 3.9	515 91.3
要支援2	550 100.0	12 2.2	4 0.7	2 0.4	- -	11 2.0	521 94.7
一般高齢者	2,683 100.0	21 0.8	1 0.0	2 0.1	1 0.0	35 1.3	2,623 97.8

### (3) 性別・年齢

		全 体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全 体		3,673 100.0	789 21.5	870 23.7	736 20.0	651 17.7	409 11.1	204 5.6	14 0.4
性 別	男性	1,416 100.0	361 25.5	369 26.1	315 22.2	210 14.8	111 7.8	50 3.5	- -
	女性	2,243 100.0	428 19.1	501 22.3	421 18.8	441 19.7	298 13.3	154 6.9	- -
	無回答	14 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	14 100.0

(4) 認定状況

		全 体	要支援 1	要支援 2	介護認定は 受けていない	無回答
全 体		3,673 100.0	515 14.0	521 14.2	2,623 71.4	14 0.4
性 別	男性	1,416 100.0	130 9.2	143 10.1	1,143 80.7	- -
	女性	2,243 100.0	385 17.2	378 16.9	1,480 66.0	- -
	無回答	14 100.0	- -	- -	- -	14 100.0

(5) 居住地

		全体	日常生活圏域										無回答	
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		K
全 体		3,673 100.0	310 8.4	376 10.2	321 8.7	302 8.2	255 6.9	377 10.3	412 11.2	284 7.7	388 10.6	345 9.4	289 7.9	14 0.4
性 別	男性	1,416 100.0	122 8.6	150 10.6	100 7.1	124 8.8	95 6.7	140 9.9	166 11.7	115 8.1	143 10.1	142 10.0	119 8.4	- -
	女性	2,243 100.0	188 8.4	226 10.1	221 9.9	178 7.9	160 7.1	237 10.6	246 11.0	169 7.5	245 10.9	203 9.1	170 7.6	- -
	無回答	14 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	14 100.0

圏域	小学校区								高齢化率
A	西国分	東国分							23.67%
B	荘島	日吉	篠山	南薫	長門石				23.81%
C	南	津福							25.97%
D	京町	鳥飼	金丸						24.63%
E	御井	合川							22.58%
F	上津	高良内	青峰						28.82%
G	小森野	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島			27.14%
H	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸		32.91%
I	城島	下田	青木	江上	浮島	犬塚	三瀧	西牟田	30.24%
J	荒木	安武	大善寺						28.92%
K	山川	山本	草野	善導寺	大橋				30.81%

※令和元年 12 月 1 日時点

## ※ 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

## Ⅱ 生活機能評価等に関する分析

### 1 生活機能

#### (1) 運動器

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下者と判定しました。

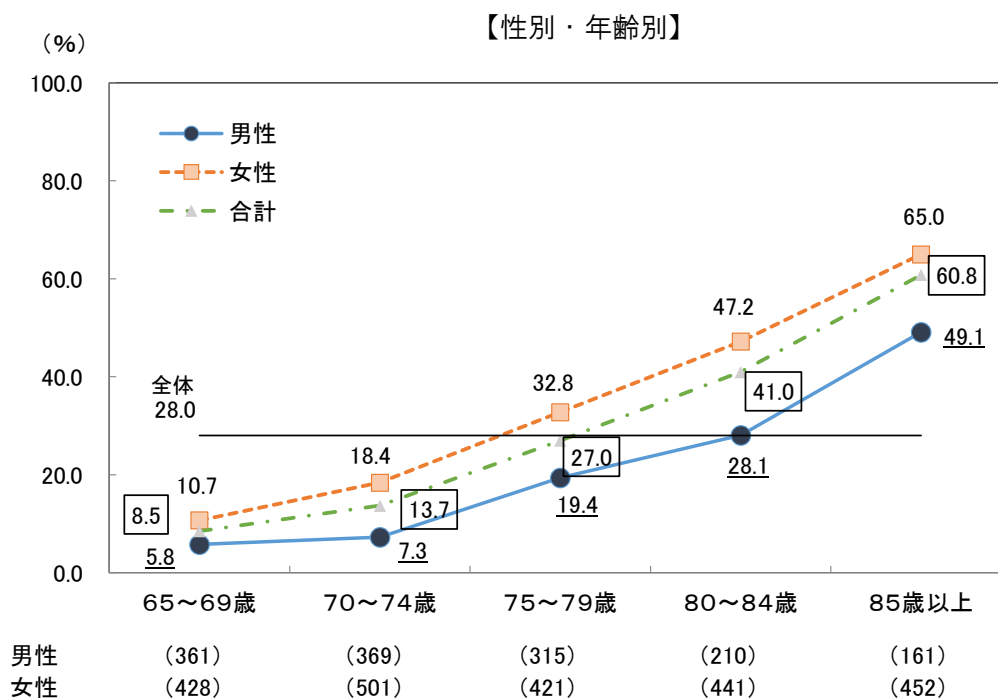
#### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問9-1 (1)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9-1 (2)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

#### 【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、回答者全体のうち28.0%が運動器の機能低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では、すべての年代で男性に比べ運動器の機能低下者の割合が高く、85歳以上では65.0%と80~84歳に比べ17.8ポイント上昇しています。一方、男性では各年代で全体を下回っています。

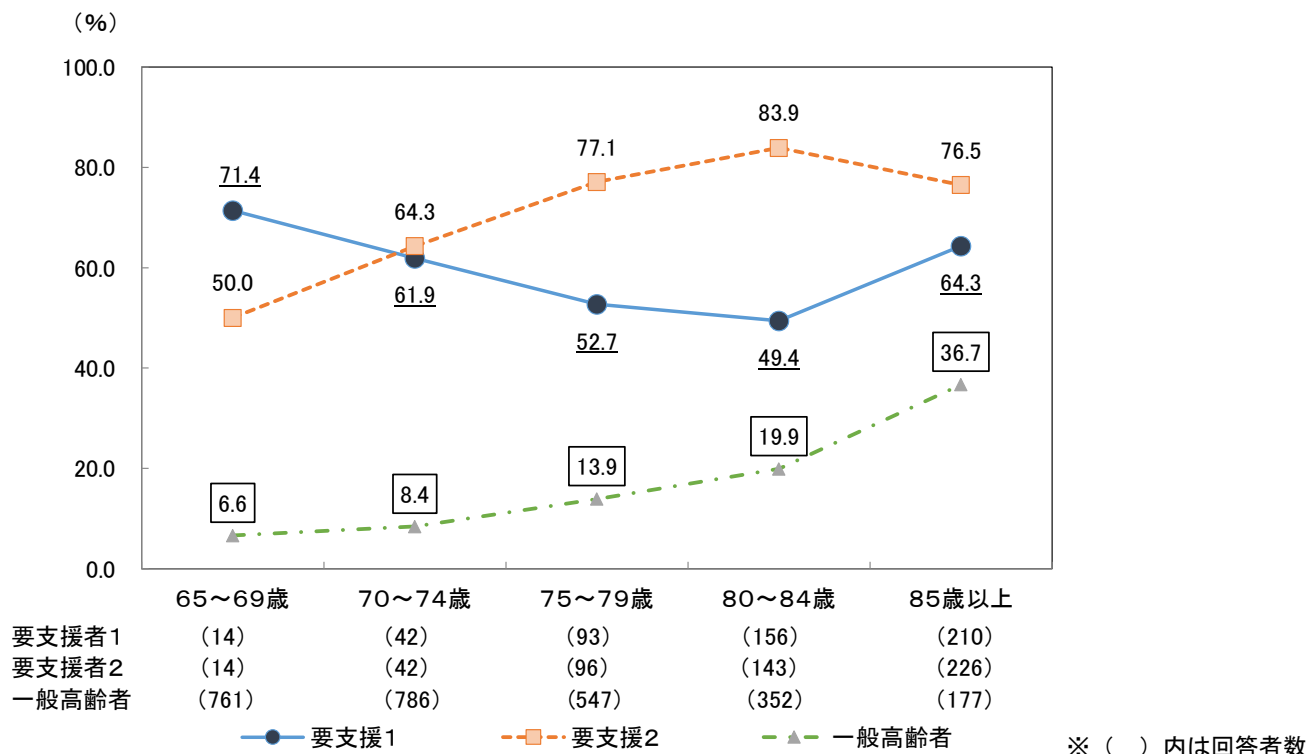


※ ( ) 内は回答者数



認定・年齢階級別でみると、要支援2では75～79歳以上の年齢層で7割を超えています。

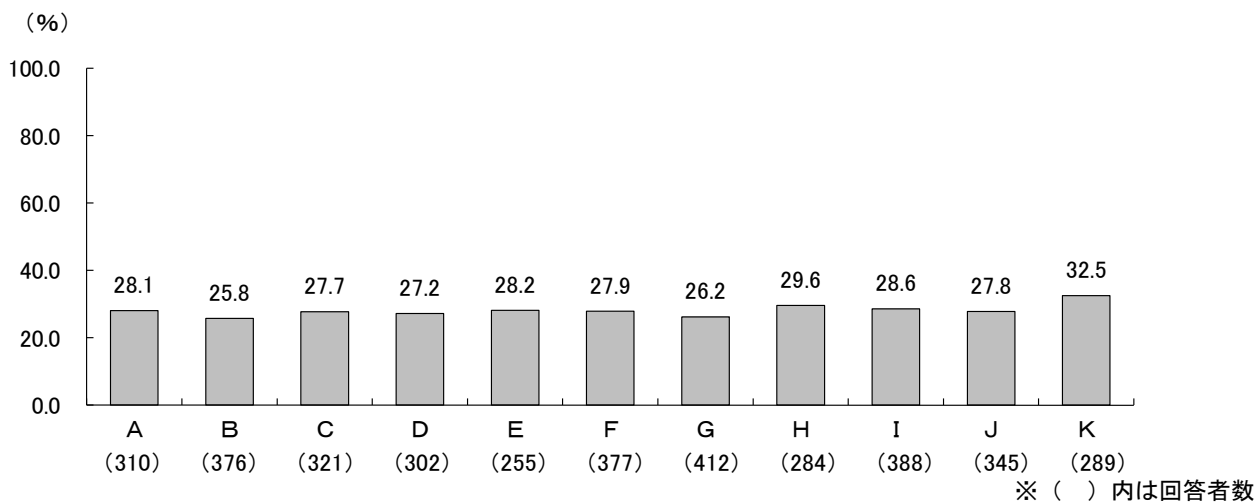
【要支援認定・年齢別】



圏域別でみると、A圏域、E圏域、H圏域、I圏域及びK圏域でリスクの高い人の割合が全体(28.0%)を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で32.5%、最も低い圏域はB圏域で25.8%となっており、6.7ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



## (2) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりリスクの高い人と判定しました。

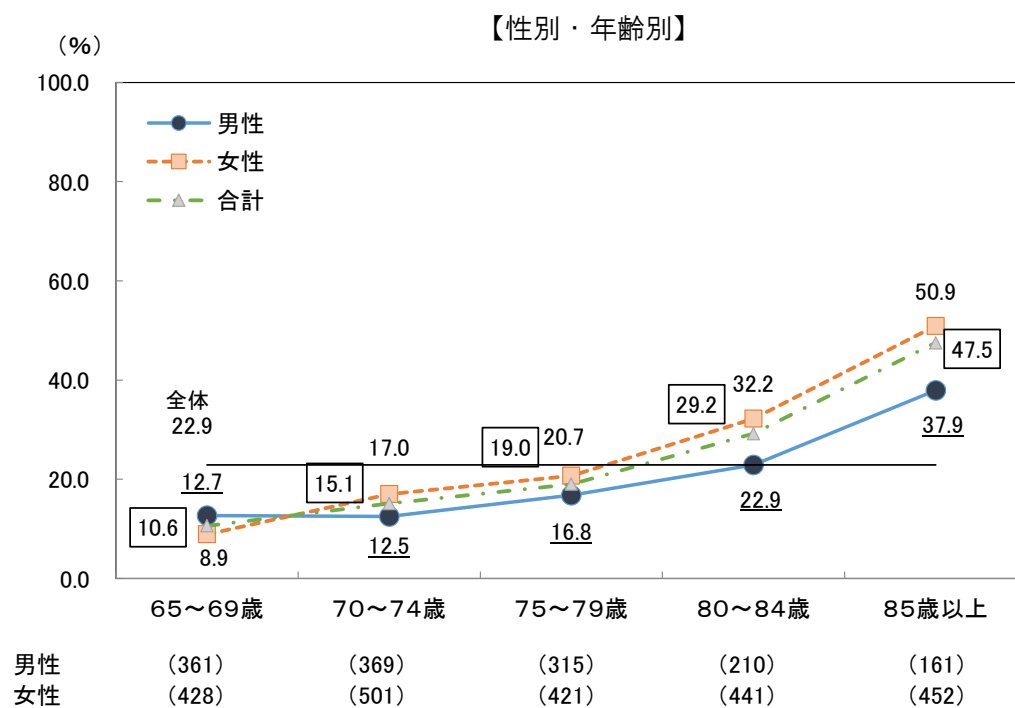
### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

### 【リスク該当状況】

閉じこもりの判定結果をみると、回答者全体のうち 22.9%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

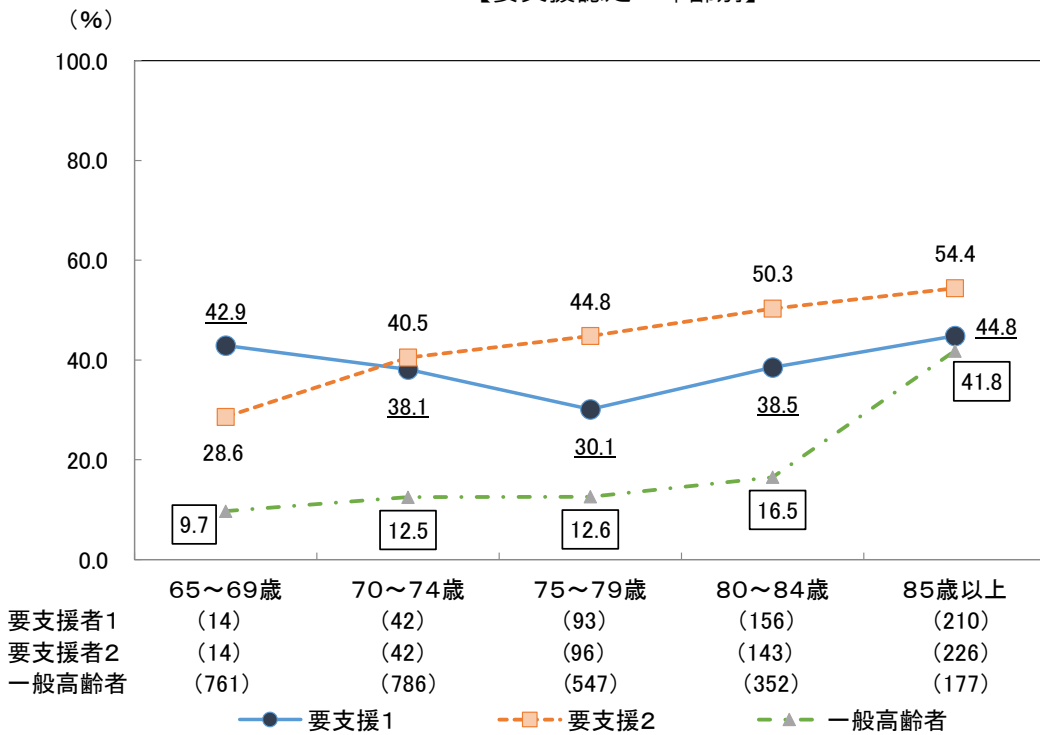
性別・年齢階級別でみると、女性では、80～84歳から割合が大きく増加しており、男性では85歳以上で割合が大きくなっています。



※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では85歳以上で割合が大きく増加しています。

【要支援認定・年齢別】

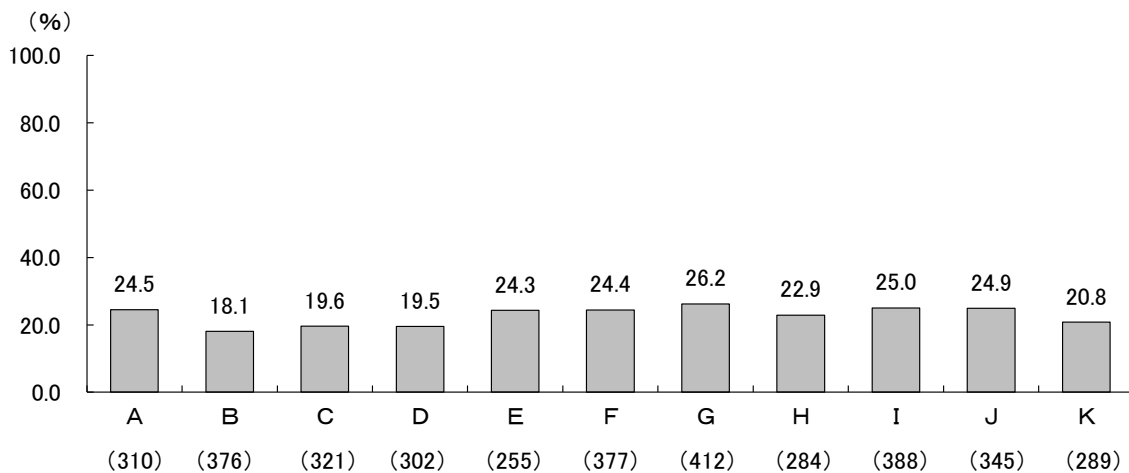


※ ( ) 内は回答者数

圏域別でみると、A圏域、E圏域、F圏域、G圏域、I圏域及びJ圏域で、リスク該当者の割合が全体(22.9%)を超えています。

また、最も高い圏域はG圏域で26.2%、最も低い圏域はB圏域で18.1%となっており、8.1ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



※ ( ) 内は回答者数

### (3) 転倒

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒リスクの高い人と判定しました。

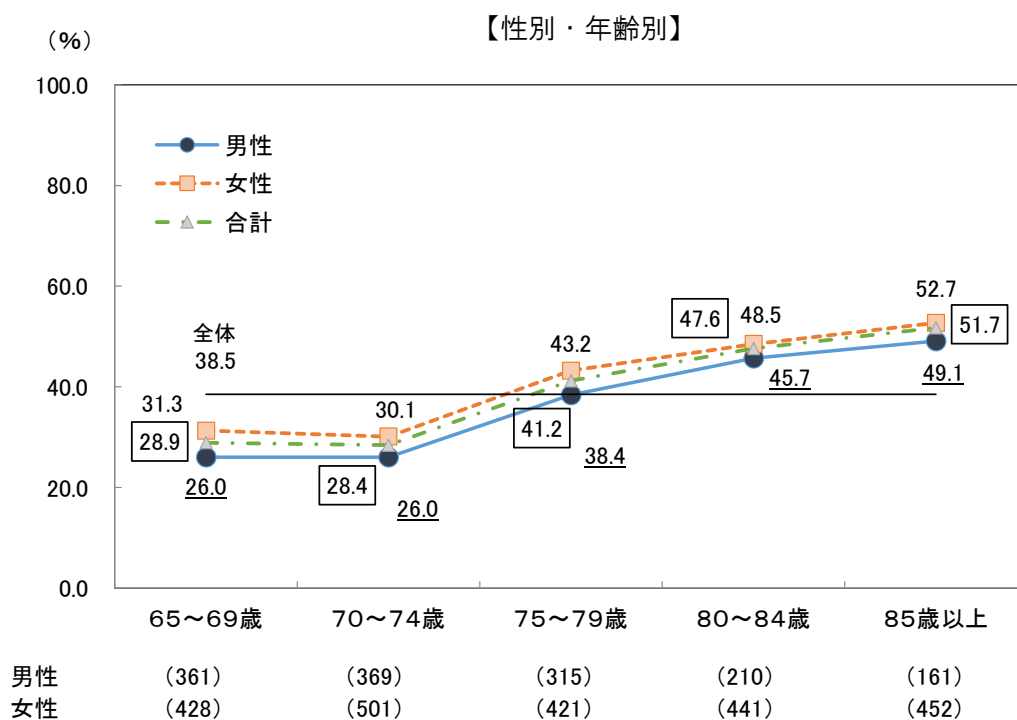
#### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問9-1(1)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

#### 【リスク該当状況】

転倒の評価結果をみると、回答者全体のうち38.5%が転倒のリスク該当者となっています。

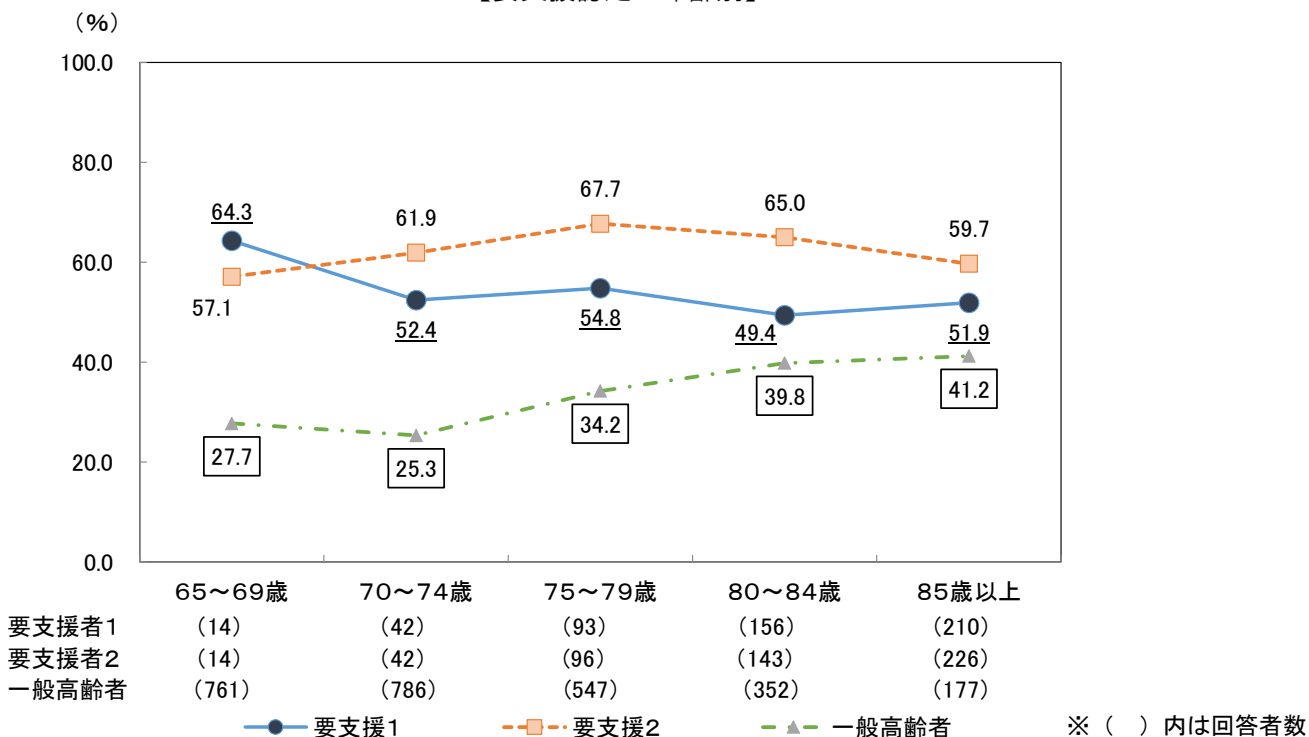
性別・年齢階級別でみると、どの年齢層でも男性に比べ女性が上回っており、またいずれも75～79歳で割合が増加しています。



※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では75～79歳で割合が増加しています。

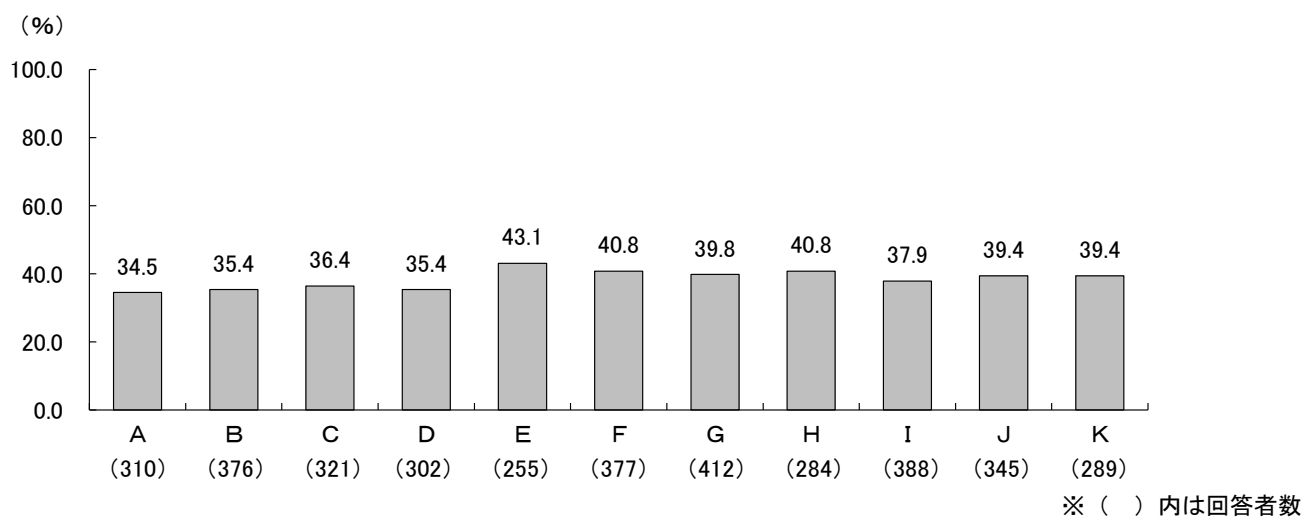
【要支援認定・年齢別】



圏域別でみると、E圏域、F圏域、G圏域、H圏域、J圏域及びK圏域でリスク該当者の割合が全体(38.5%)を超えています。

また、最も高い圏域はE圏域で43.1%、最も低い圏域はA圏域で34.5%となっており、8.6ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



#### (4) 栄養

調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する場合、低栄養のリスクが高い人と判定しました。

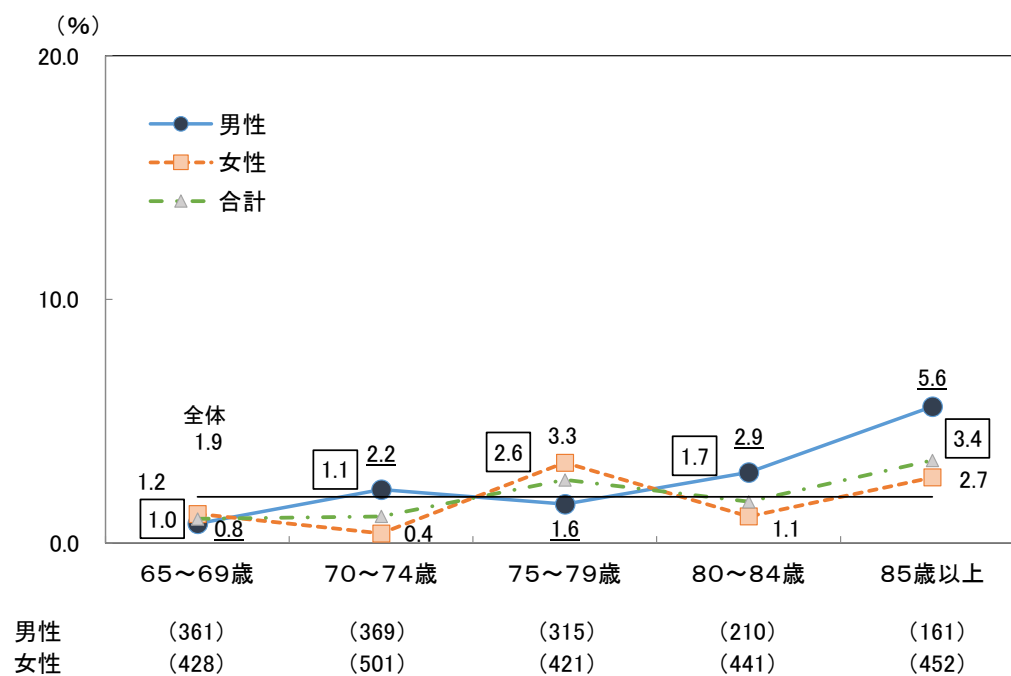
##### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

##### 【リスク該当状況】

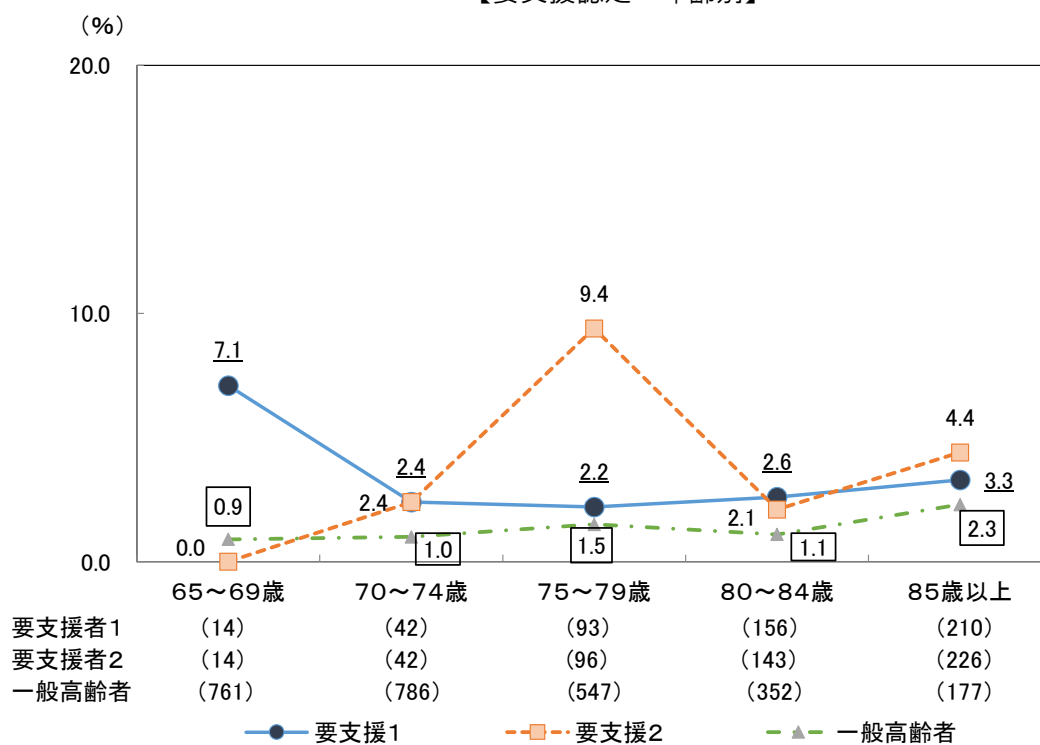
栄養の評価結果をみると、回答者全体のうち1.9%が低栄養のリスク該当者となっています。  
性・年齢別でみると、男性では、80～84歳以降、割合が高くなる傾向にあります。

##### 【性別・年齢別】



認定・年齢階級別にみると、要支援2の75～79歳で9.4%と最も高くなっています。

【要支援認定・年齢別】



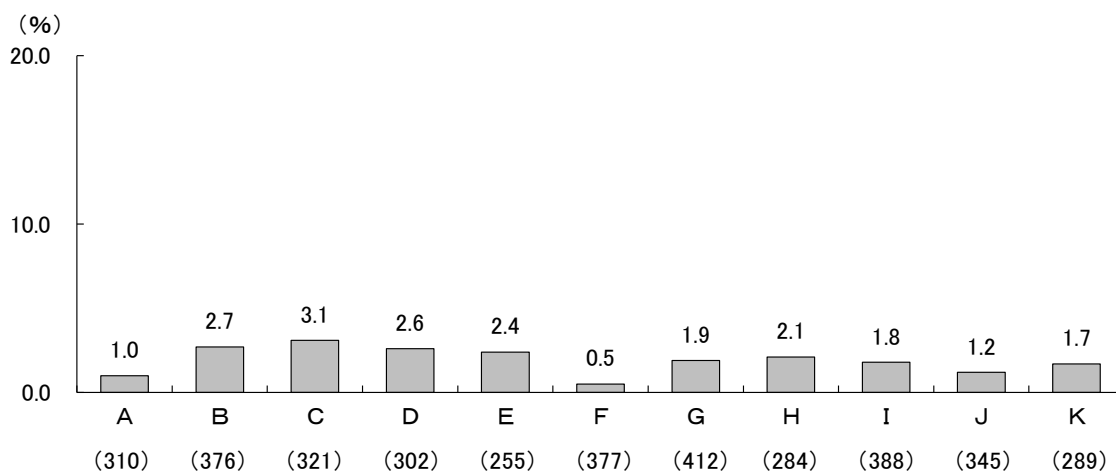
要支援者1	(14)	(42)	(93)	(156)	(210)
要支援者2	(14)	(42)	(96)	(143)	(226)
一般高齢者	(761)	(786)	(547)	(352)	(177)

※ ( ) 内は回答者数

圏域別でみると、B圏域、C圏域、D圏域、E圏域、及びH圏域で、低栄養リスクの高い人の割合が全体（1.9%）を超えています。

また、最も高い圏域はC圏域で3.1%、最も低い圏域はF圏域で0.5%となっており、2.6ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



※ ( ) 内は回答者数

## (5) 口腔

調査票の以下の設問を抽出し、3問中2問で選択肢「1. はい」に該当する人を、口腔機能低下者と判定しました。

### 【判定設問】

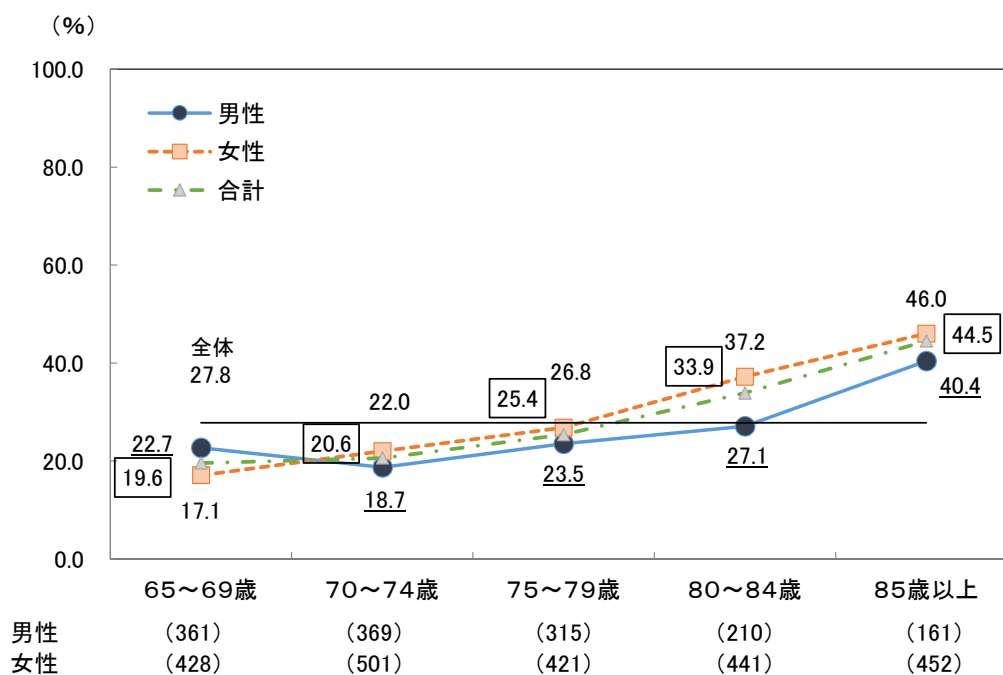
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3 (4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

口腔の評価結果をみると、回答者全体のうち27.8%が口腔機能低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男女いずれも75～79歳以降、加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。

### 【性別・年齢別】

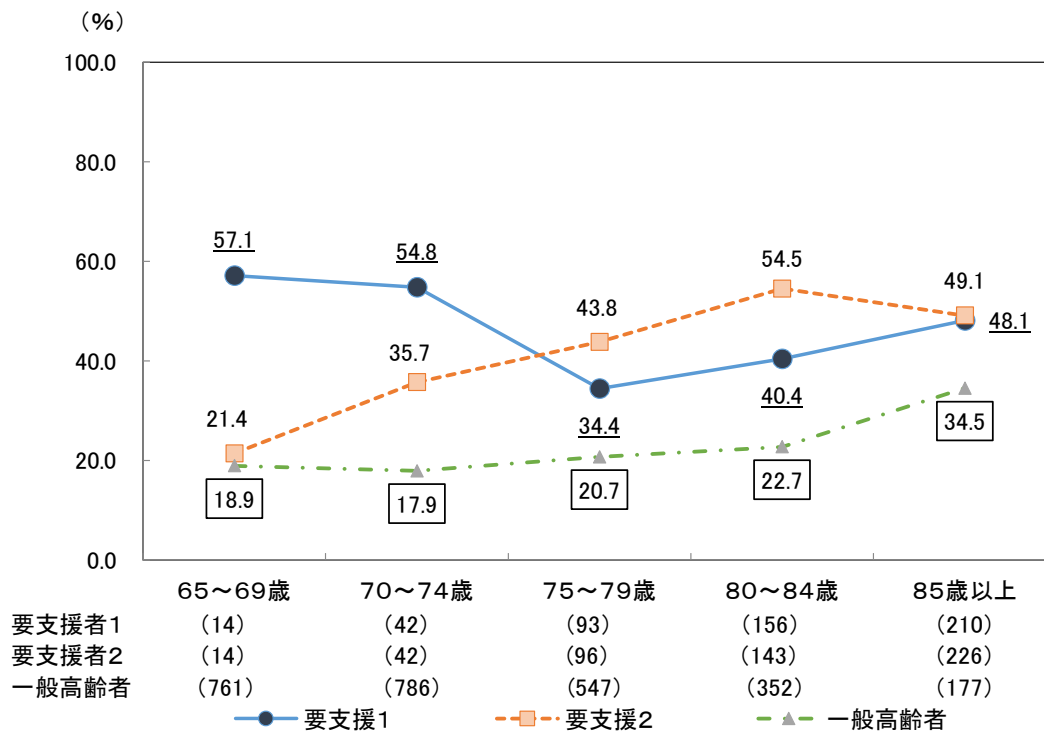


※ ( ) 内は回答者数



認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では80～84歳まで横ばいに近く、85歳以上で割合が増加しています。

【要支援認定・年齢別】

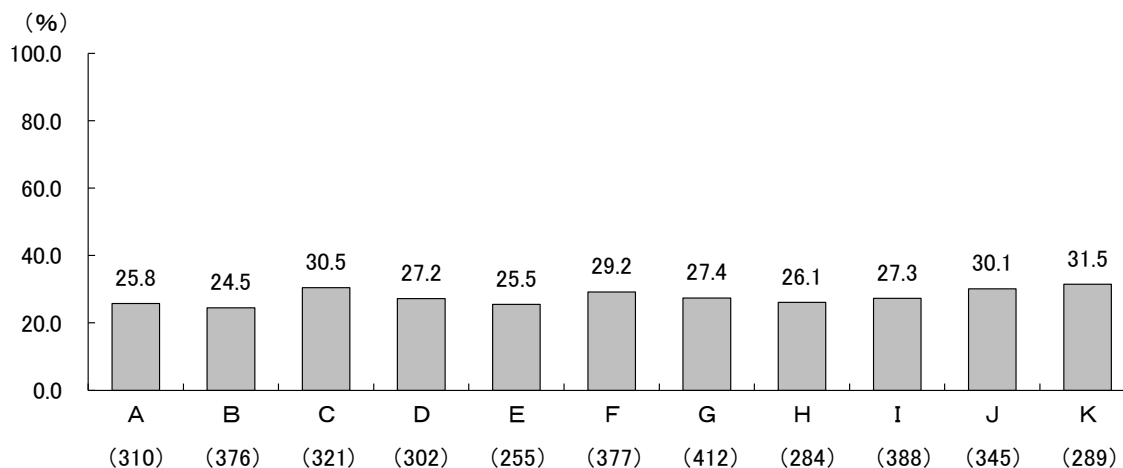


※ ( ) 内は回答者数

圏域別でみると、C圏域、F圏域、J圏域及びK圏域で口腔機能低下者の割合が全体（27.8%）を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で31.5%、最も低い圏域はB圏域で24.5%となっており、7ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



※ ( ) 内は回答者数

## (6) 認知

調査票の以下の設問を抽出し、1項目以上で「1. はい」を選択した人を、認知機能低下者と判定しました。

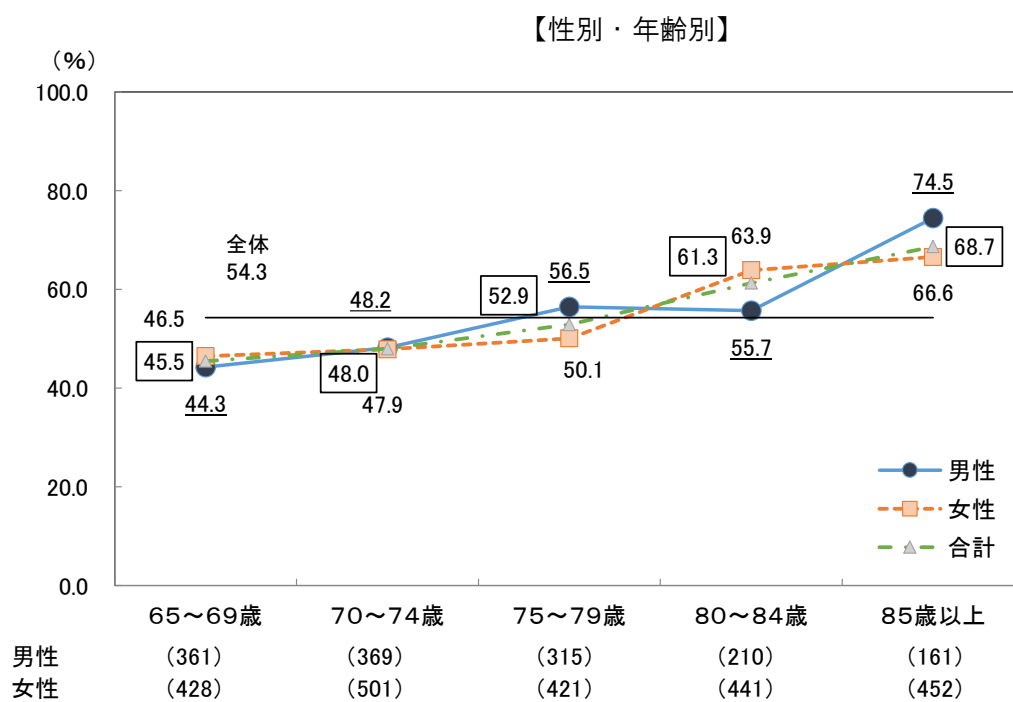
### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい
問4 (2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ
問4 (3)	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、回答者全体のうち54.3%が認知機能低下者となっています。

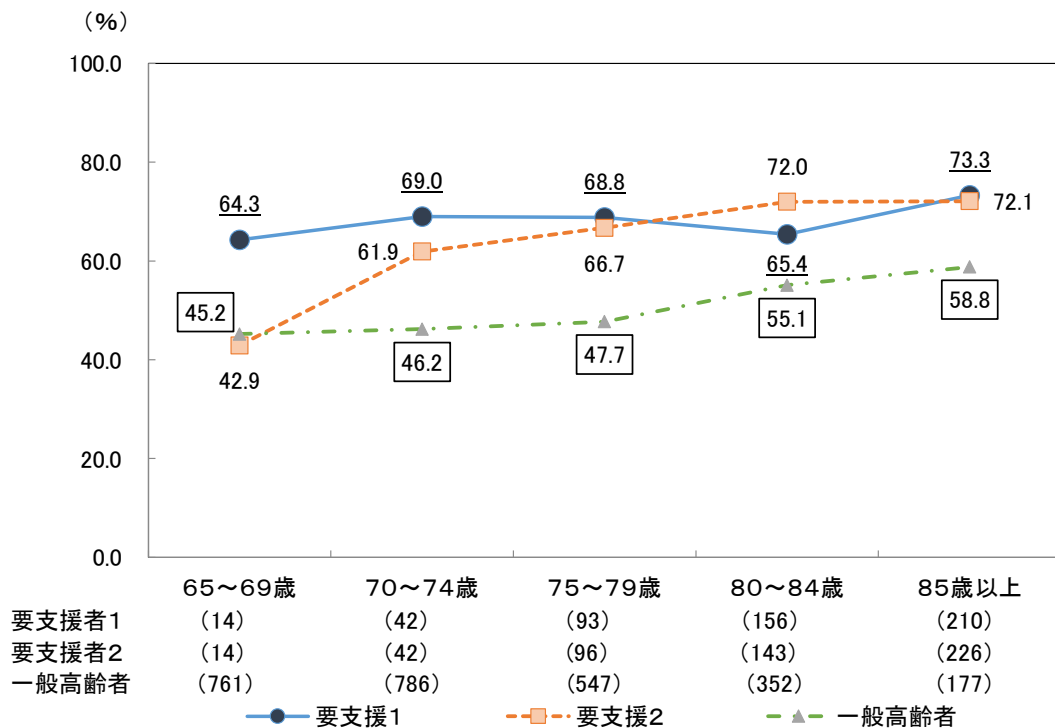
性別・年齢階級別でみると、男性の80～84歳を除き、男女ともに高い年齢層ほど割合が高くなっています。



※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、要支援1は、ほぼ横ばいで推移していますが、要支援2、一般高齢者では高い年齢層ほど割合が高くなる傾向にあり、特に要支援2では70～74歳、一般高齢者では80～84歳の時点で、割合が大きく増加しています。

【要支援認定・年齢別】

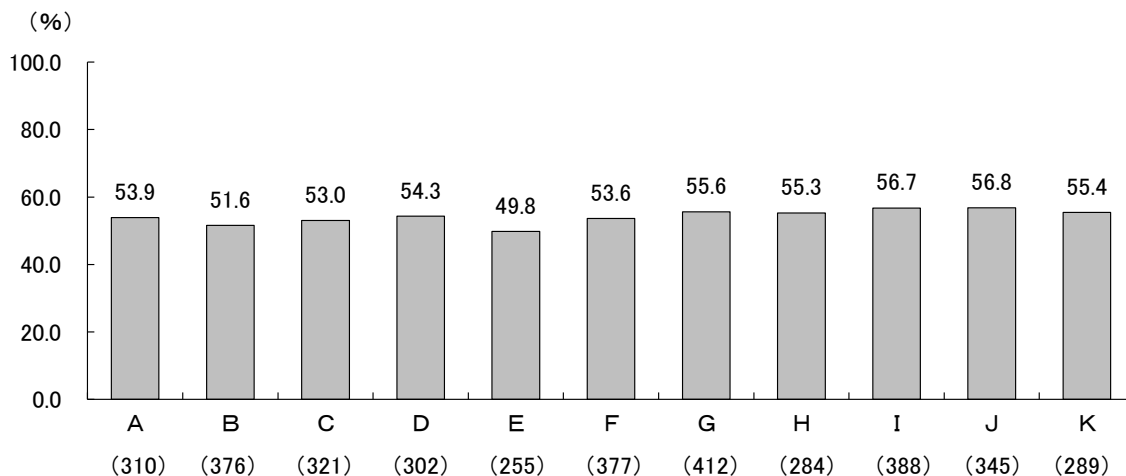


※ ( ) 内は回答者数

圏域別でみると、D圏域、G圏域、H圏域、I圏域、J圏域、及びK圏域で認知機能低下者の割合が全体(54.3%)を超えています。

また、最も高い圏域はj圏域で56.8%、最も低い圏域はE圏域で49.8%となっており、6.9ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



※ ( ) 内は回答者数

## (7) うつ

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスクが高い人と判定しました。

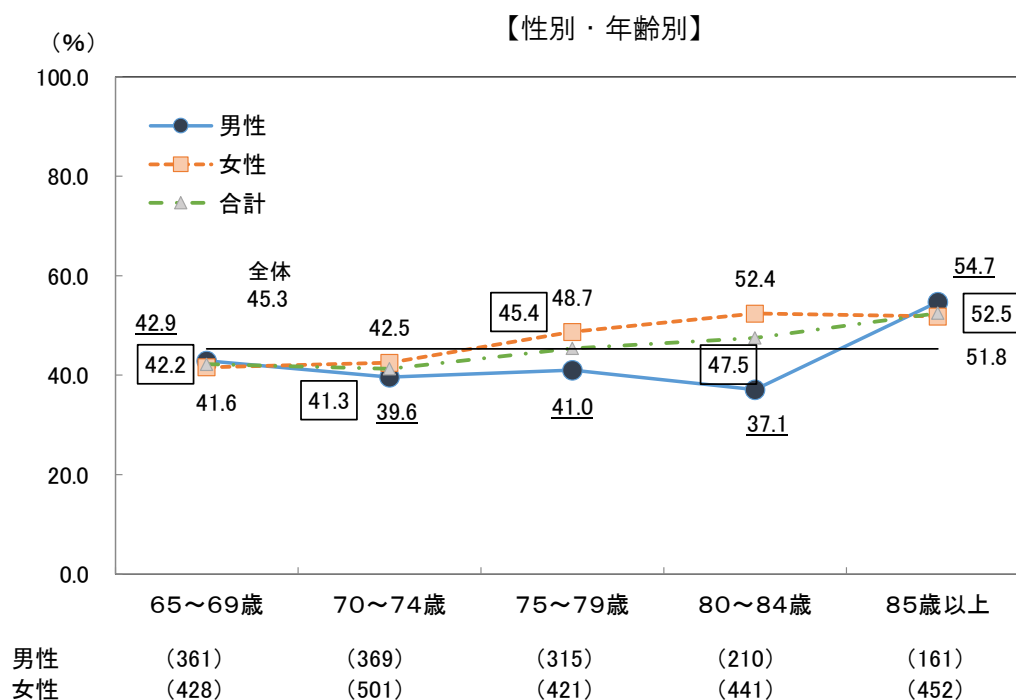
### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、回答者全体のうち45.3%がリスク該当者となっています。

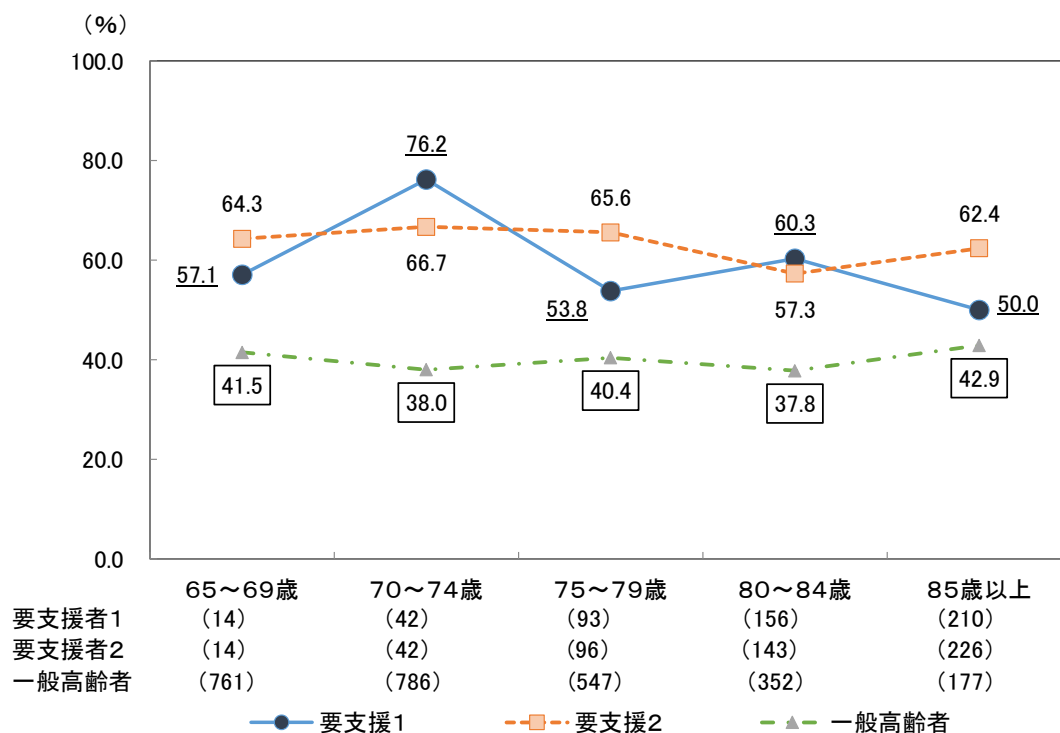
性別・年齢階級別でみると、女性は年齢層が高くなるとともに緩やかに増加していますが、男性では80～84歳までは横ばいに近く、その後85歳以上で大きく増加しています。



※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、要支援1、要支援2ではいずれの年代でも50.0%以上を占めており、一般高齢高齢者では、ほぼ横ばいに近くなっています。

【要支援認定・年齢別】



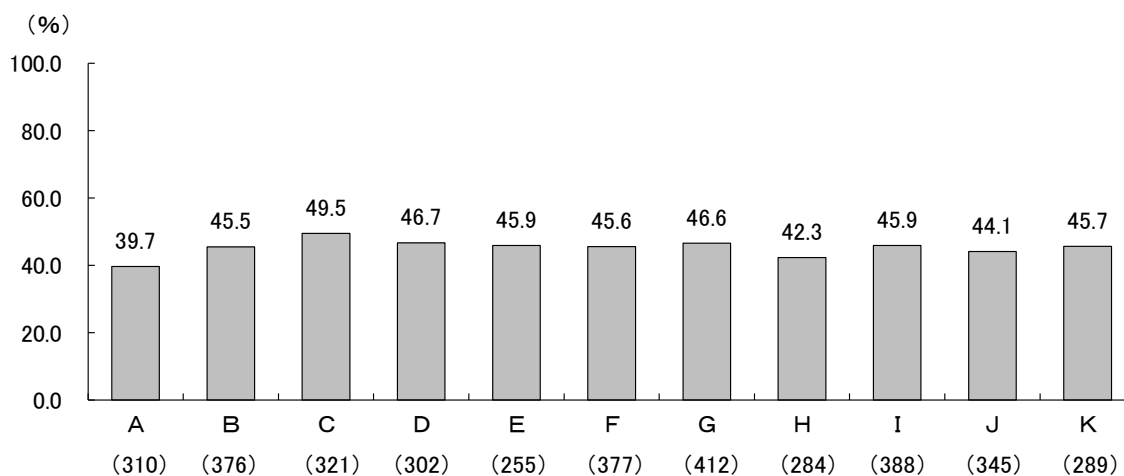
要支援者1	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
要支援者2	(14)	(42)	(93)	(156)	(210)
一般高齢者	(14)	(42)	(96)	(143)	(226)
	(761)	(786)	(547)	(352)	(177)

※ ( ) 内は回答者数

圏域別でみると、B圏域、C圏域、D圏域、E圏域、F圏域、G圏域、I圏域及びK圏域でうつリスク該当者の割合が、全体(45.3%)を超えています。

また、最も高い圏域はC圏域で49.5%、最も低い圏域はA圏域で39.7%となっており、9.8ポイントの差となっています。

【日常生活圏域別】



※ ( ) 内は回答者数

## 2 手段的日常生活動作

### (1) 手段的日常生活動作 (IADL)

外出の際に自分で公共交通機関を利用したり、金銭を管理したりするような、少し高度で日常生活を送る上で必要な動作を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的日常生活動作 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的日常生活動作 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問を通し、1つでも「できない」と回答した場合、手段的日常生活動作の低下者としています。

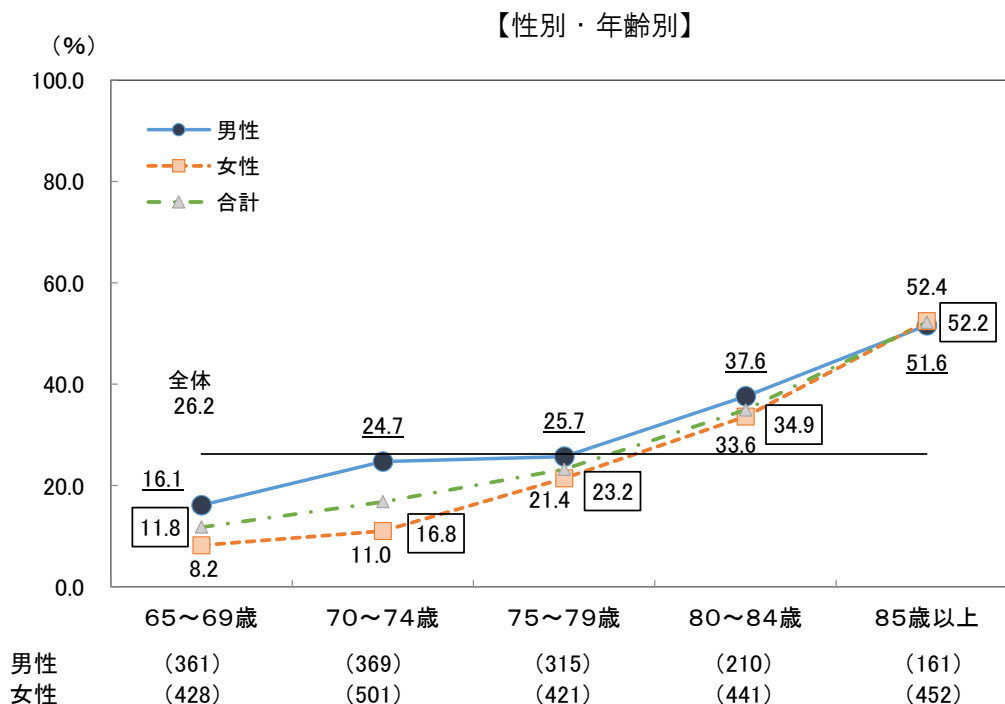
#### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	3. できない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	3. できない
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか。	3. できない
問4 (8)	自分で請求書の支払いをしていますか。	3. できない
問4 (9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	3. できない

#### 【該当状況】

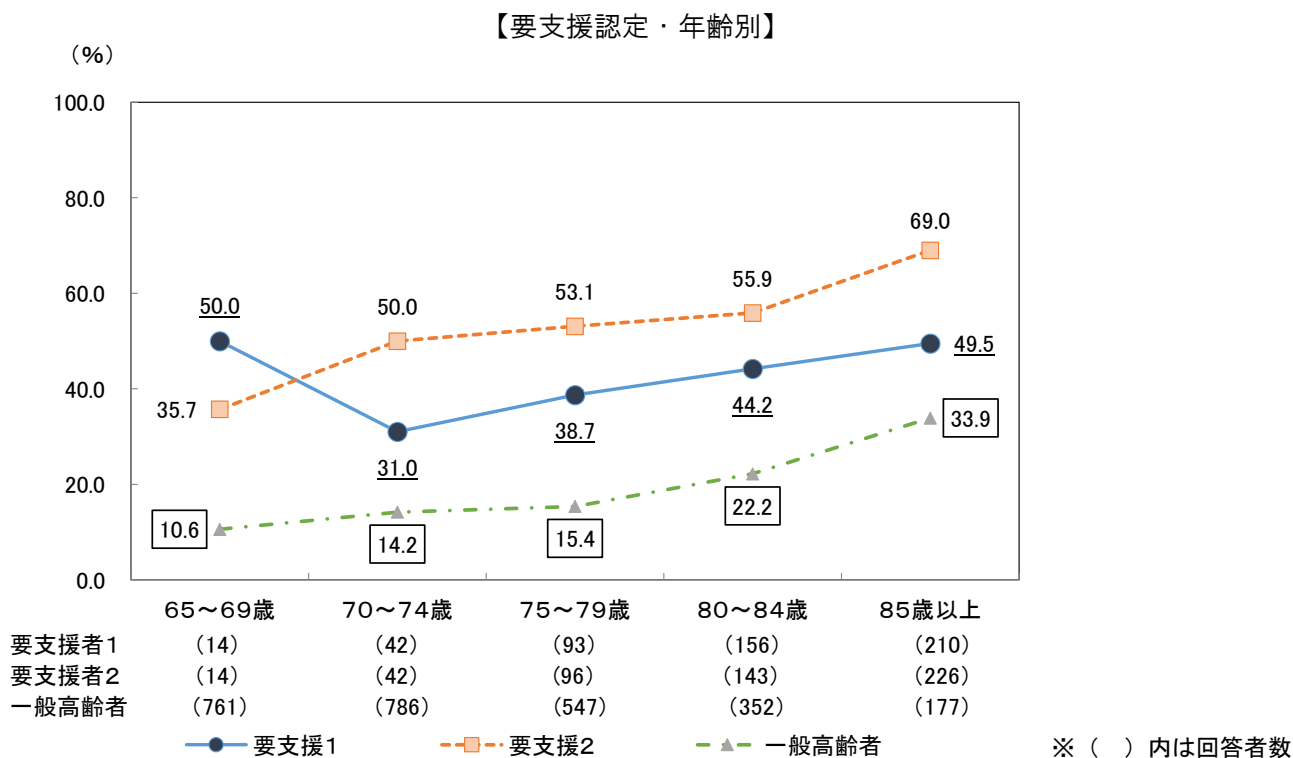
回答者全体のうち 26.2% が手段的日常生活動作の低下者に該当します。

性別・年齢階級別でみると、男女いずれも加齢とともに高くなる傾向にあり、85歳以上ではいずれも50%を超えています。



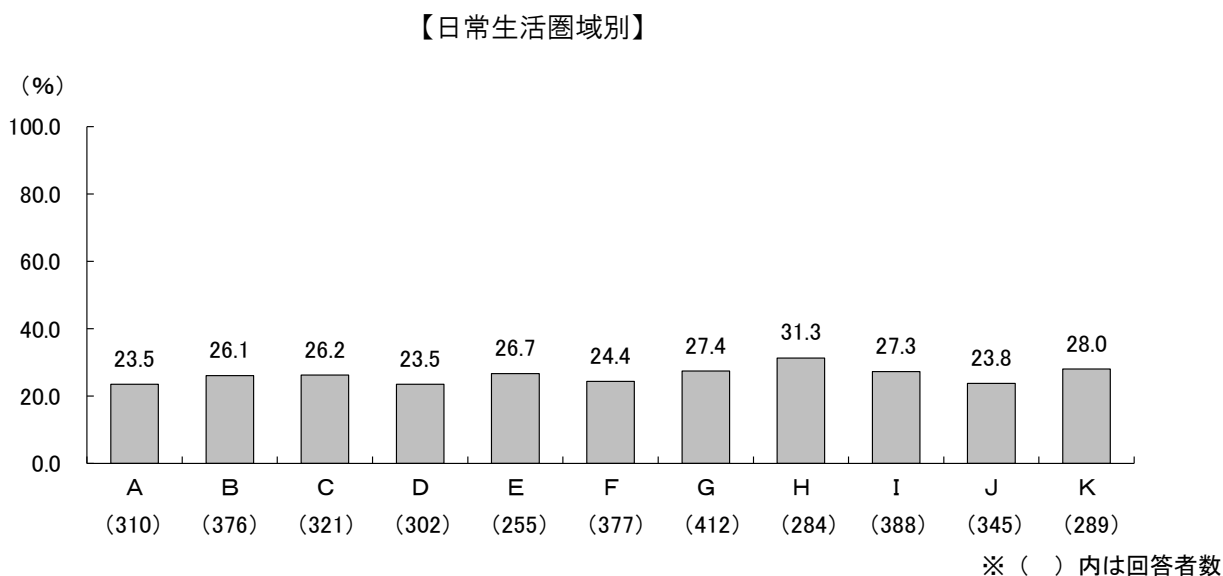
※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、要支援1の70～74歳を除き、いずれも加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。



圏域別でみると、E圏域、G圏域、H圏域、I圏域、及びK圏域で手段的日常生活動作の低下者割合が全体(26.2%)を超えています。

また、最も高い圏域はH圏域で31.3%、最も低い圏域はA圏域、D圏域で23.5%となっており、7.8ポイントの差となっています。



## (2) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価し、3点以下を知的能動性の低下者としています。

### 【判定設問】

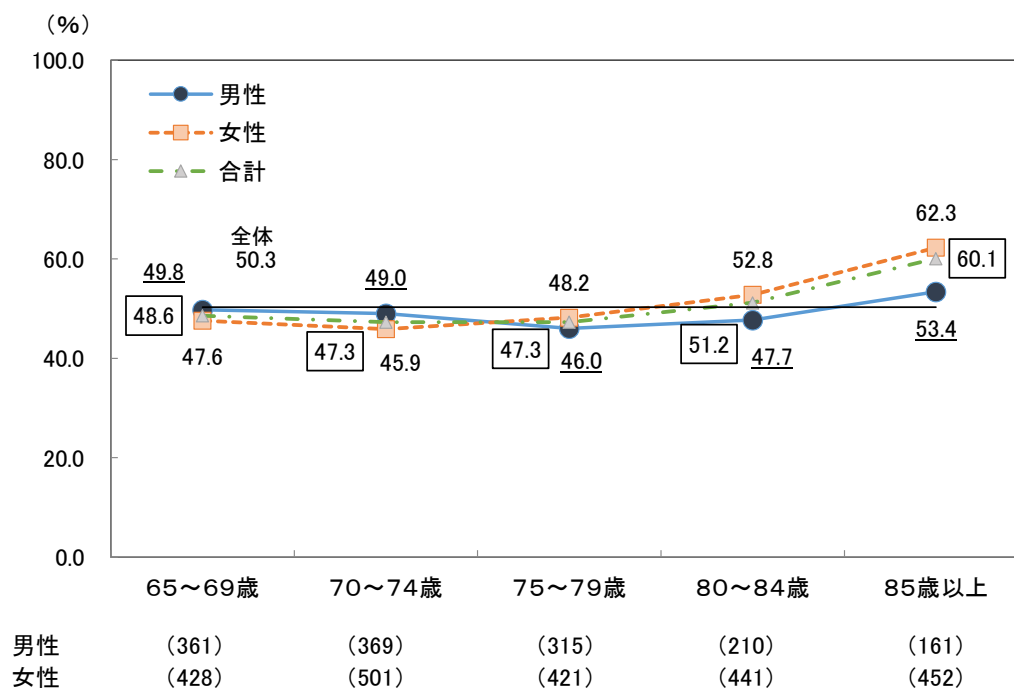
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (10)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問4 (11)	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (12)	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (13)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

### 【該当状況】

知的能動性の低下者は、回答者全体のうち50.3%となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では年齢が高くなるにつれ増加傾向にあり、85歳以上で特にその傾向が強く62.3%と、80～84歳に比べ9.5ポイント上昇しています。

【性別・年齢別】

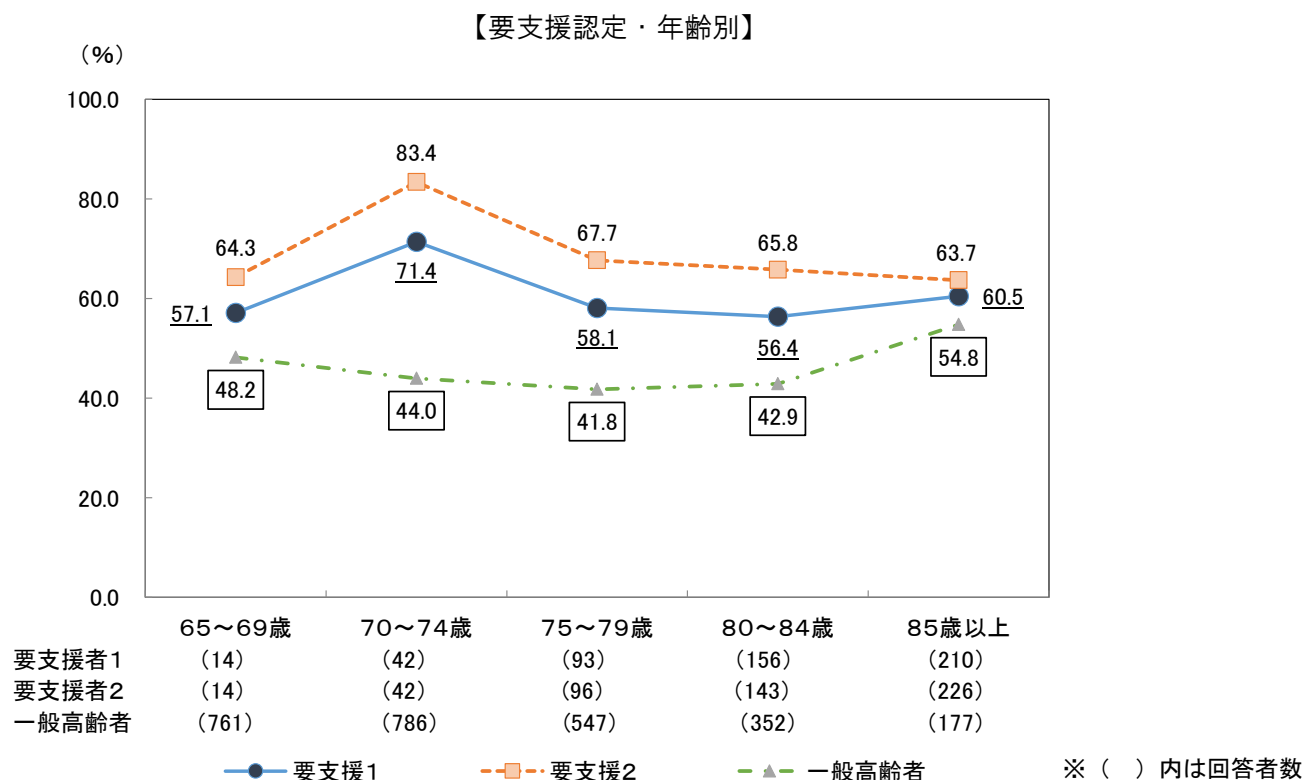


※ ( ) 内は回答者数



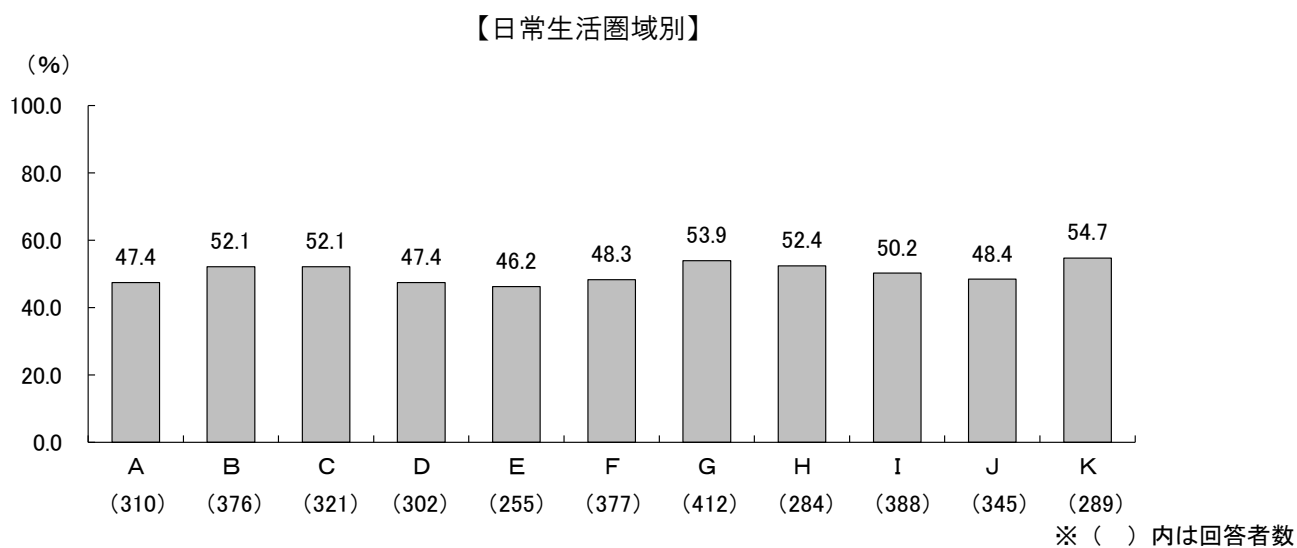
認定・年齢階級別でみると、要支援1と要支援2では、それぞれ70～74歳が最も高く、その後減少に移り、85歳以上の時点では差が3.2ポイントまで縮まっています。

一般高齢者では、85歳以上で割合が高くなっています。



圏域別でみると、B圏域、C圏域、G圏域、H圏域、及びK圏域で知的能動性の低下者割合が全体の50.3%を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で54.7%、最も低い圏域はE圏域で46.2%となっており、8.5ポイントの差となっています。



### 3 社会参加

#### (1) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価し、3点以下を社会的役割の低下者としています。

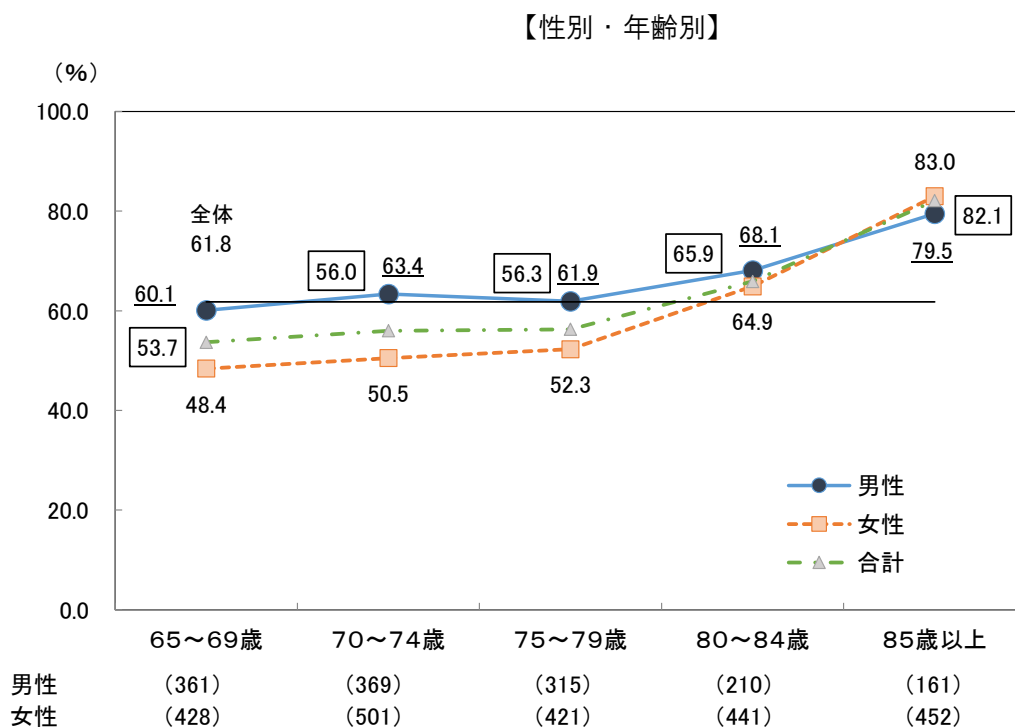
#### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (14)	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問4 (15)	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問4 (16)	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問4 (17)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

#### 【該当状況】

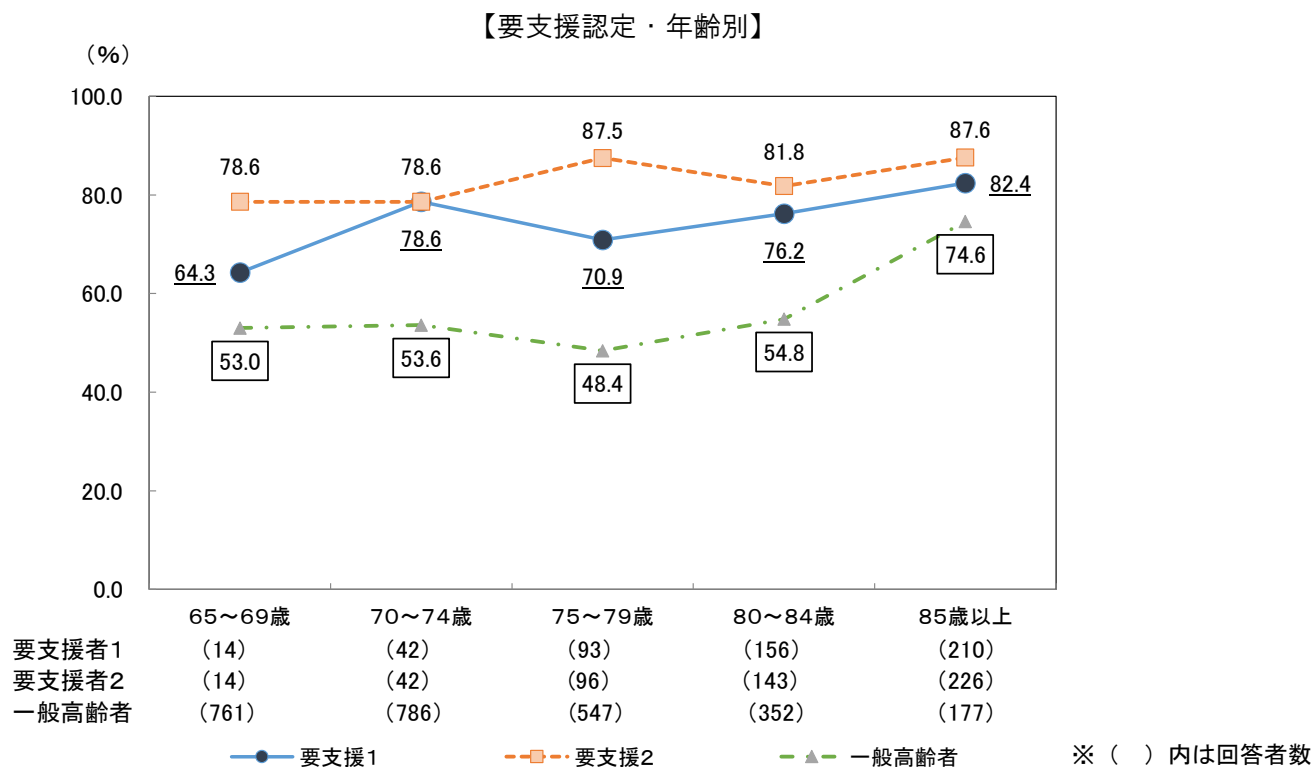
社会的役割の低下者は、回答者全体のうち61.8%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに80～84歳から大きく増加しています。



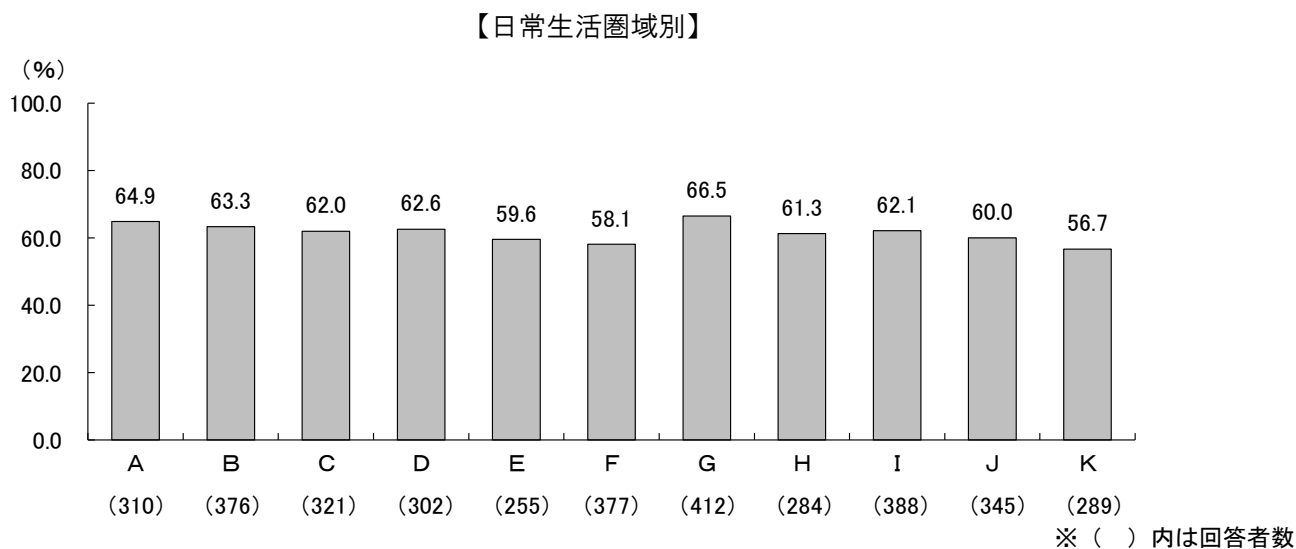
※ ( ) 内は回答者数

認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では75～79歳で一旦減少し、その後加齢とともに増加しています。



圏域別でみると、A圏域、B圏域、C圏域、D圏域、G圏域、及びI圏域で社会的役割の低下者割合が全体の61.8%を超えています。

また、最も高い圏域はG圏域で66.5%、最も低い圏域はK圏域で56.7%となっており、9.8ポイントの差となっています。



### Ⅲ 調査結果

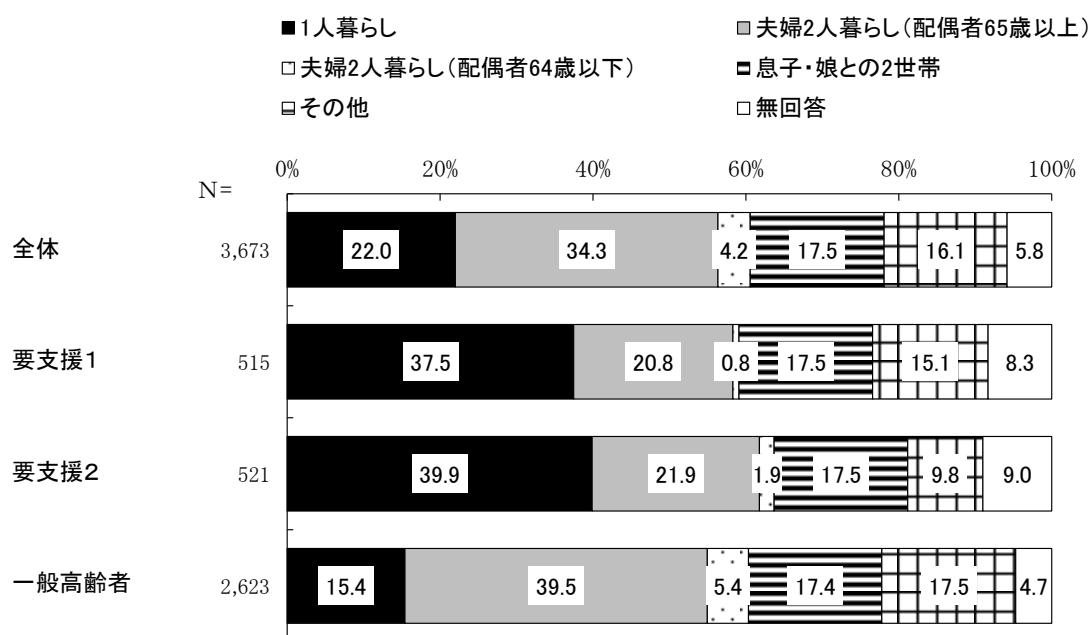
#### 問1 あなたのご家族や生活状況について

##### (1) 家族構成をお教えてください(○は1つだけ)

要支援者1では、「1人暮らし」の割合が37.5%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が20.8%、「息子・娘との2世帯」が17.5%となっています。

要支援者2では、「1人暮らし」の割合が39.9%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が21.9%、「息子・娘との2世帯」が17.5%となっています。

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が39.5%と最も高く、次いで「その他」が17.5%、「息子・娘との2世帯」が17.4%となっています。



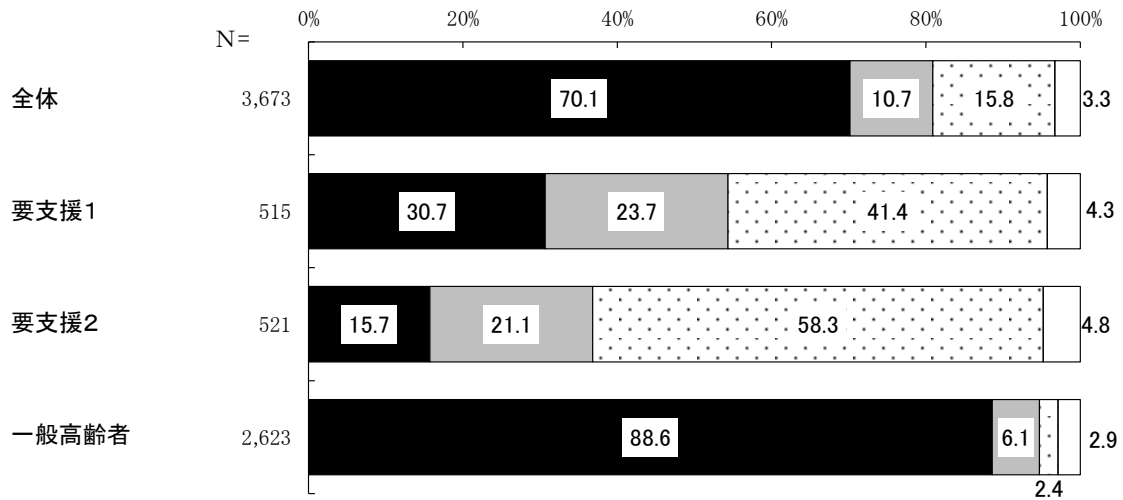
**(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つだけ)**

要支援1では、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」が 30.7%となっています。

要支援2では、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 21.1%、「介護・介助は必要ない」が 15.7%となっています。

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が 88.6%と最も高くなっています。

- 介護・介助は必要ない
- ▣ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▨ 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



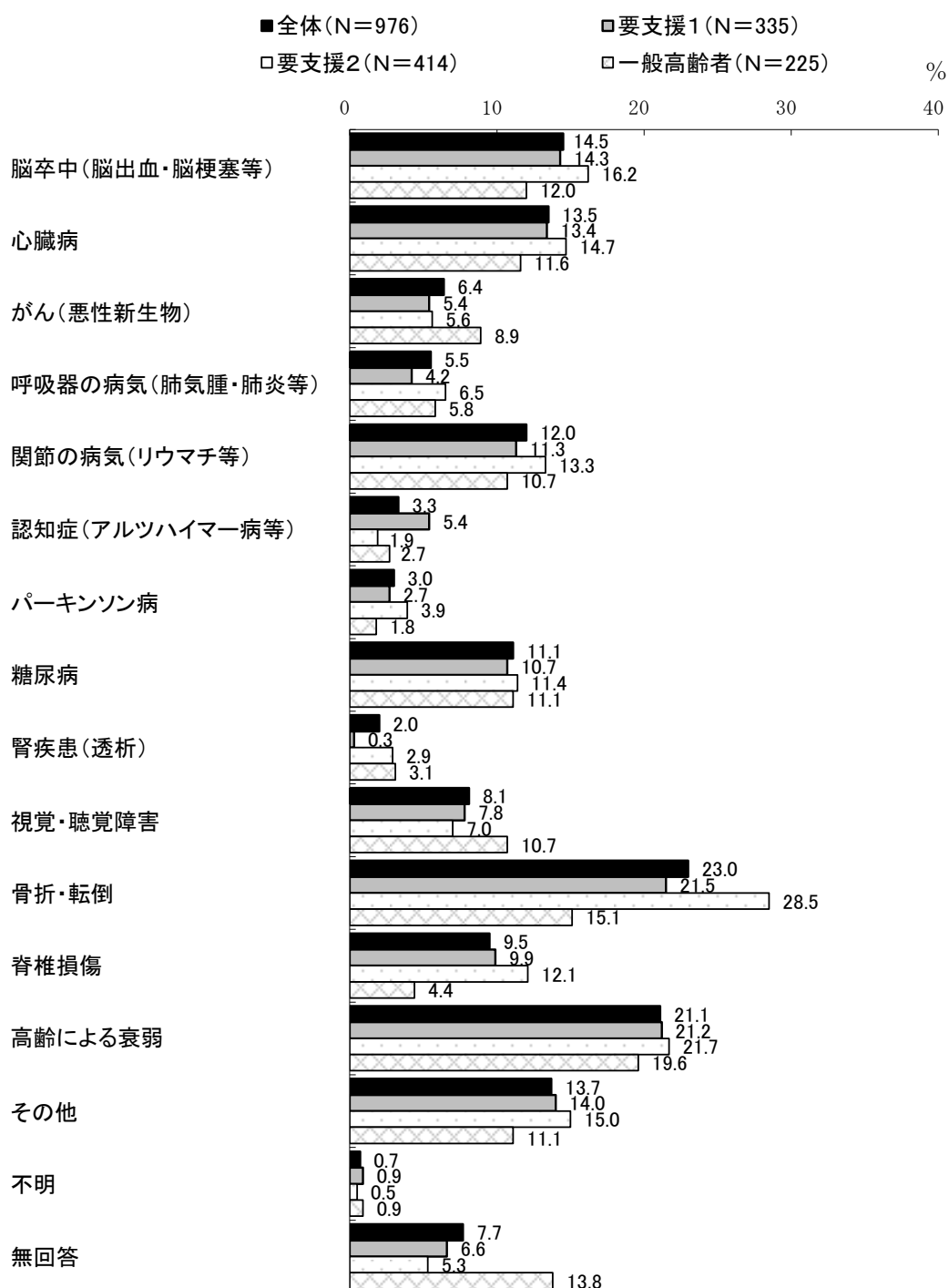
【(2) の質問で「2」もしくは「3」と回答した方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「骨折・転倒」の割合が21.5%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が21.2%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が14.3%となっています。

要支援2では、「骨折・転倒」の割合が28.5%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が21.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が16.2%となっています。

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が19.6%と最も高くなっています。



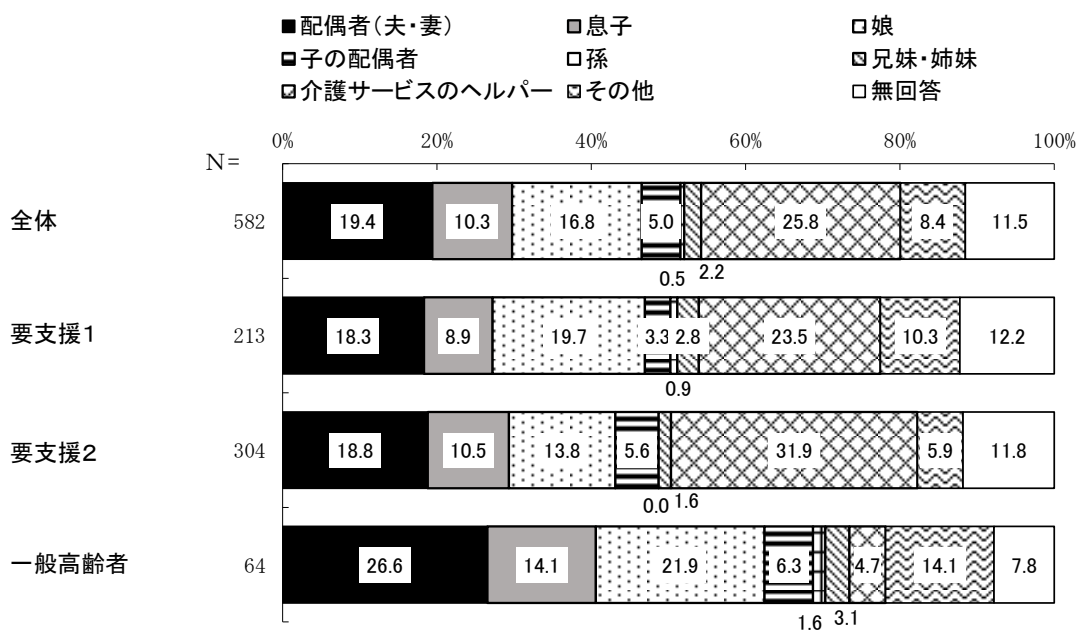
【(2) の質問で「2」もしくは「3」と回答した方のみ】

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (○は1つだけ)

要支援1では、「介護サービスのヘルパー」の割合が23.5%と最も高く、次いで「娘」が19.7%、「配偶者(夫・妻)」が18.3%となっています。

要支援2では、「介護サービスのヘルパー」の割合が31.9%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が18.8%、「娘」が13.8%となっています。

一般高齢者では、「配偶者(夫・妻)」の割合が26.6%と最も高く、次いで「娘」が21.9%となっています。

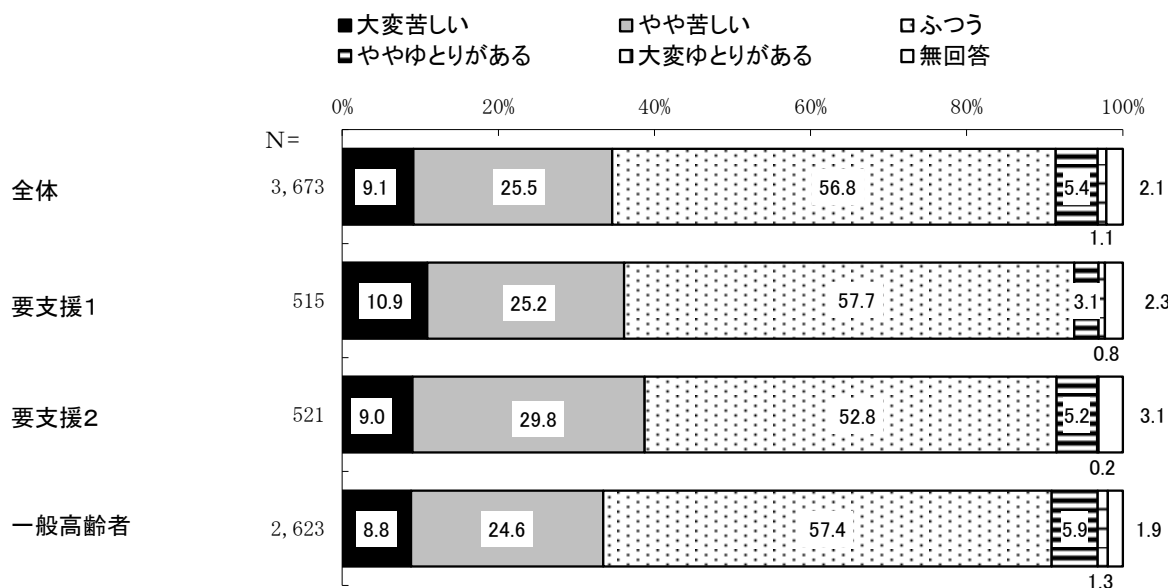


(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つだけ)

要支援1では、「ふつう」の割合が57.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.2%、「大変苦しい」が10.9%となっています。

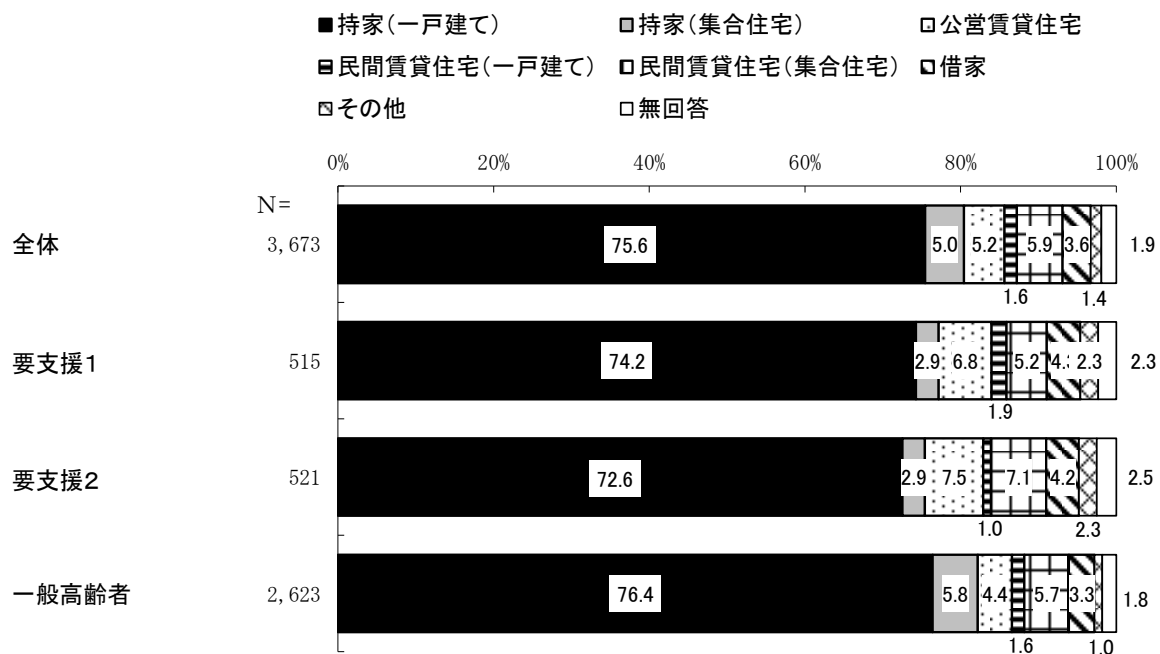
要支援2では、「ふつう」の割合が52.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が29.8%となっています。

一般高齢者では、「ふつう」の割合が57.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」が24.6%となっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つだけ)

要支援1では、「持家 (一戸建て)」の割合が74.2%と最も高くなっています。  
 要支援2では、「持家 (一戸建て)」の割合が72.6%と最も高くなっています。  
 一般高齢者では、「持家 (一戸建て)」の割合が76.4%と最も高くなっています。





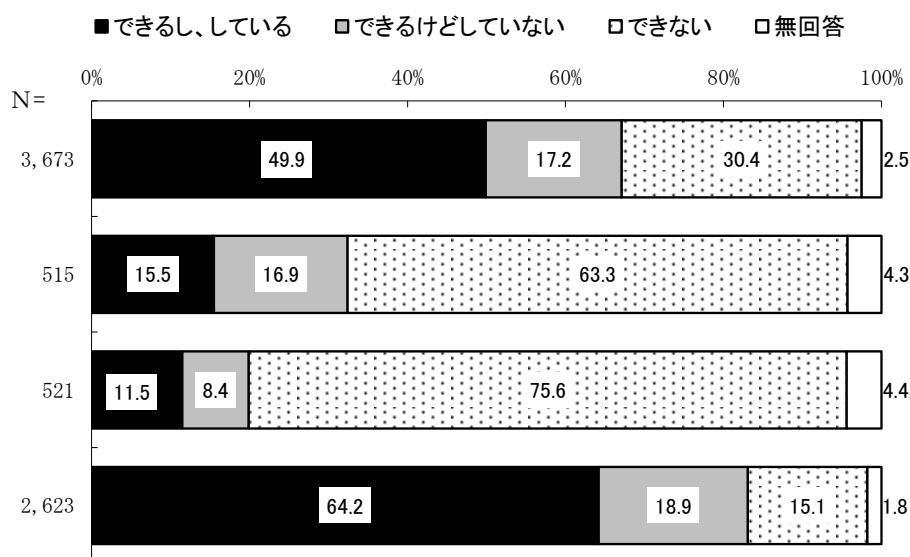
## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つだけ)

要支援1では、「できない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.9%、「できるし、している」が15.5%となっています。

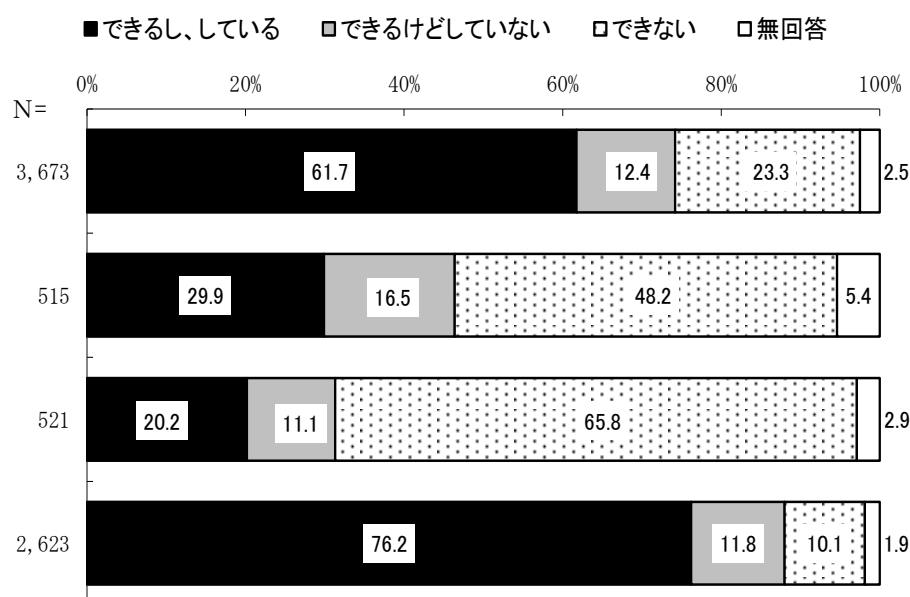
要支援2では、「できない」の割合が75.6%と最も高く、次いで「できるし、している」が11.5%となっています。

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が64.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が18.9%となっています。



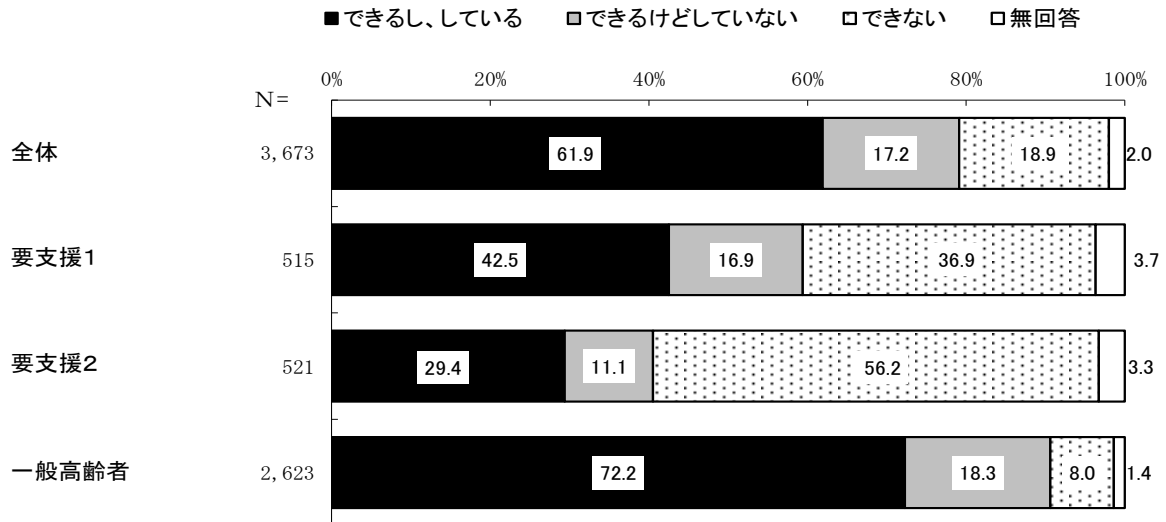
### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で48.2%、要支援2で65.8%、一般高齢者で10.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が38.1ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



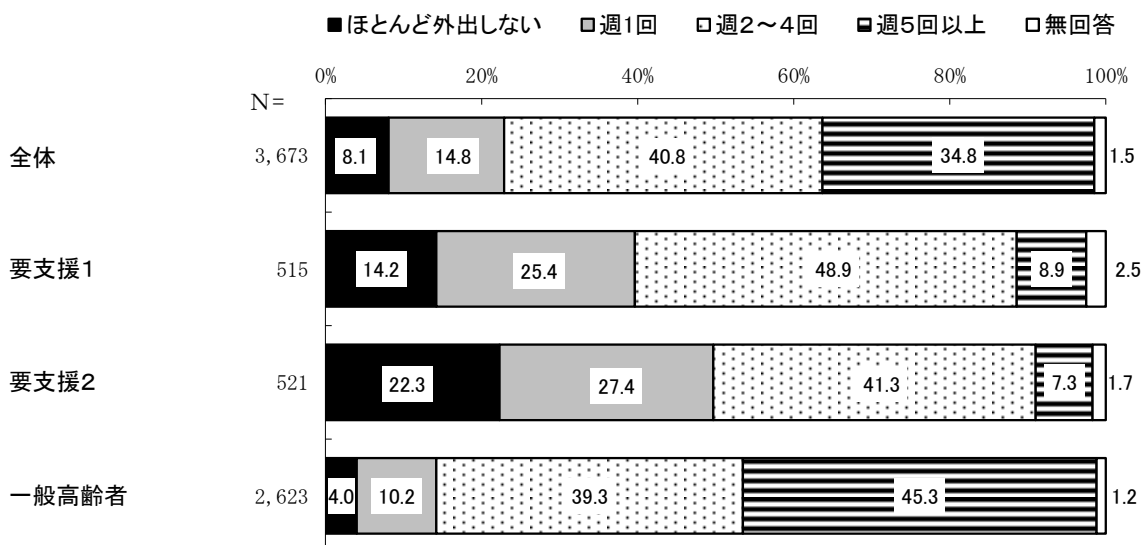
(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で36.9%、要支援2で56.2%、一般高齢者で8.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が28.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



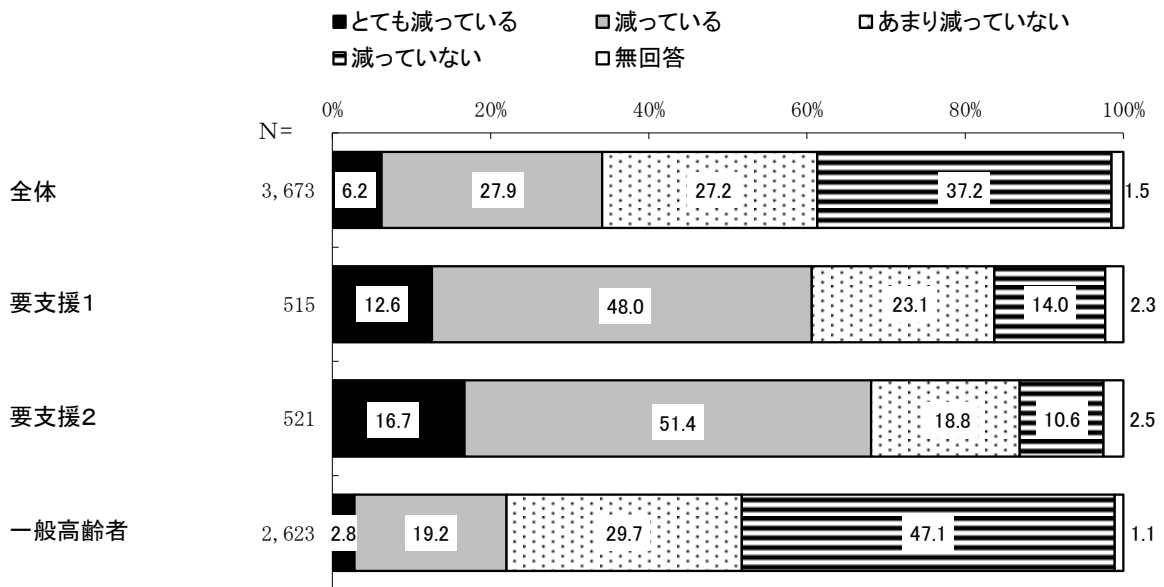
(4) 週に1回以上は外出していますか (○は1つだけ)

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもりリスクのある人』の割合は、要支援1で39.6%、要支援2で49.7%、一般高齢者で14.2%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が25.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



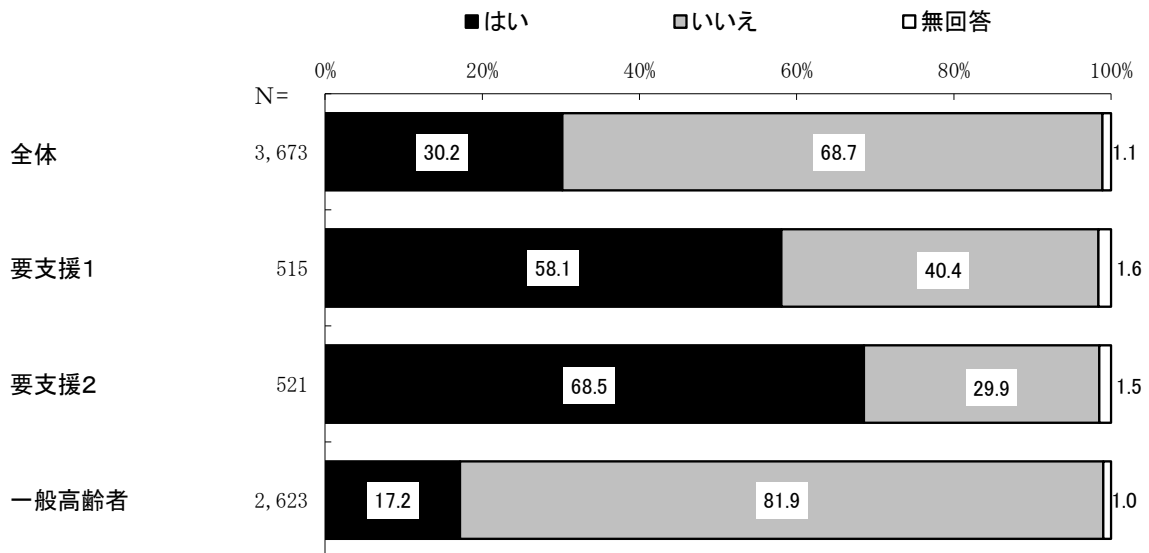
(5) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つだけ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、要支援1で60.6%、要支援2で68.1%、一般高齢者で22.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(6) 外出を控えていますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で58.1%、要支援2で68.5%、一般高齢者で17.2%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



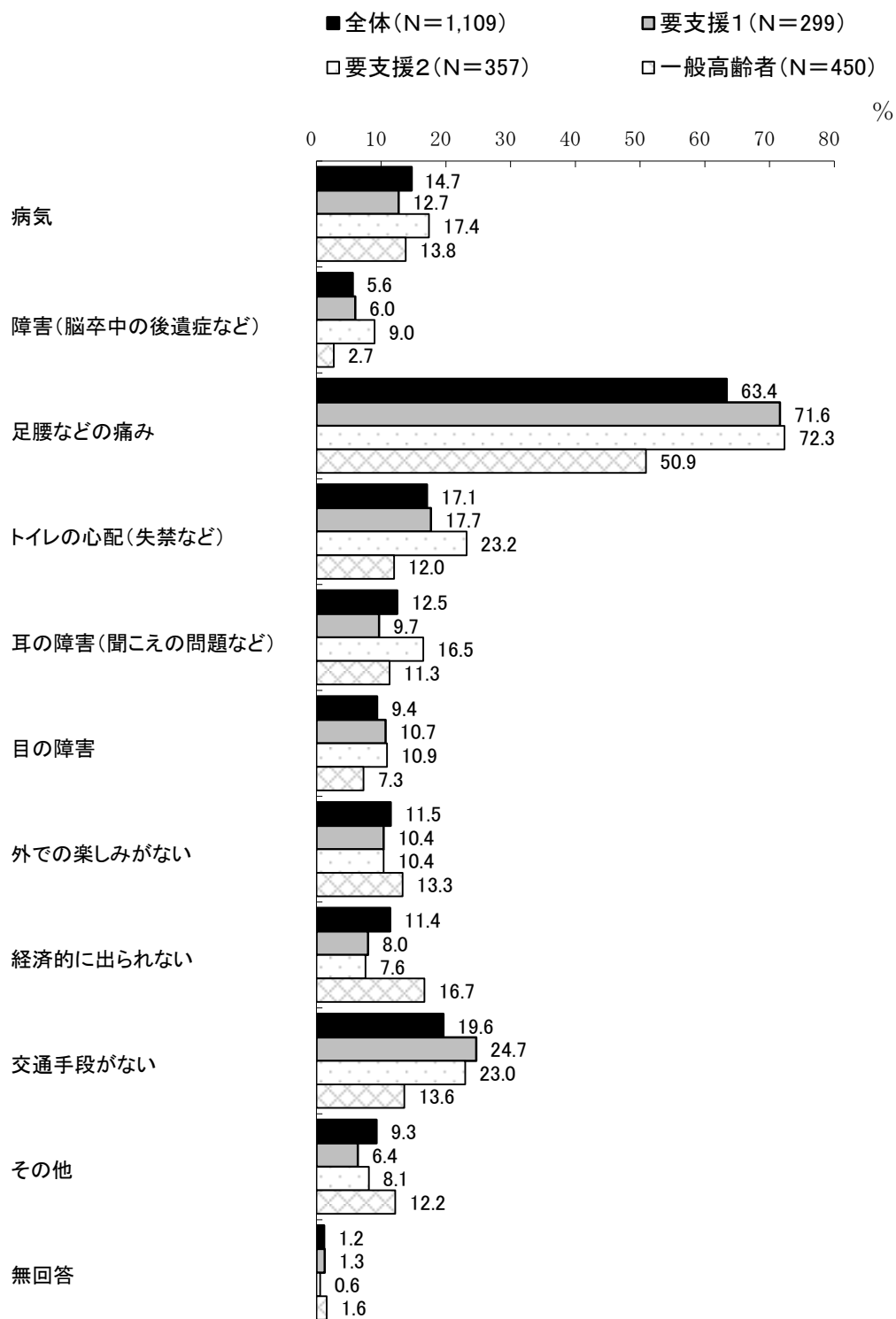
【(6) の質問で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「足腰などの痛み」の割合が71.6%と最も高く、次いで「交通手段がない」が24.7%、「トイレの心配(失禁など)」が17.7%となっています。

要支援2では、「足腰などの痛み」の割合が72.3%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が23.2%、「交通手段がない」が23.0%となっています。

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が50.9%と最も高く、次いで「経済的に出られない」が16.7%、「病気」が13.8%となっています。

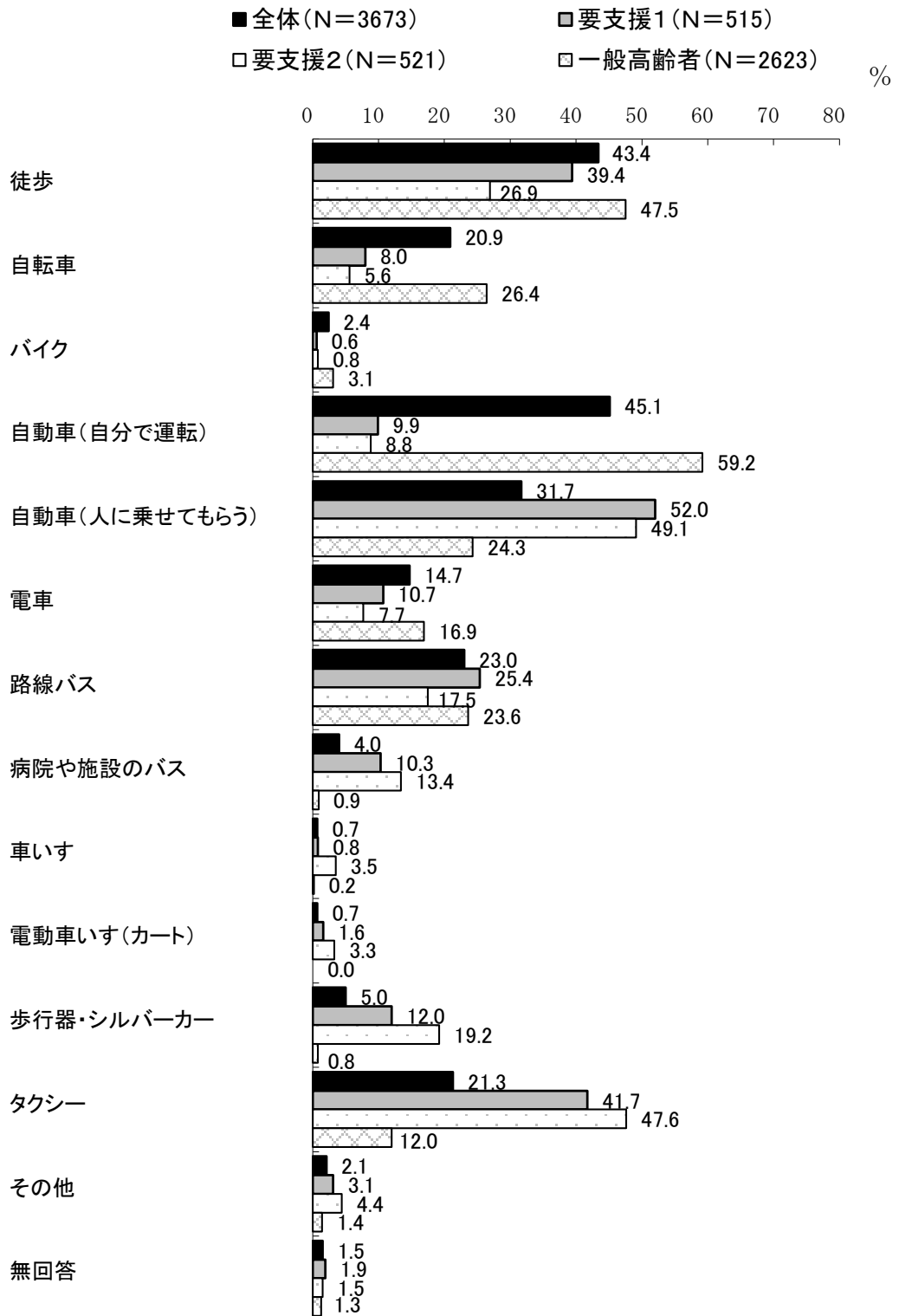


(7) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「自動車 (人に乗せてもらう)」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「タクシー」が 41.7%、「徒歩」が 39.4%となっています。

要支援2では、「自動車 (人に乗せてもらう)」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「タクシー」が 47.6%、「徒歩」が 26.9%となっています。

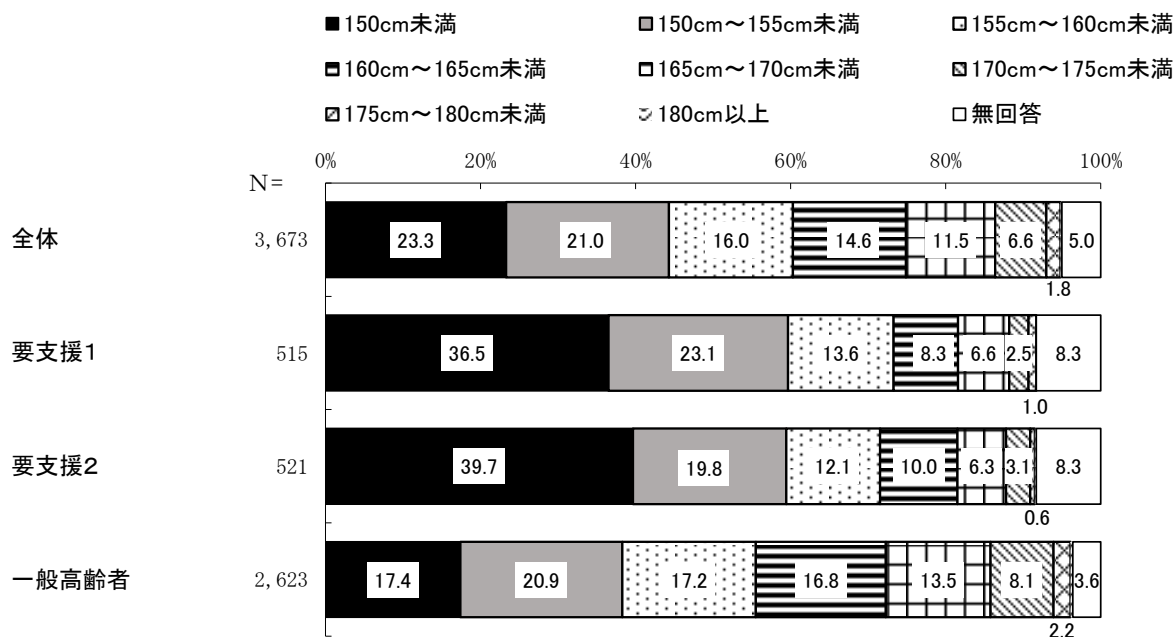
一般高齢者では、「自動車 (自分で運転)」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「徒歩」が 47.5%、「自転車」が 26.4%となっています。



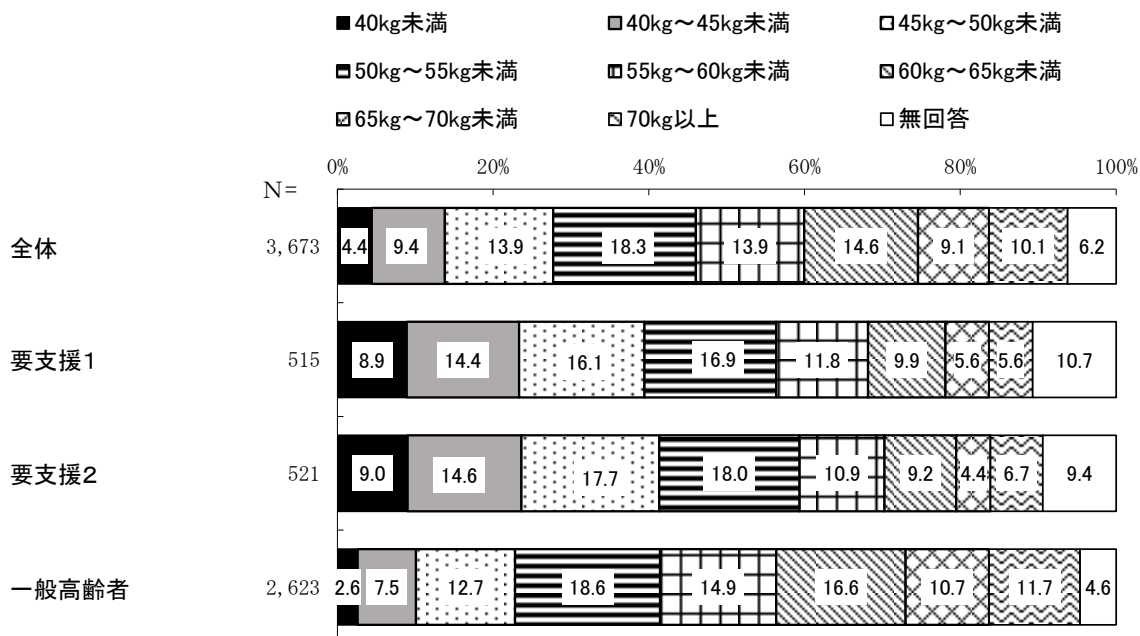
問3 食べることについて

(1) 身長・体重

【身長別】

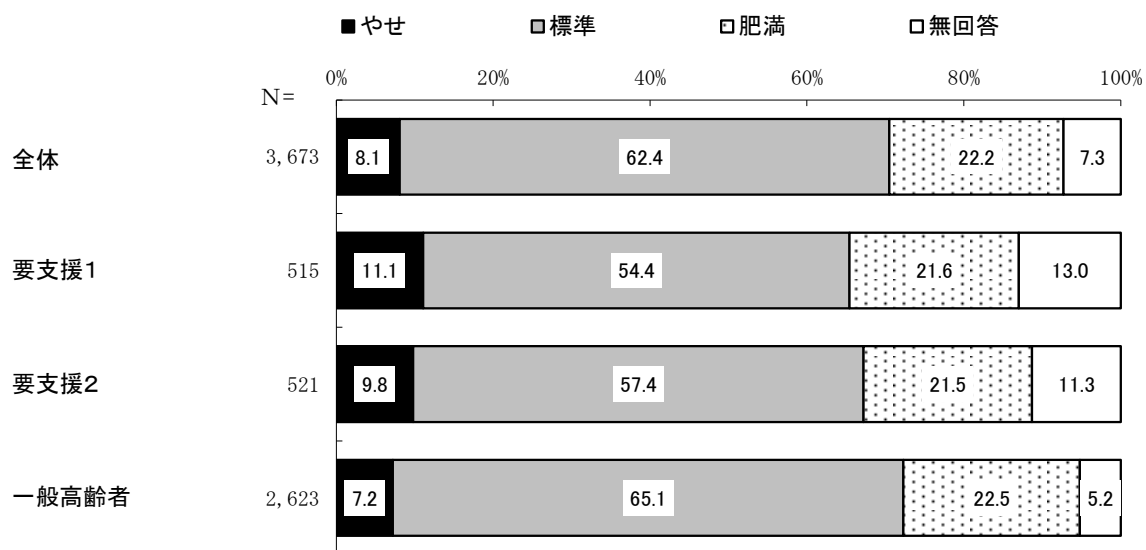


【体重別】



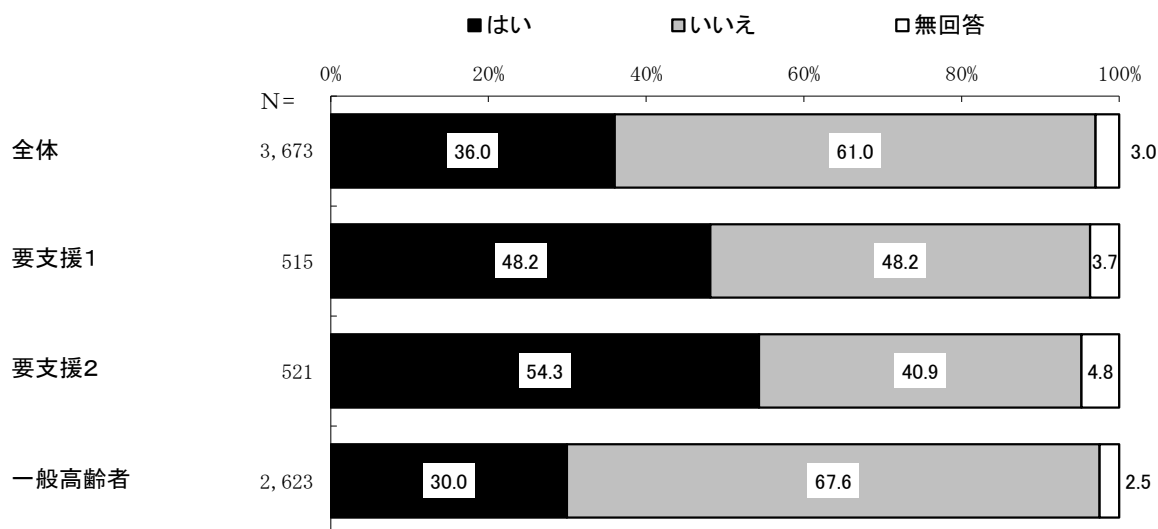
【BMI別】

「やせ」の割合は、要支援1で11.1%、要支援2で9.8%、一般高齢者で7.2%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



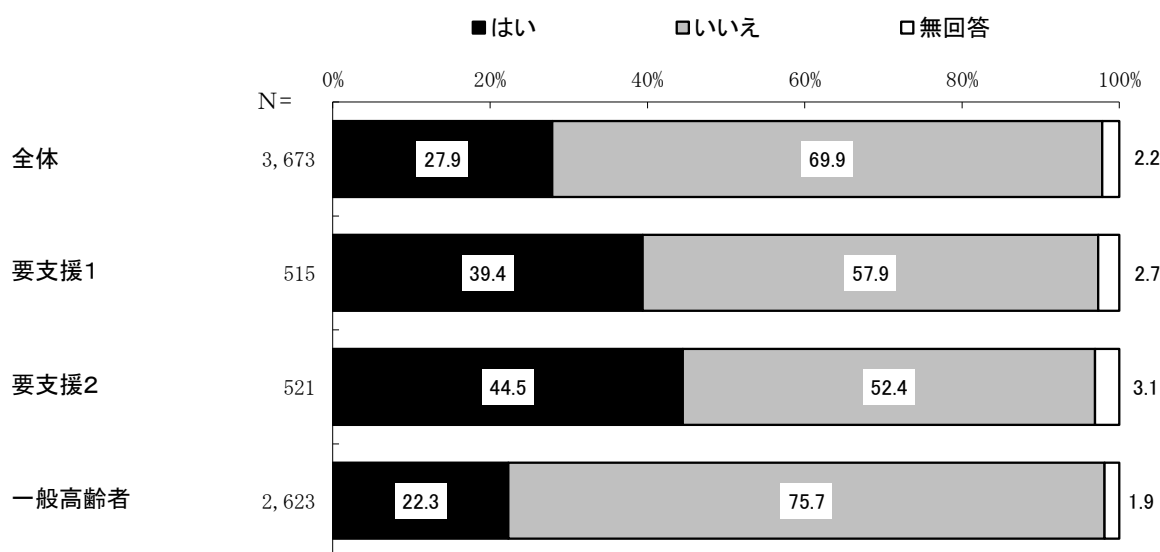
**(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つだけ)**

「はい」の割合は、要支援1で48.2%、要支援2で54.3%、一般高齢者で30.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、一般高齢者と要支援1の差が18.2ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



**(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つだけ)**

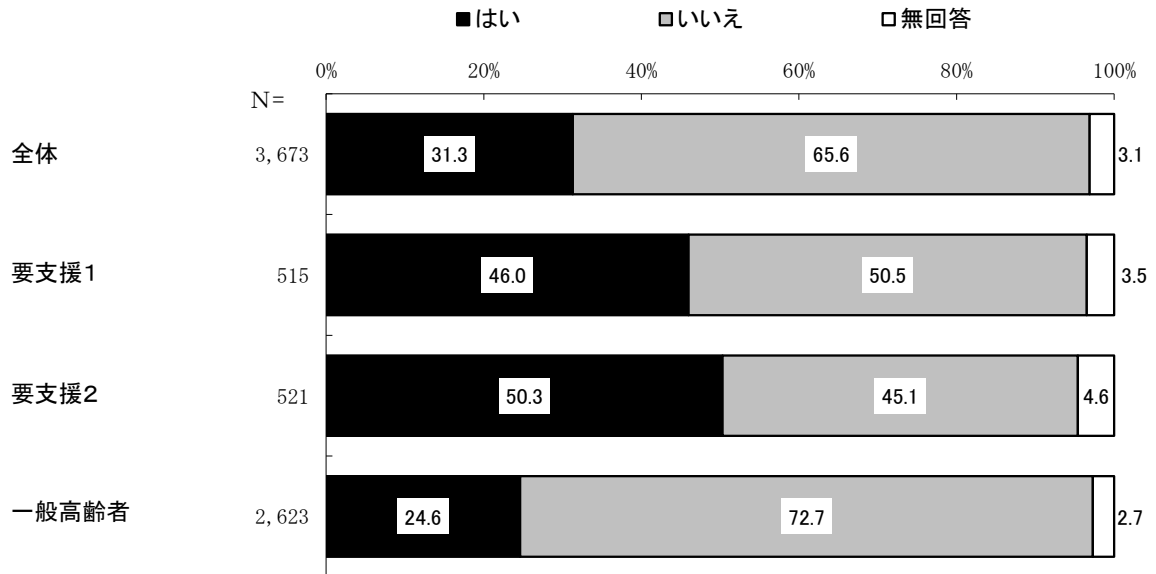
「はい」の割合は、要支援1で39.4%、要支援2で44.5%、一般高齢者で22.3%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が17.1ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。





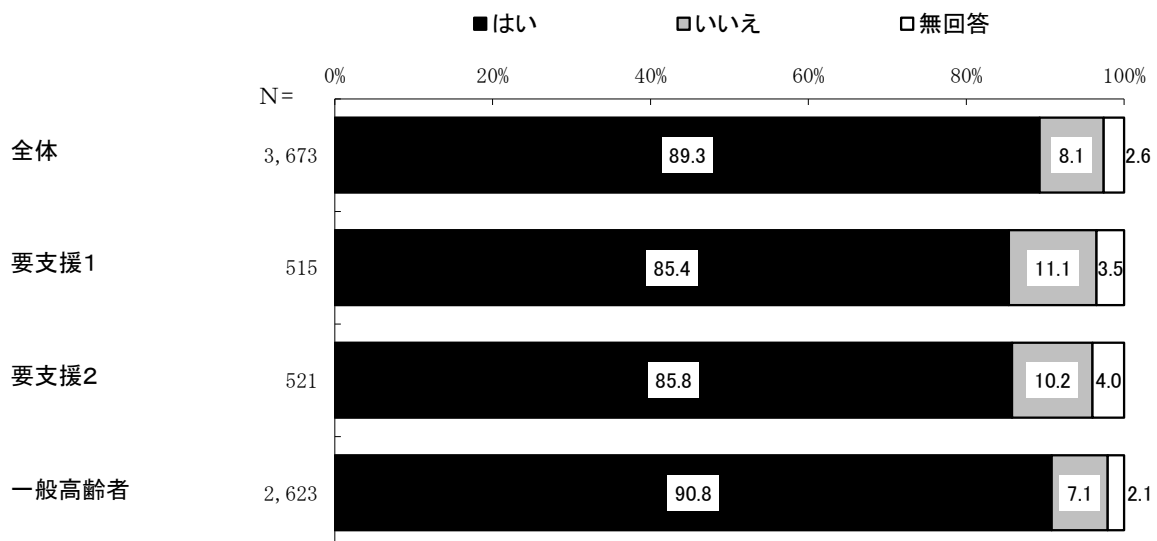
**(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つだけ)**

「はい」の割合は、要支援1で46.0%、要支援2で50.3%、一般高齢者で24.6%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が21.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



**(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つだけ)**

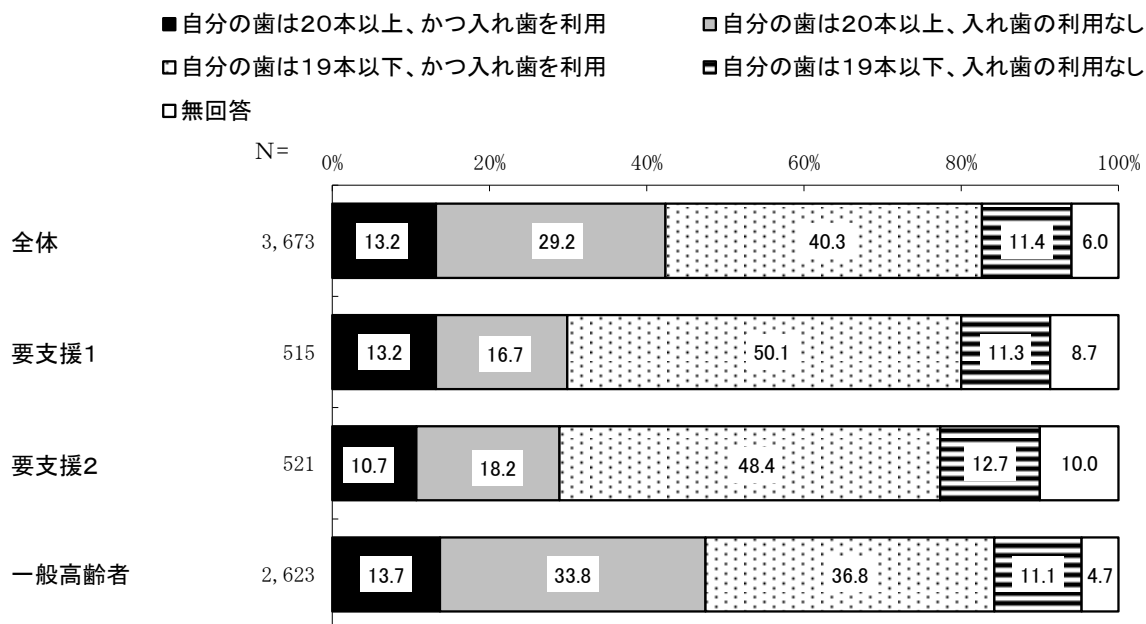
「いいえ」の割合は、要支援1で11.1%、要支援2で10.2%、一般高齢者で7.1%となっています。身体状態別に、特に大きな差はみられません。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (〇は1つだけ)

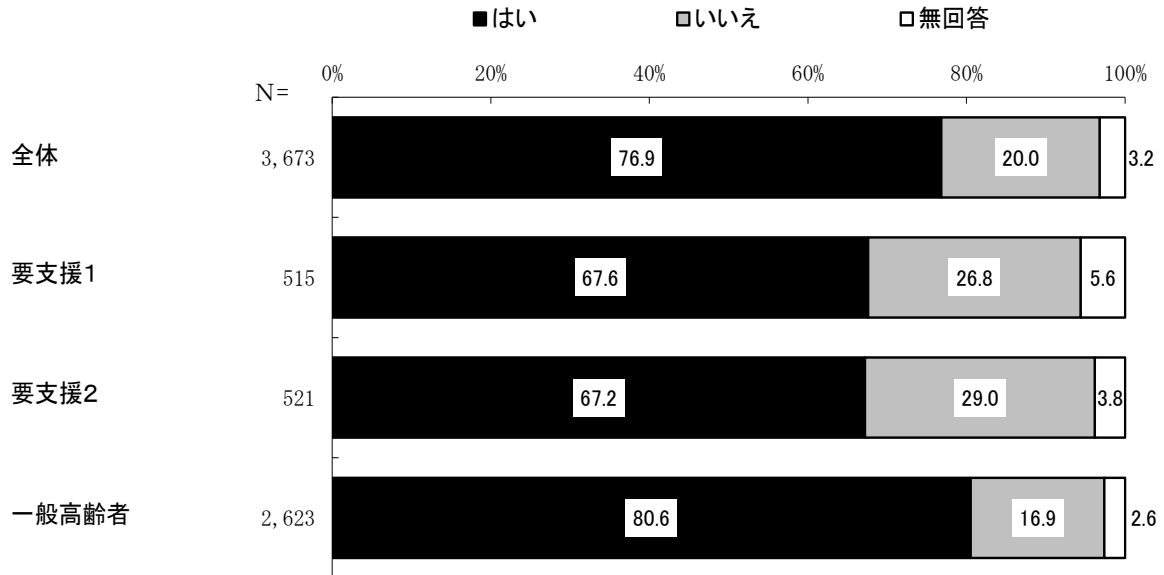
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上の人』の割合は、要支援1で29.9%、要支援2で28.9%、一般高齢者で47.5%となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』の割合は、要支援1で63.3%、要支援2で59.1%、一般高齢者で50.5%となっており、要支援1と一般高齢者の差が12.8ポイントと大きくなっています。



①噛み合わせは良いですか（○は1つだけ）

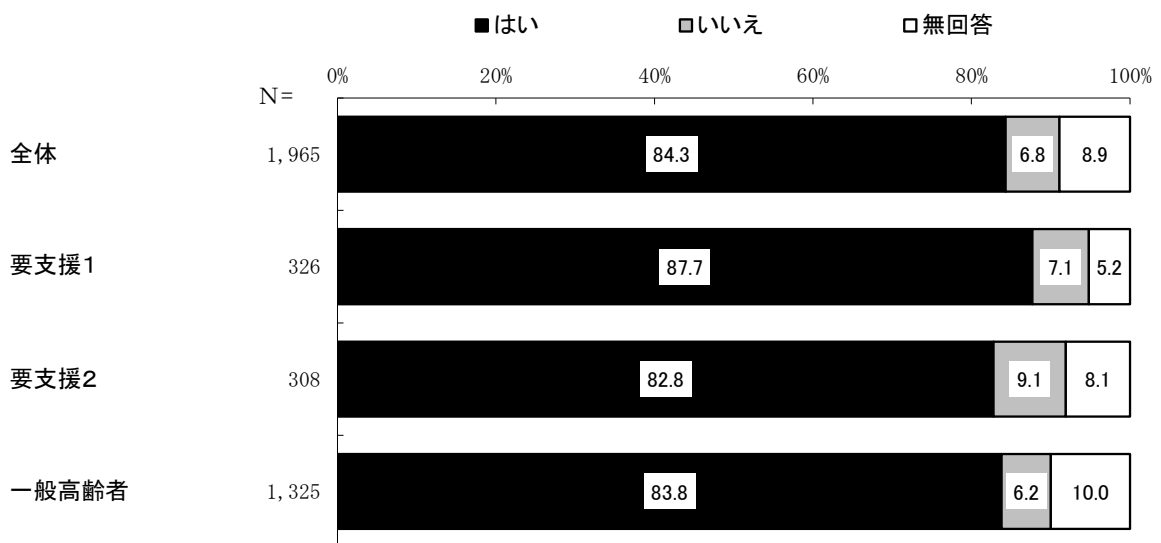
「いいえ」の割合は、要支援1で26.8%、要支援2で29.0%、一般高齢者で16.9%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が9.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



②【(6)の質問で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

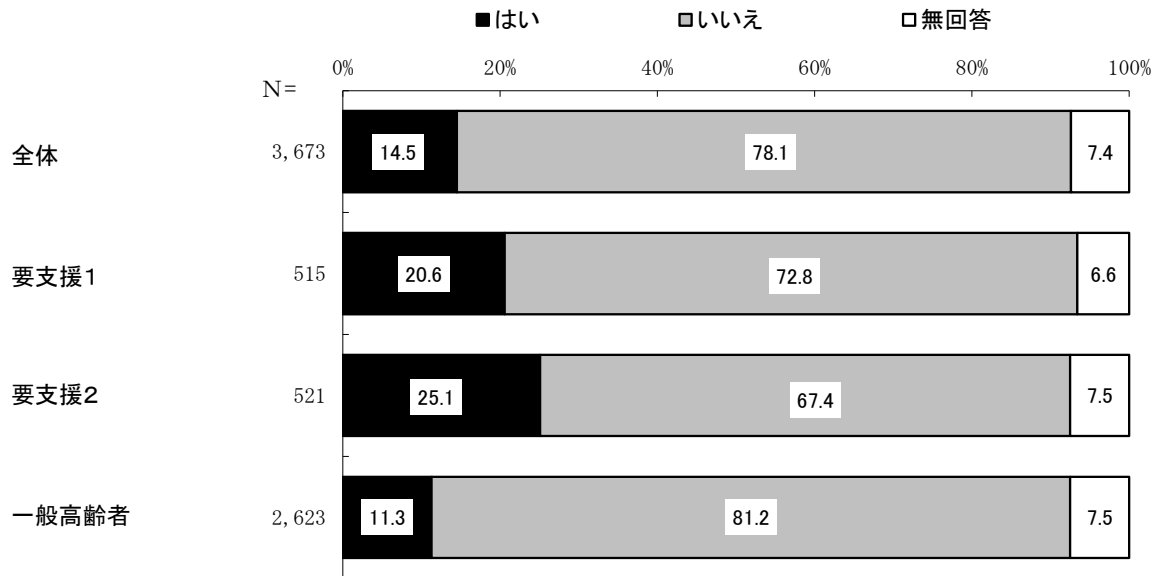
毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で7.1%、要支援2で9.1%、一般高齢者で6.2%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



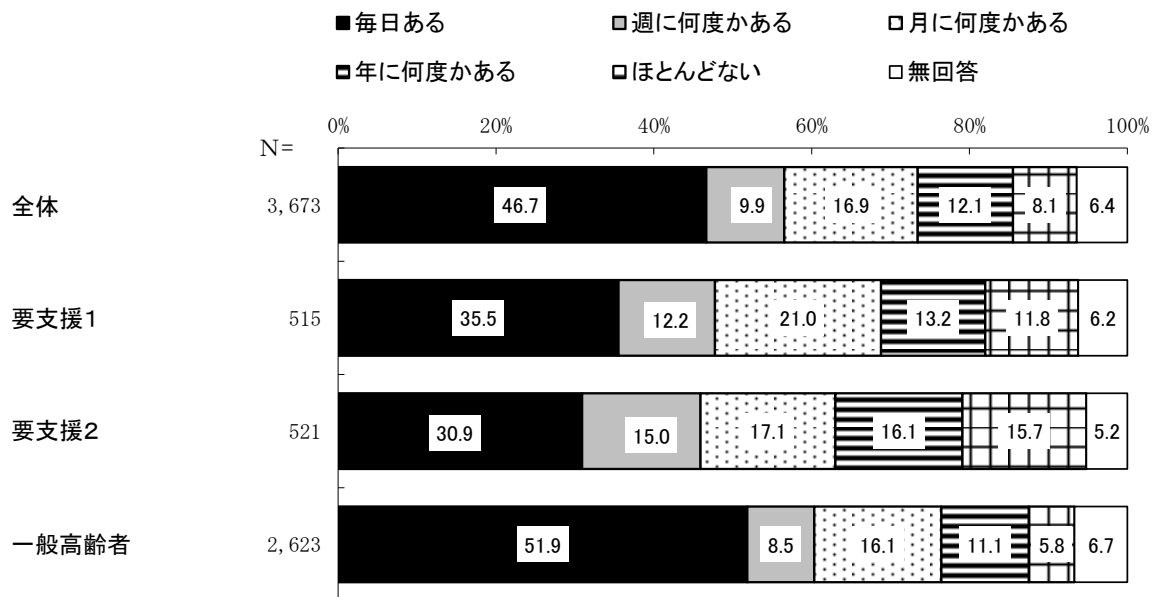
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つだけ) g

「はい」の割合は、要支援1で20.6%、要支援2で25.1%、一般高齢者で11.3%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(8) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つだけ)

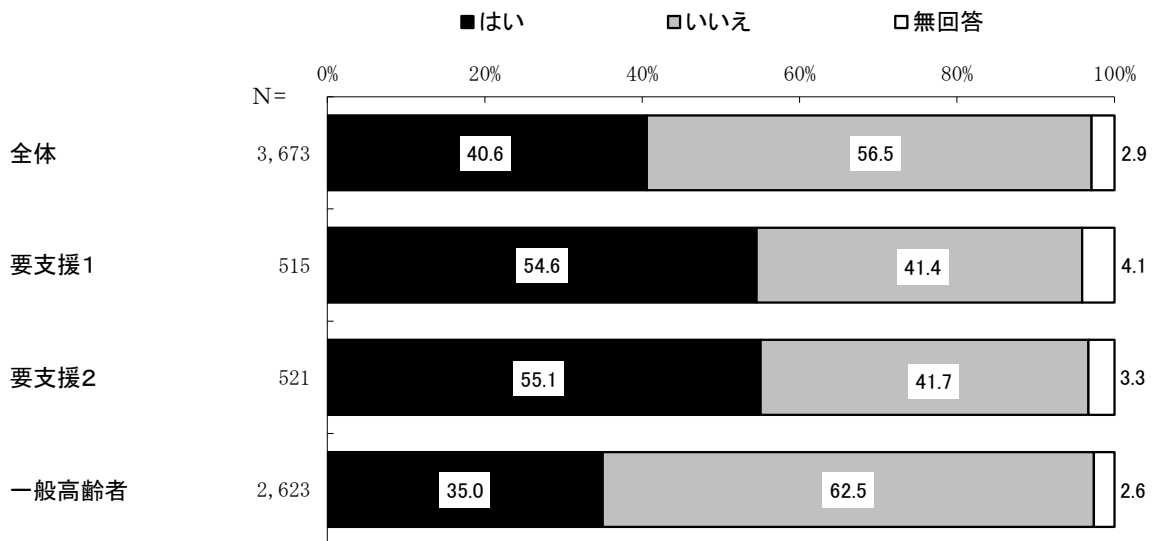
「毎日ある」の割合は、要支援1で35.5%、要支援2で30.9%、一般高齢者で51.9%となっています。また、「ほとんどない」の割合は、要支援1で11.8%、要支援2で15.7%、一般高齢者で5.8%となっています。



問4 毎日の生活について

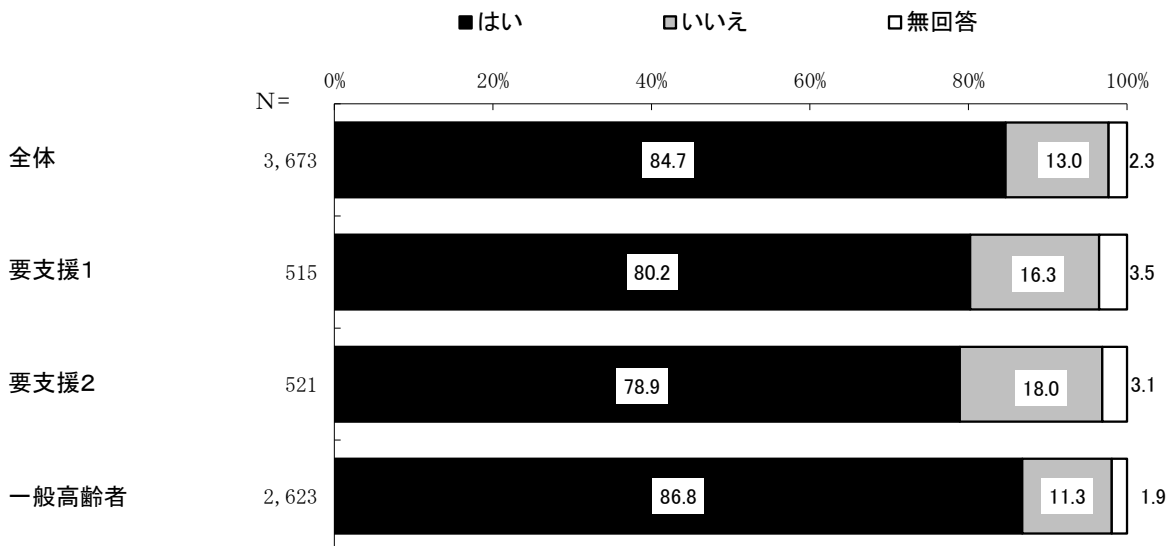
(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で54.6%、要支援2で55.1%、一般高齢者で35.0%となっており、要支援1と一般高齢者の差が19.6ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つだけ)

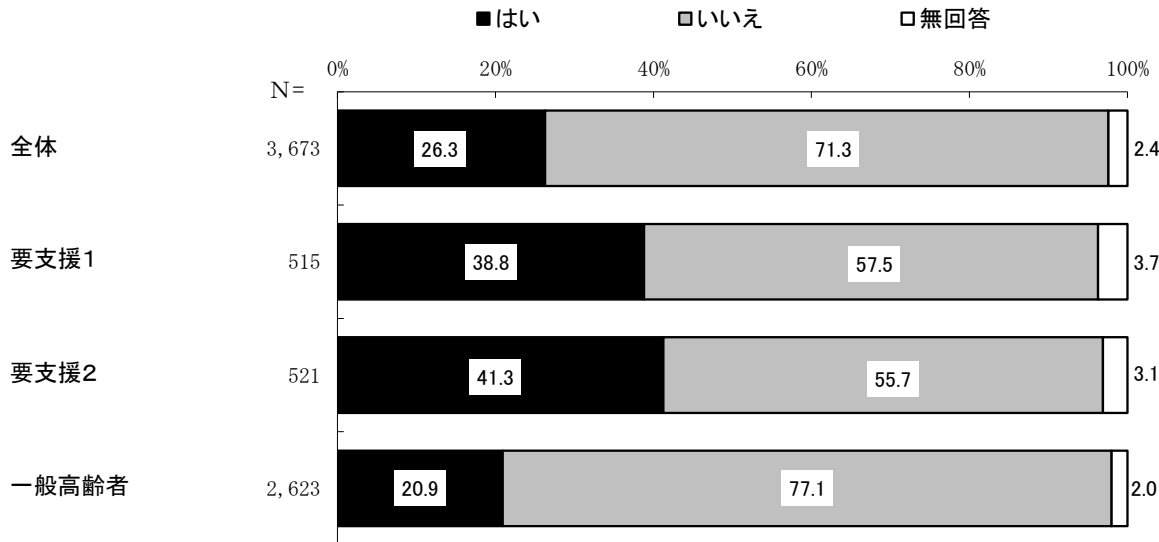
「いいえ」の割合は、要支援1で16.3%、要支援2で18.0%、一般高齢者で11.3%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



**(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つだけ)**

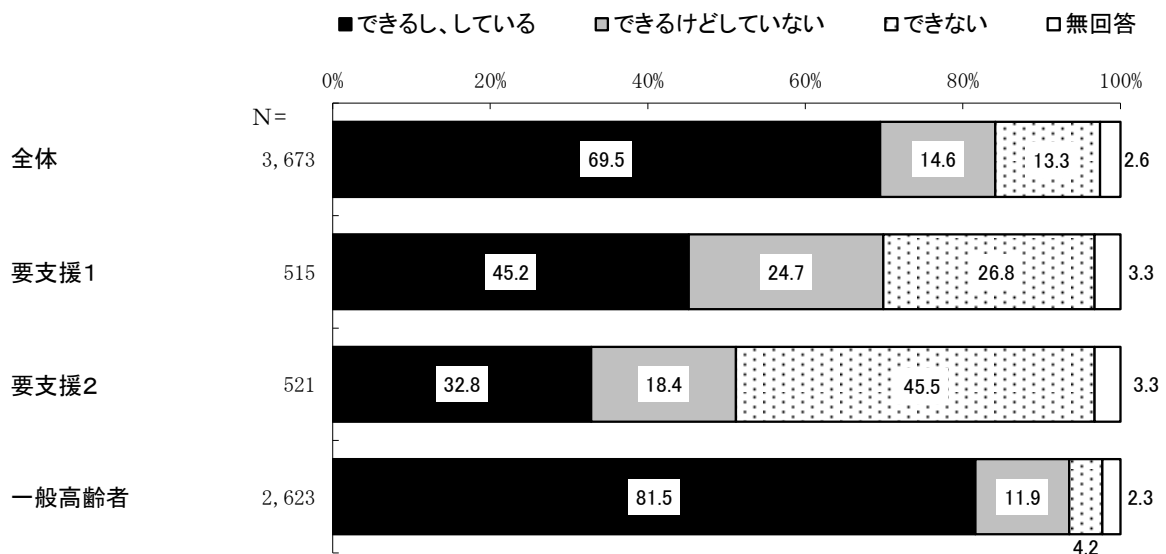
h

「はい」の割合は、要支援1で38.8%、要支援2で41.3%、一般高齢者で20.9%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が17.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



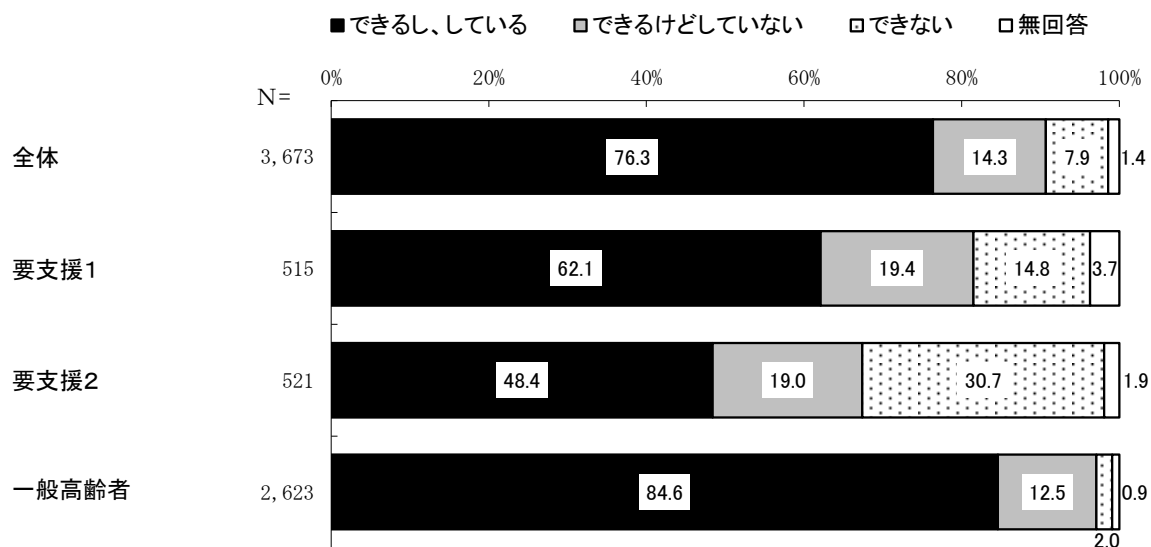
**(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つだけ)**

「できない」の割合は、要支援1で26.8%、要支援2で45.5%、一般高齢者で4.2%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が22.6ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



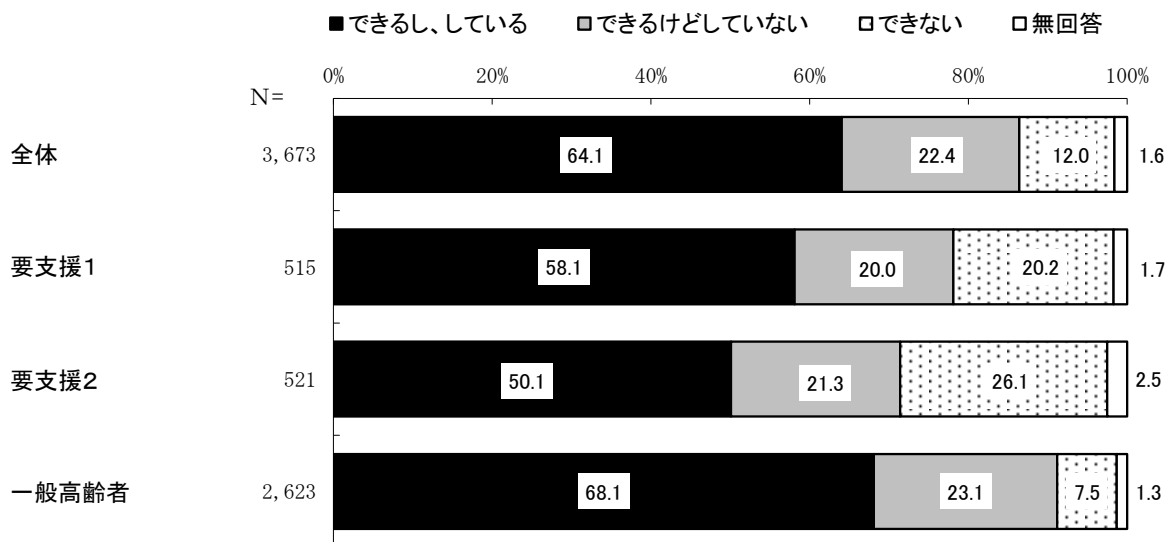
**(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つだけ)**

「できない」の割合は、要支援1で14.8%、要支援2で30.7%、一般高齢者で2.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と要支援2の差が15.9ポイントで、一般高齢者と要支援1との差に比べ大きくなっています。



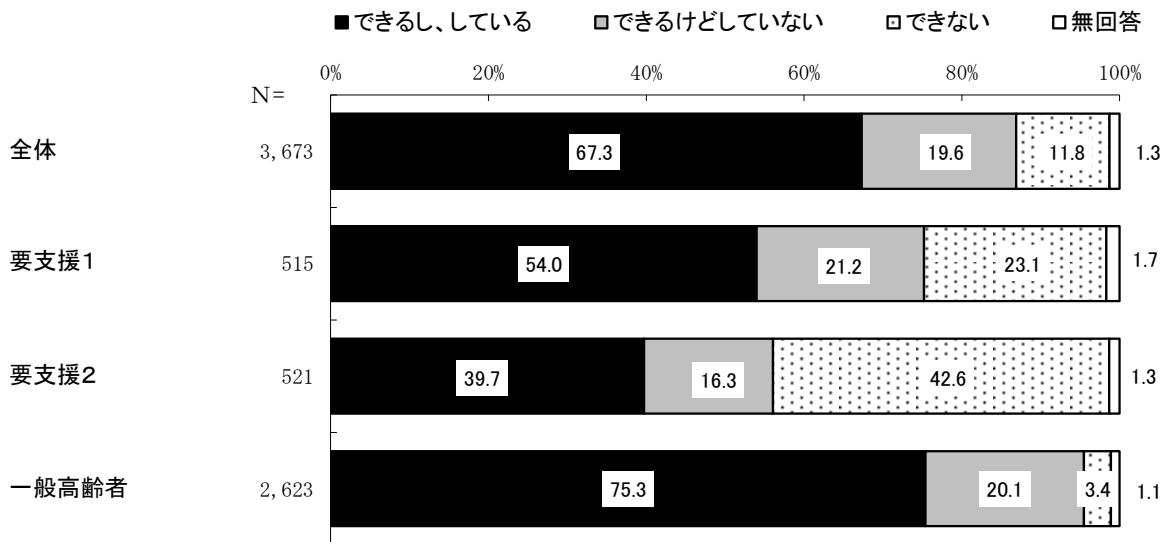
**(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つだけ)**

「できない」の割合は、要支援1で20.2%、要支援2で26.1%、一般高齢者で7.5%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が12.7ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



(7) 自分でごみ集積場までごみ出しをしていますか (〇は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で23.1%、要支援2で42.6%、一般高齢者で3.4%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が19.7ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



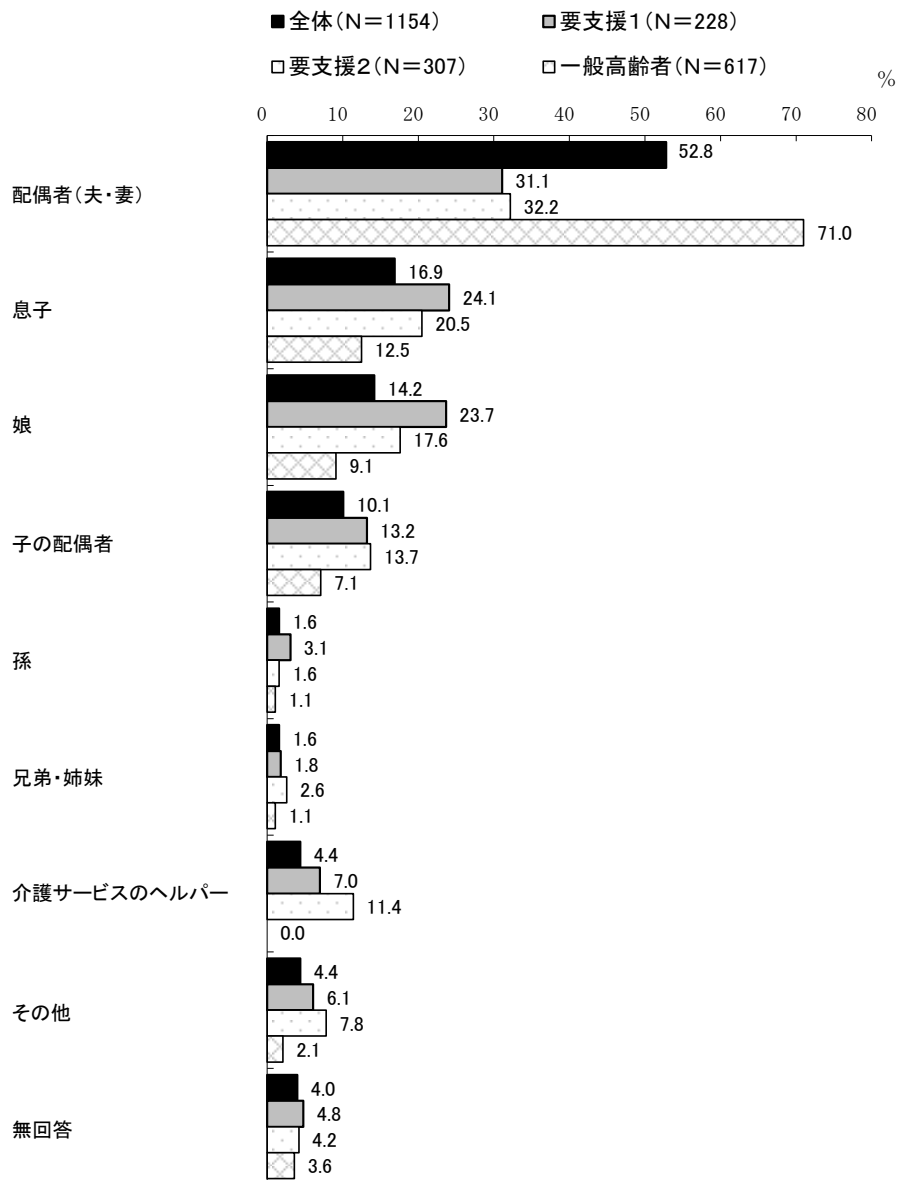


(7) ①誰にやってもらっているか

要支援1では、「配偶者（夫・妻）」の割合が31.1%と最も高く、次いで「息子」が24.1%、「娘」が23.7%となっています。

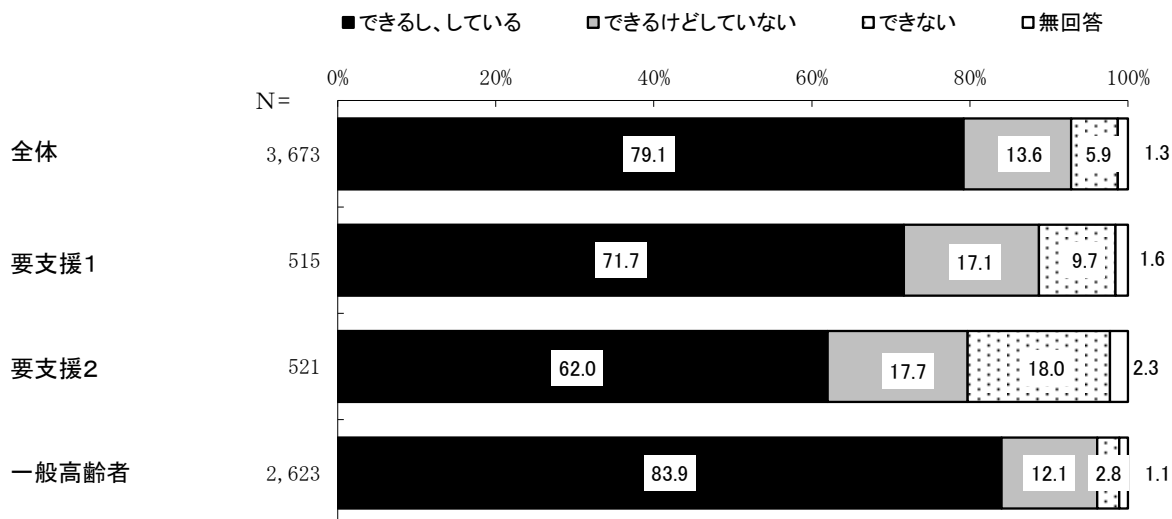
要支援2では、「配偶者（夫・妻）」の割合が32.2%と最も高く、次いで「息子」が20.5%、「娘」が17.6%となっています。

一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が71.0%と最も高くなっています。



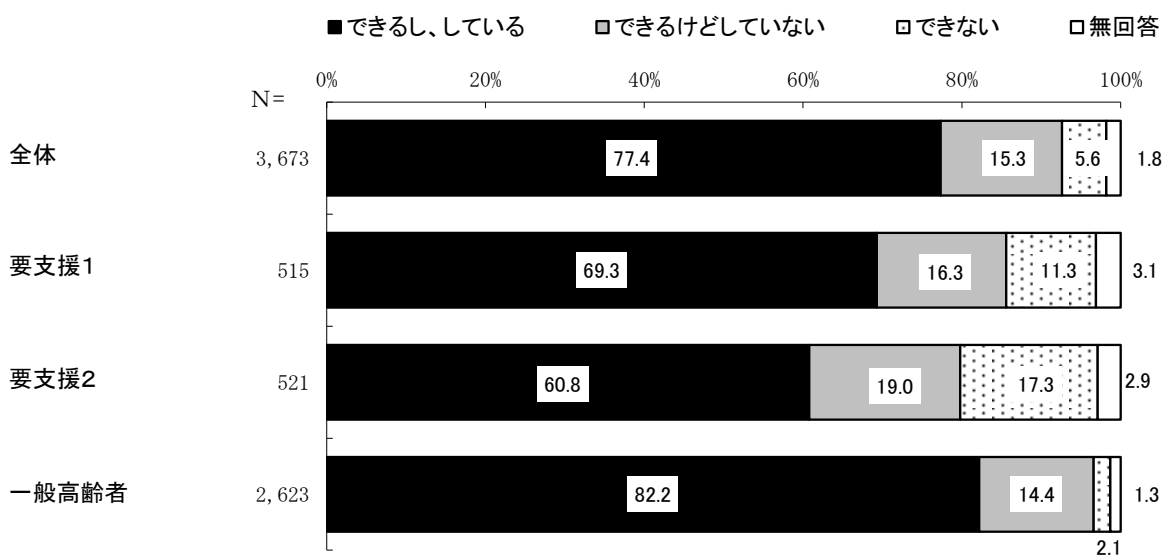
**(8) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つだけ)**

「できない」の割合は、要支援1で9.7、要支援2で18.0%、一般高齢者で2.8%となっています。特に、要支援1と要支援2の差が8.3ポイントで、要支援1と一般高齢者の差に比べ大きくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



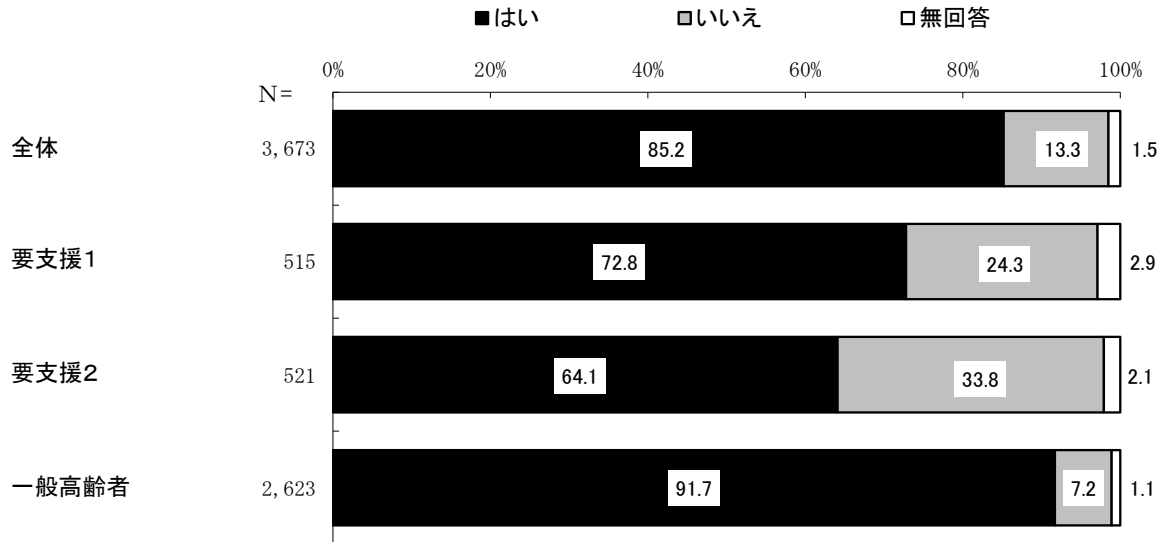
**(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つだけ)**

「できない」の割合は、要支援1で11.3%、要支援2で17.3%、一般高齢者で2.1%となっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が9.2ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



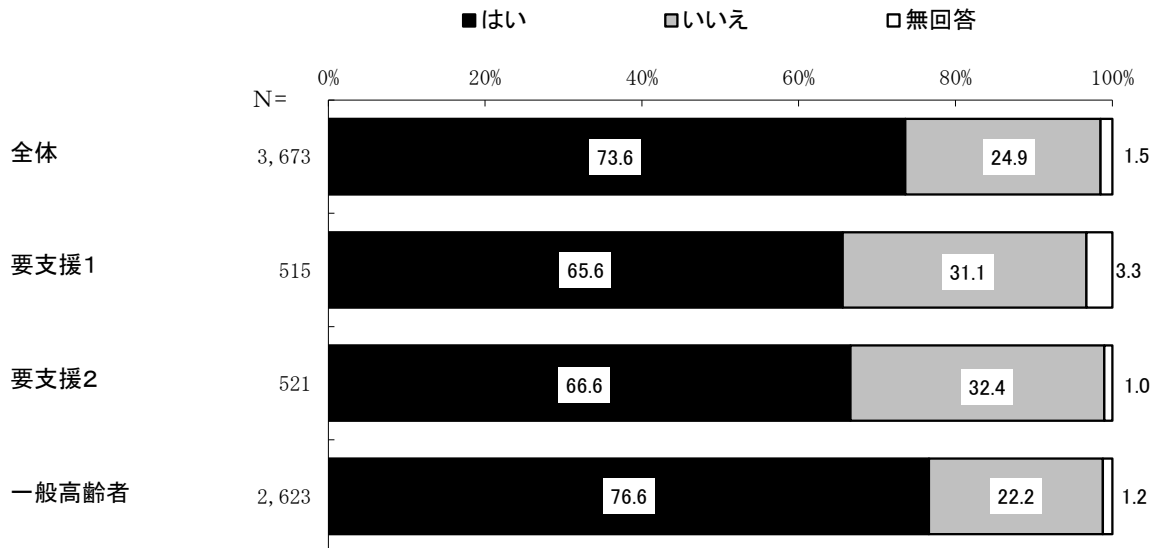
(10) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか(○は1つだけ) f

「いいえ」の割合は、要支援1で24.3%、要支援2で33.8%、一般高齢者で7.2%となっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が17.1ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(11) 新聞を読んでいますか(○は1つだけ)

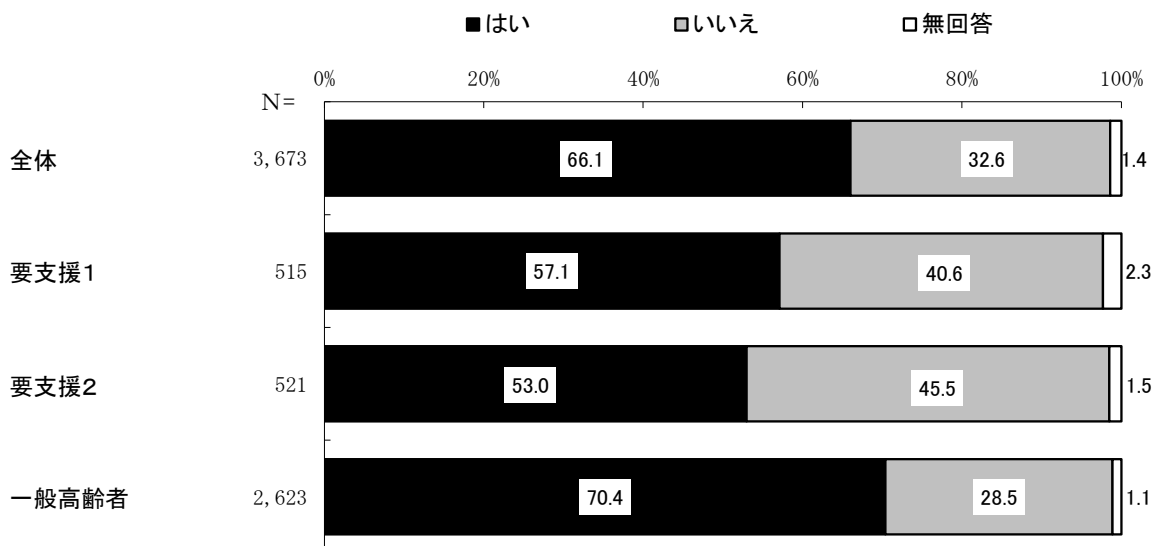
「いいえ」の割合は、要支援1で31.1%、要支援2で32.4%、一般高齢者で22.2%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(12) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つだけ)

g

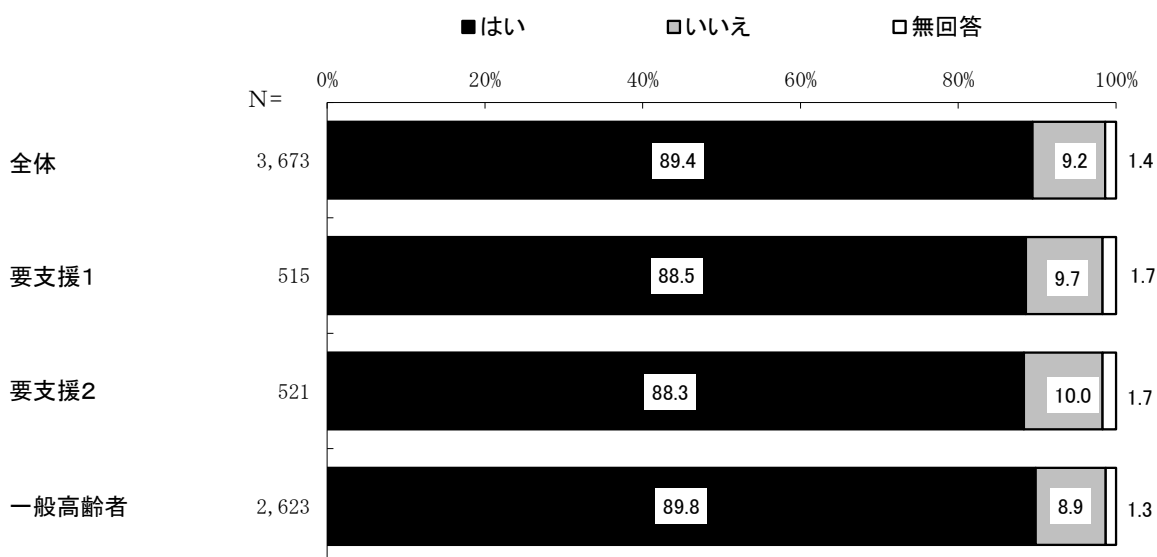
「いいえ」の割合は、要支援1で40.6%、要支援2で45.5%、一般高齢者で28.5%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が12.1ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で9.7%、要支援2で10.0%、一般高齢者で8.9%となっています。

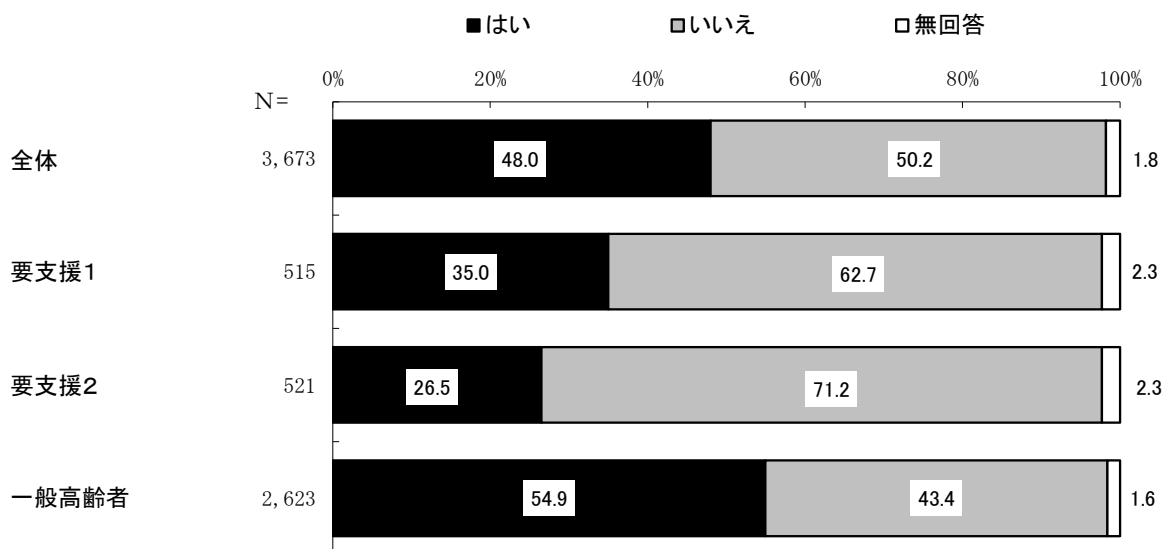
身体状態別にみると、特に大きな差はみられません。



(14) 友人の家を訪ねていますか (○は1つだけ)

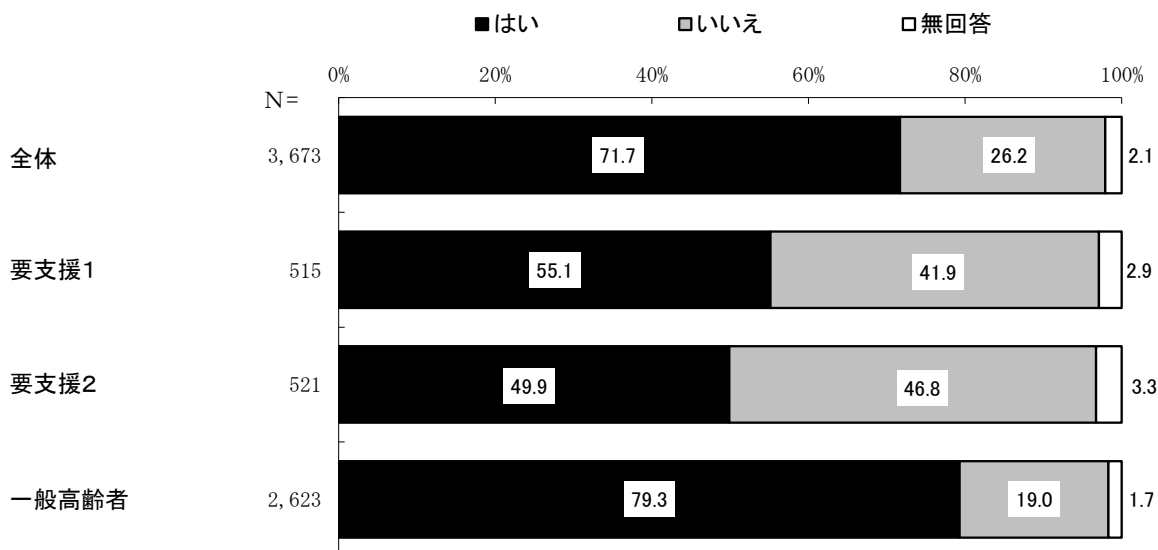
g

「いいえ」の割合は、要支援1で62.7%、要支援2で71.2%、一般高齢者で43.4%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が19.3ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(15) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つだけ)

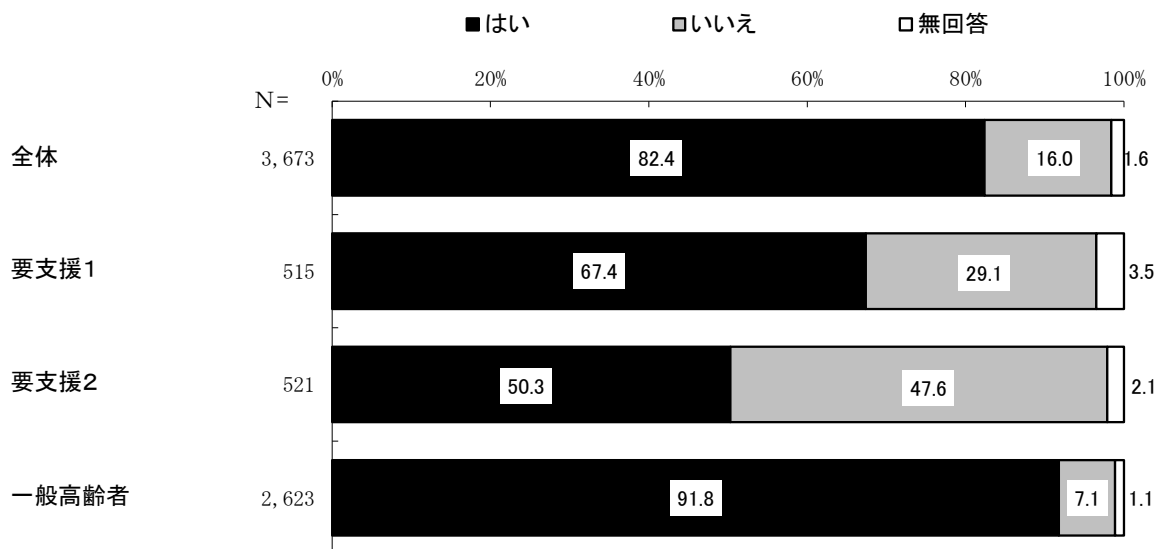
「いいえ」の割合は、要支援1で41.9%、要支援2で46.8%、一般高齢者で19.0%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっており、特に、要支援1と一般高齢者の差は22.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(16) 病人を見舞うことができますか (○は1つだけ)

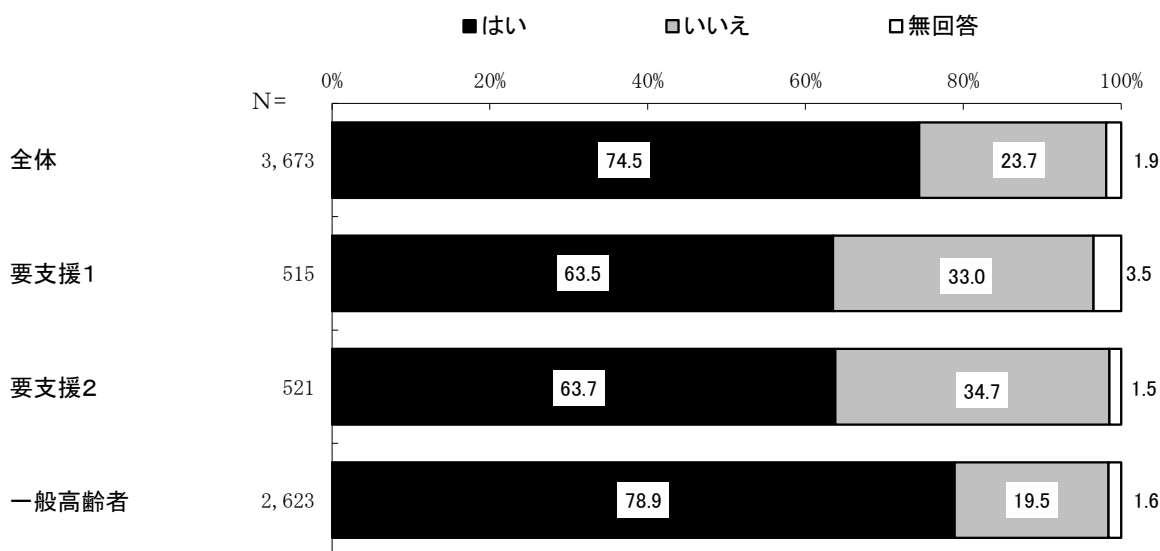
g

「いいえ」の割合は、要支援1で29.1%、要支援2で47.6%、一般高齢者で7.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が22.0ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つだけ)

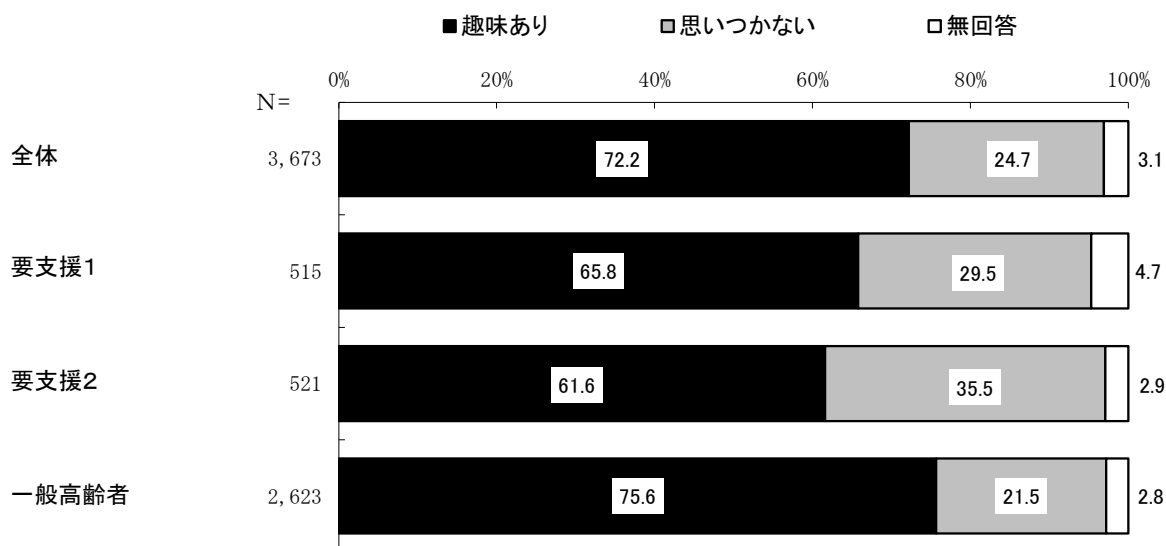
「いいえ」の割合は、要支援1で33.0%、要支援2で34.7%、一般高齢者で19.5%となっています。また、要支援1と一般高齢者の差が13.5ポイントと、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



(18) 趣味はありますか (○は1つだけ)

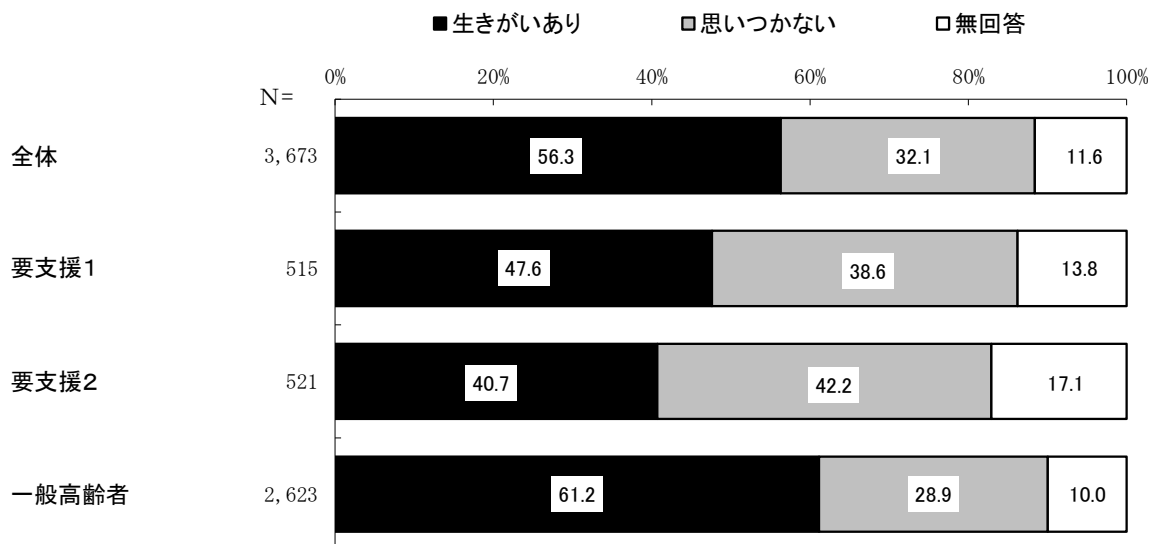
k

「趣味あり」の割合は、要支援1で65.8%、要支援2で61.6%、一般高齢者で75.6%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。



(19) 生きがいがありますか (○は1つだけ)

「生きがいあり」の割合は、要支援1で47.6%、要支援2で40.7%、一般高齢者で61.2%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が13.6ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



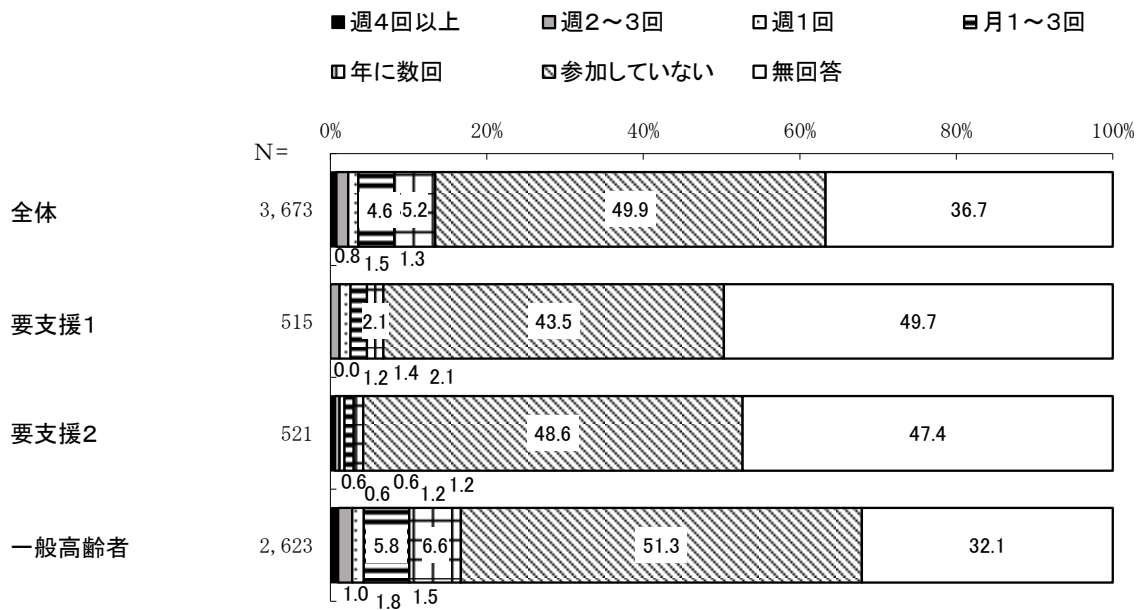
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑦それぞれに○は1つだけ回答してください

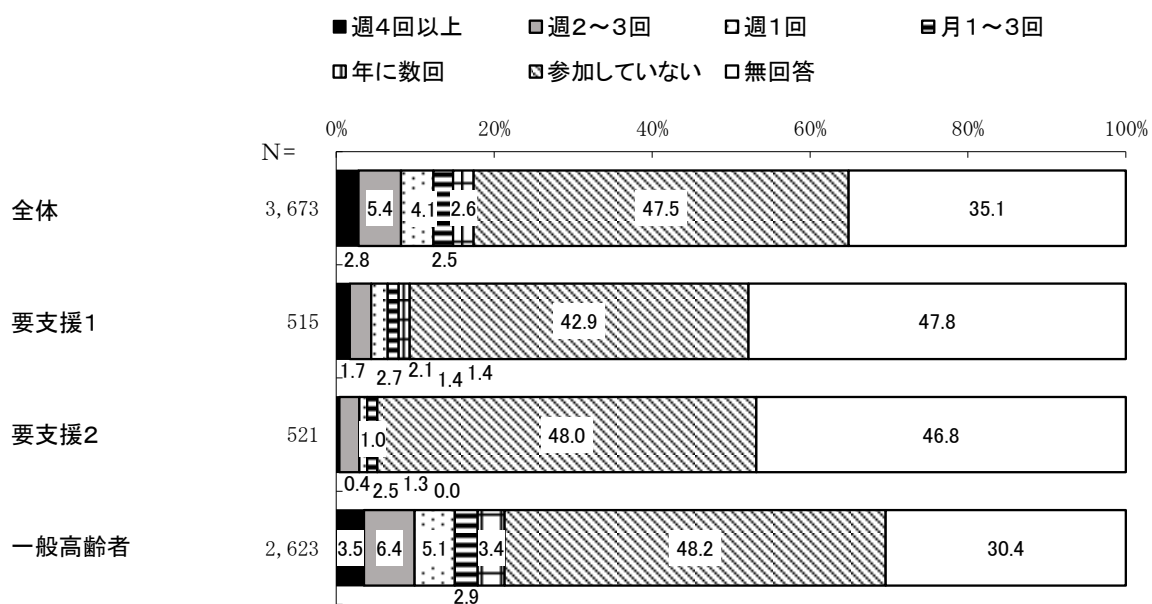
【① ボランティアのグループ】

「参加していない」の割合は、要支援1で43.5%、要支援2で48.6%、一般高齢者で51.3%となっています。



【② スポーツ関係のグループやクラブ】

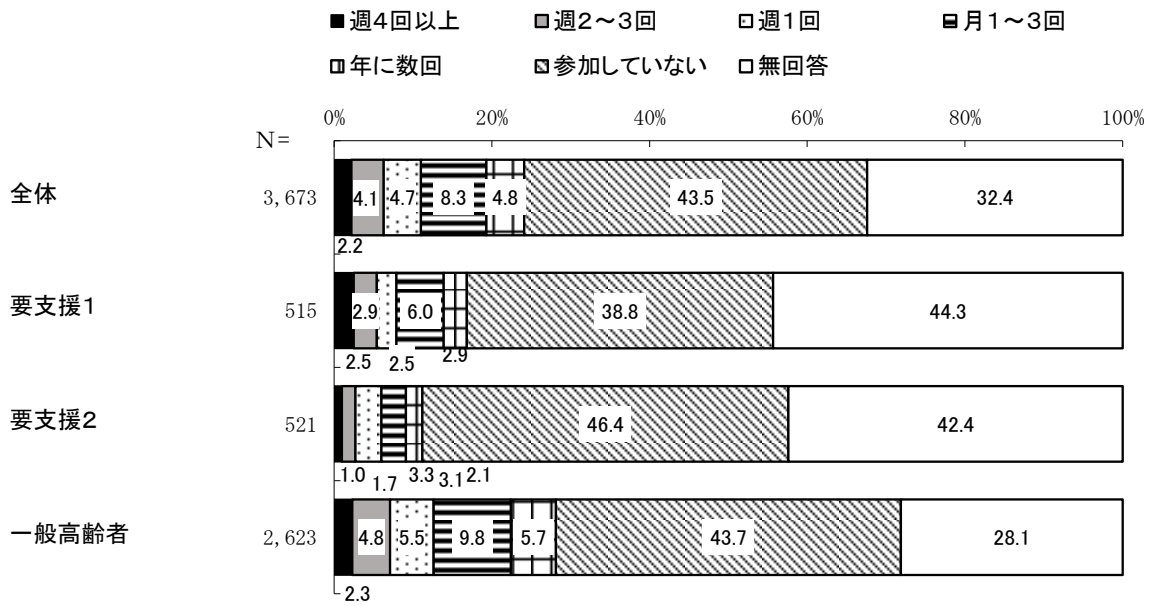
「参加していない」の割合は、要支援1で42.9%、要支援2で48.0%、一般高齢者で48.2%となっています。





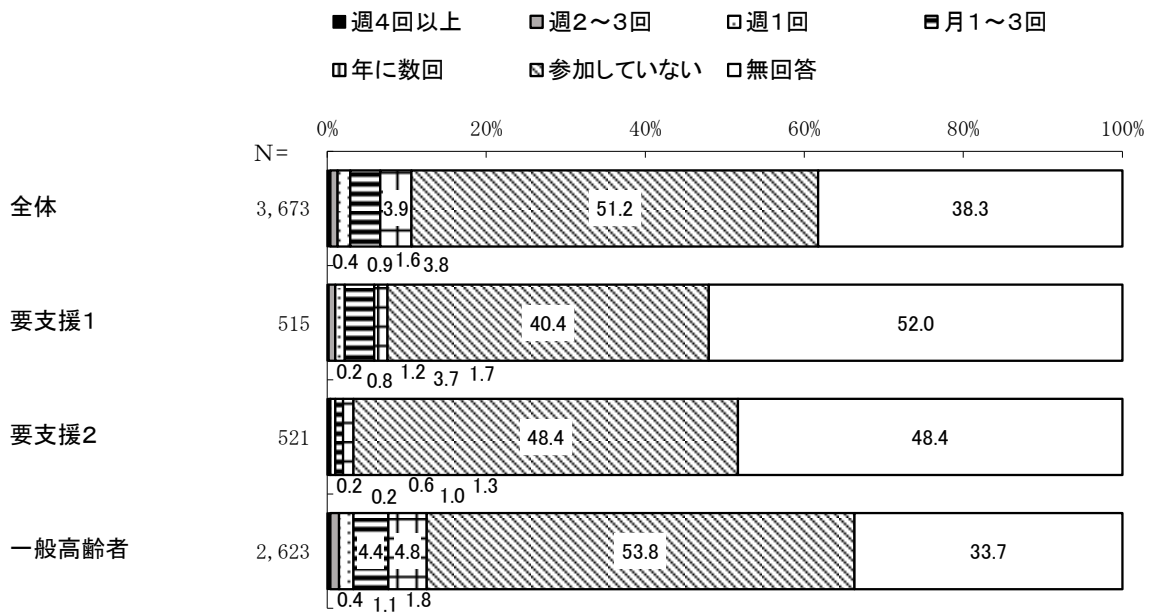
【③ 趣味関係のグループ】

「参加していない」の割合は、要支援1で38.8%、要支援2で46.4%、一般高齢者で43.7%となっています。



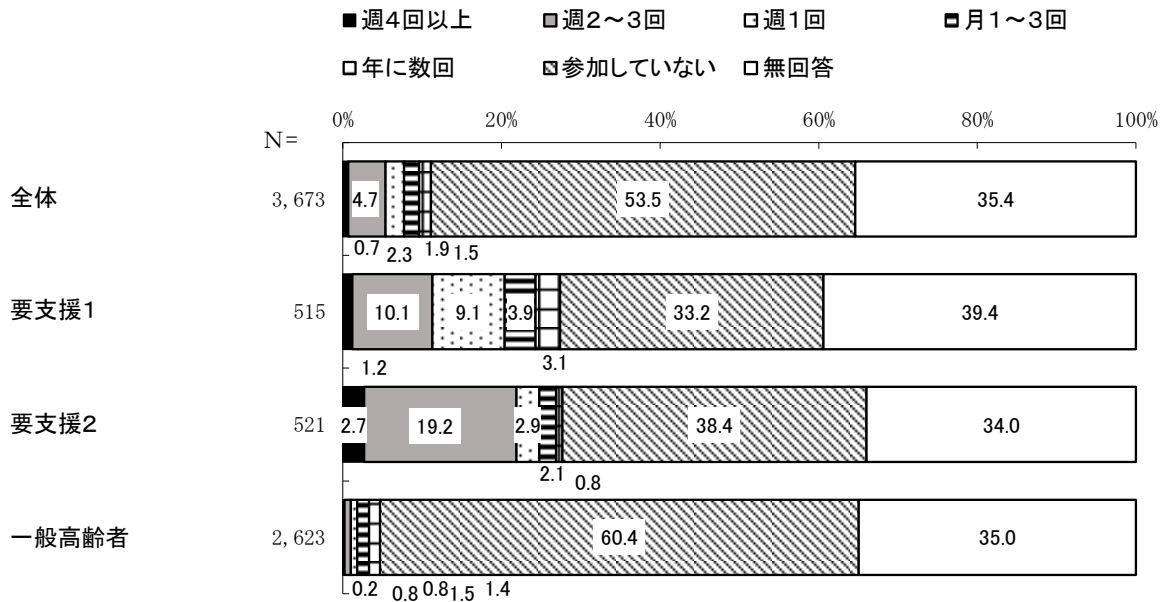
【④ 学習・教養サークル】

「参加していない」の割合は、要支援1で40.4%、要支援2で48.4%、一般高齢者で53.8%となっています。



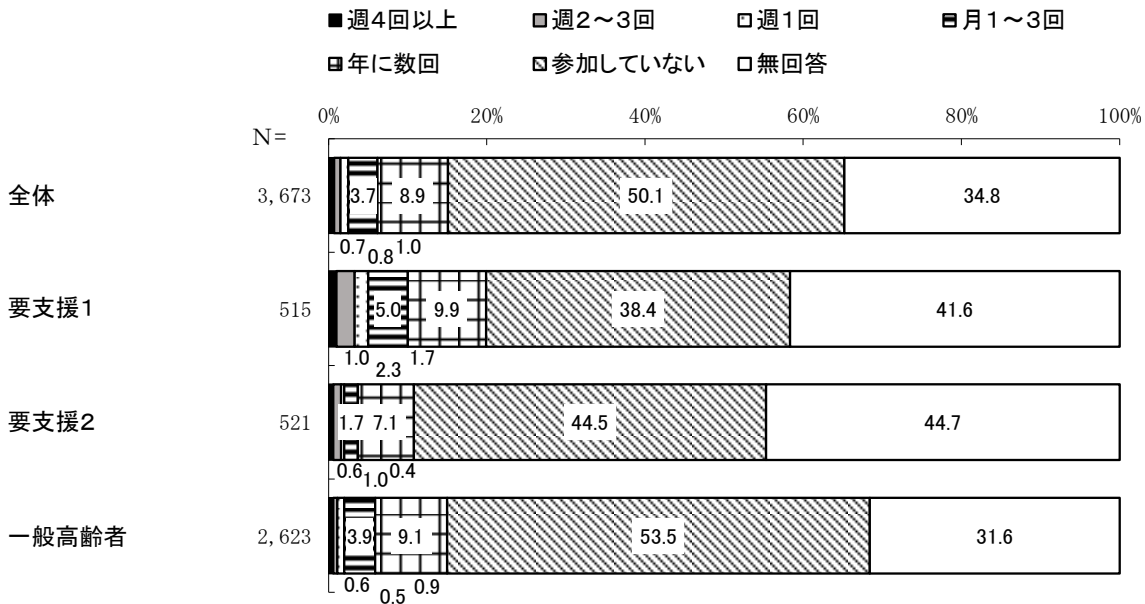
【⑤ 介護予防のための通いの場】

「参加していない」の割合は、要支援1で33.2%、要支援2で38.4%、一般高齢者で60.4%となっています。



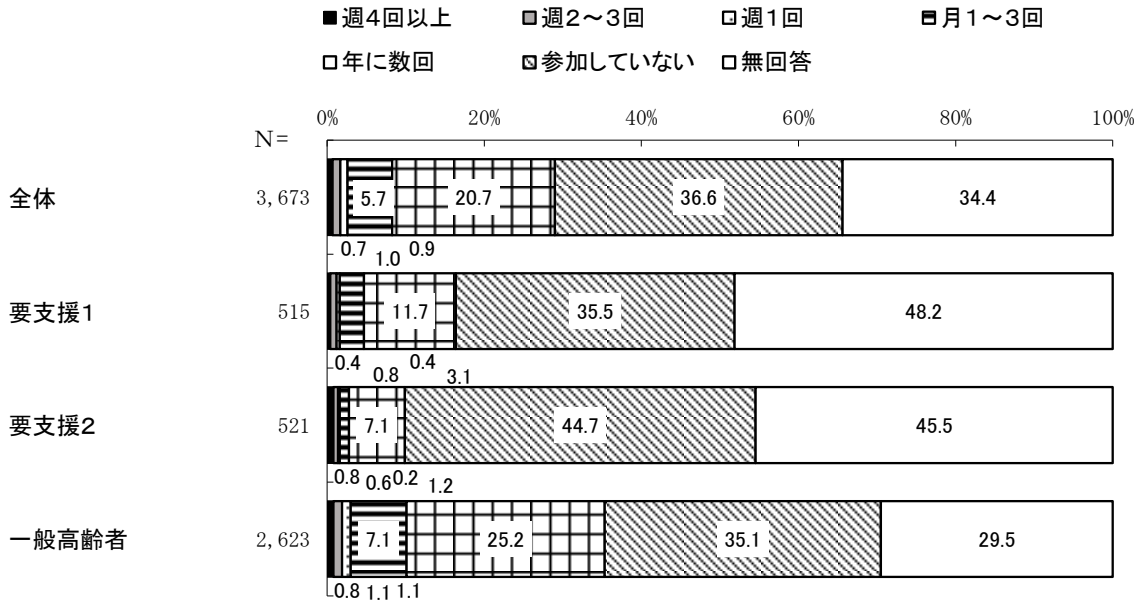
【⑥ 老人クラブ】

「参加していない」の割合は、要支援1で38.4%、要支援2で44.5%、一般高齢者で53.5%となっています。



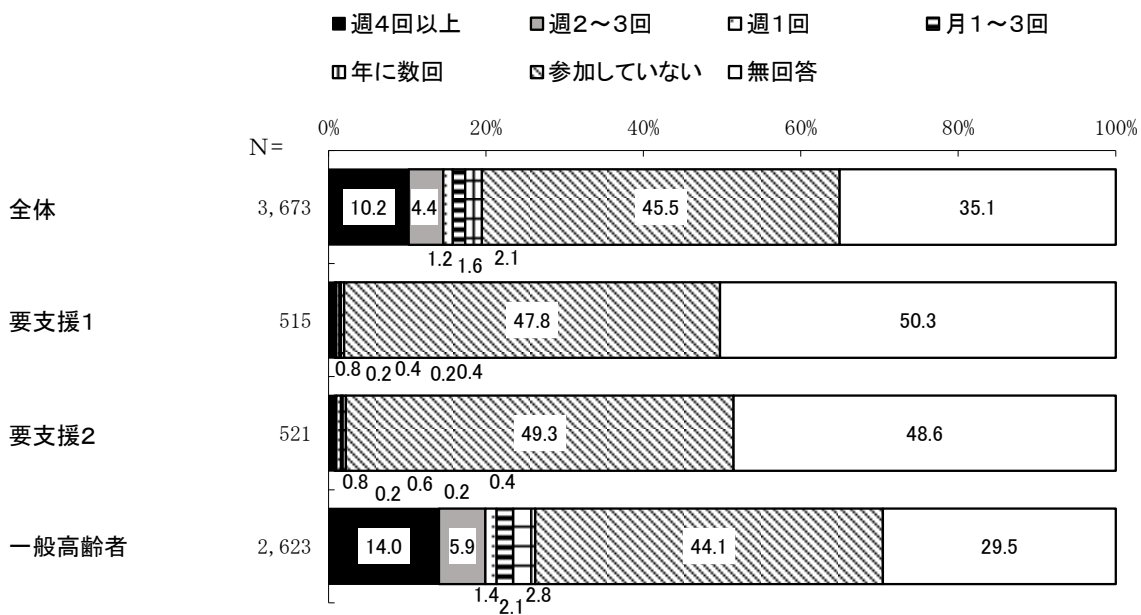
【⑦ 町内会・自治会】

「参加していない」の割合は、要支援1で35.5%、要支援2で44.7%、一般高齢者で35.1%となっています。要支援1と要支援2との差が9.2ポイントで、一般高齢者と要支援1との差に比べ小さくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



【⑧ 収入のある仕事】

「参加していない」の割合は、要支援1で47.8%、要支援2で49.3%、一般高齢者で44.1%となっており、参加している割合は一般高齢者が高く、要支援1と要支援2との間に大きな差がみられません。

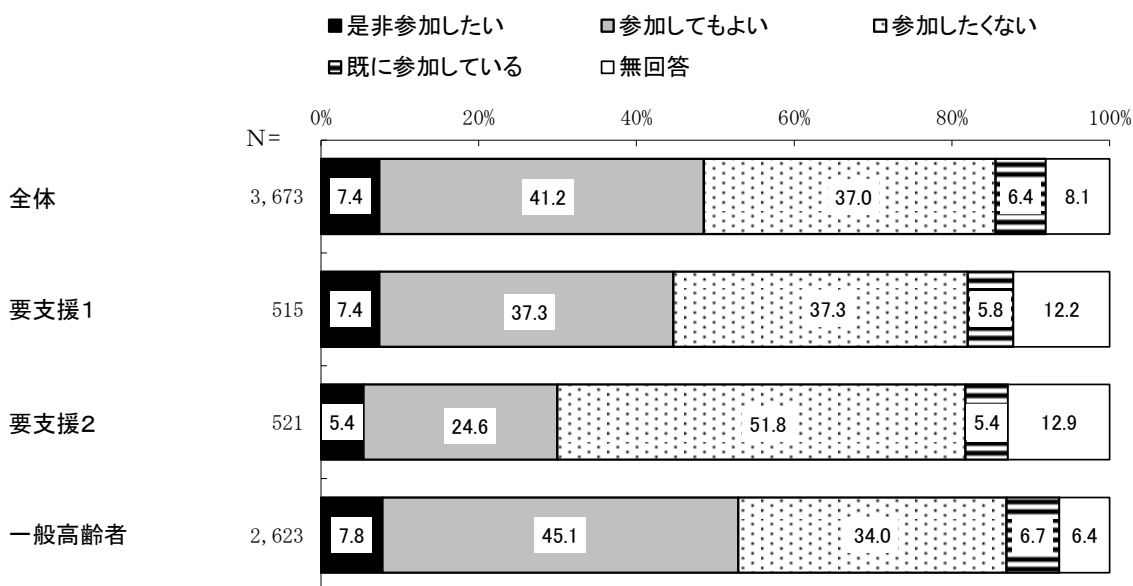


(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つだけ)

要支援1では、「参加してもよい」、「参加したくない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「是非参加したい」が7.4%となっています。

要支援2では、「参加したくない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が24.6%となっています。

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が45.1%と最も高く、次いで「参加したくない」が34.0%、「是非参加したい」が7.8%となっています。

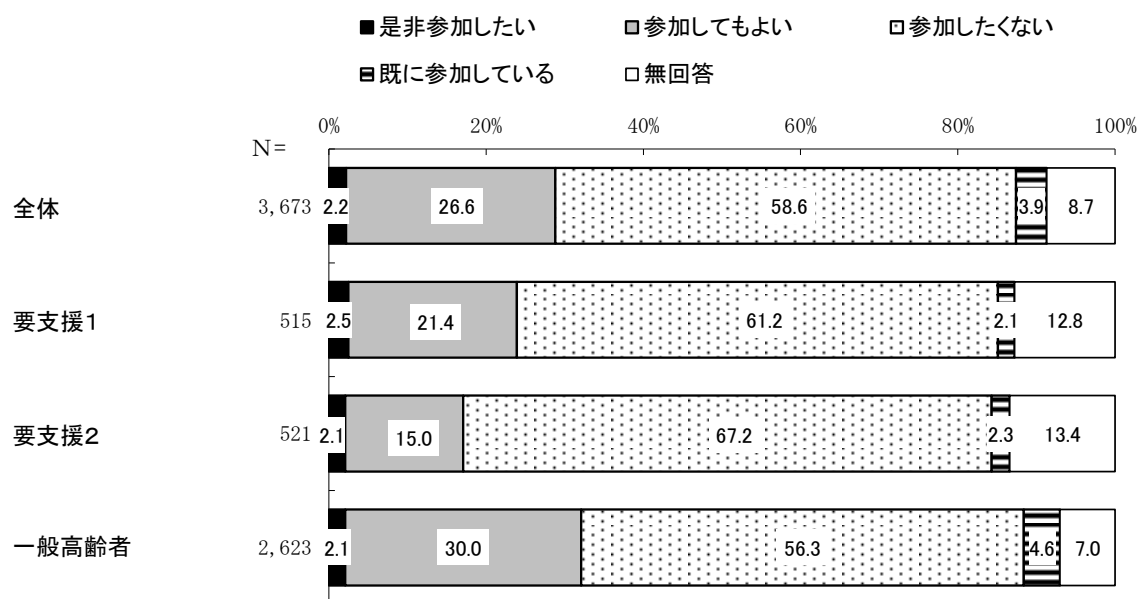


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つだけ）

要支援1では、「参加したくない」の割合が61.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」が21.4%となっています。

要支援2では、「参加したくない」の割合が67.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」が15.0%となっています。

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が56.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」が30.0%となっています。



問6 たすけあいについて

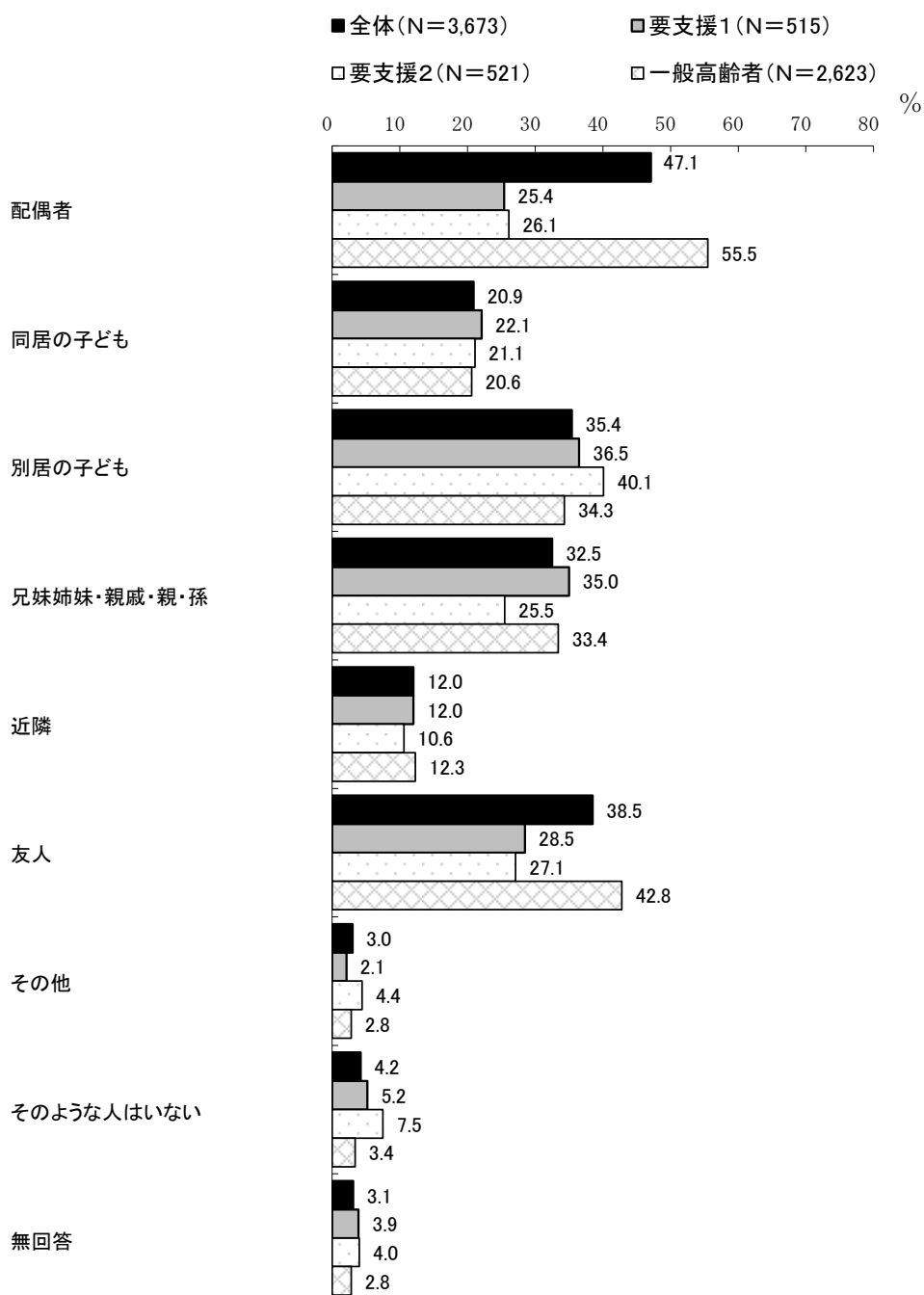
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

要支援1では、「別居の子ども」の割合が36.5%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.0%、「友人」が28.5%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が40.1%と最も高く、次いで「友人」が27.1%、「配偶者」が26.1%となっています。

一般高齢者では、「配偶者」の割合が55.5%と最も高く、次いで「友人」が42.8%、「別居の子ども」が34.3%となっています。



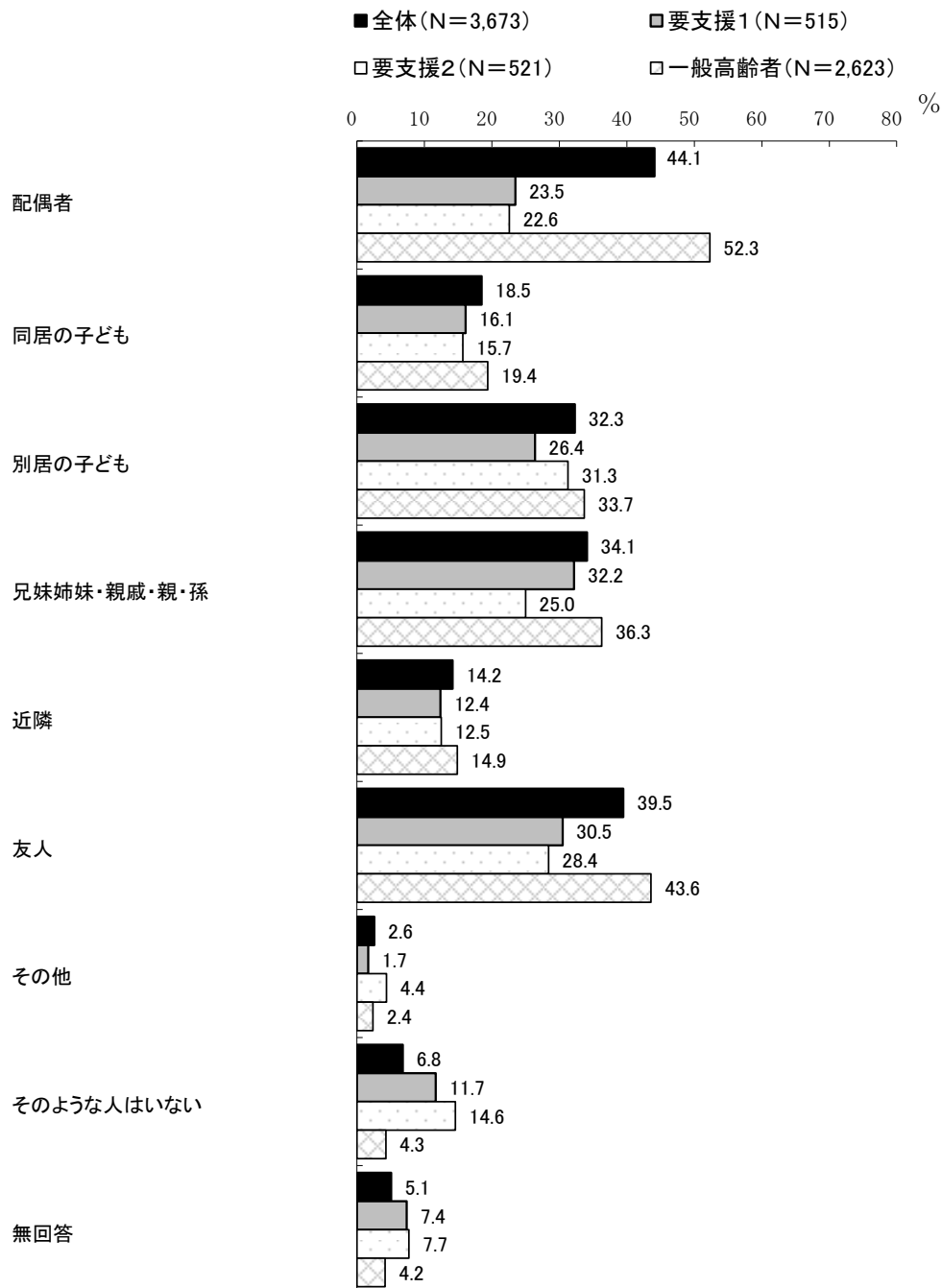
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

f

要支援1では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が32.2%と最も高く、次いで「友人」が30.5%、「別居の子ども」が26.4%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が31.3%と最も高く、次いで「友人」が28.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.0%となっています。

一般高齢者では、「配偶者」の割合が52.3%と最も高く、次いで「友人」が43.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.3%となっています。

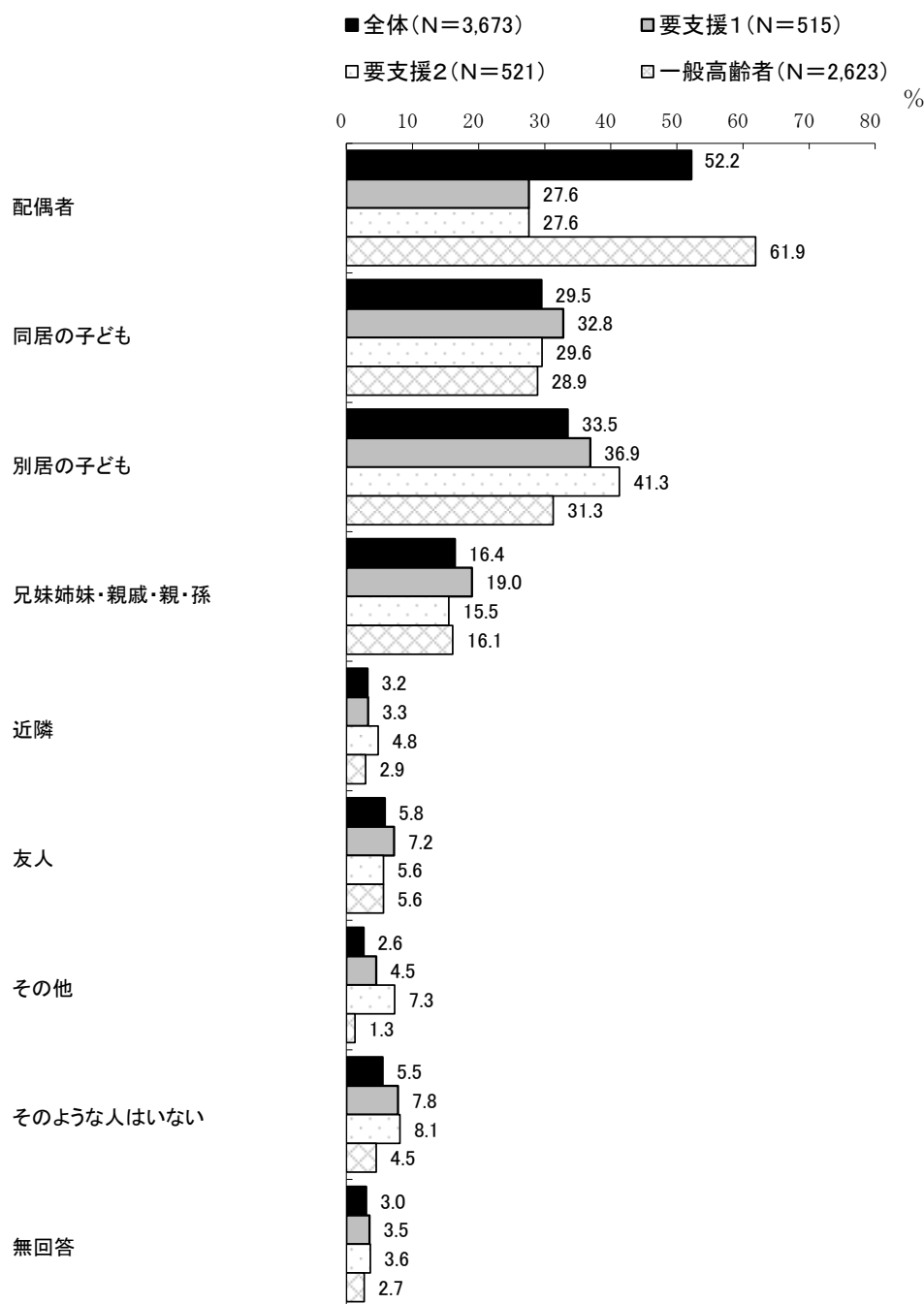


**(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)**

要支援1では、「別居の子ども」の割合が36.9%と最も高く、次いで「同居の子ども」が32.8%、「配偶者」が27.6%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が41.3%と最も高く、次いで「同居の子ども」が29.6%、「配偶者」が27.6%となっています。

一般高齢者では「配偶者」の割合が61.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が31.3%、「同居の子ども」が28.9%となっています。



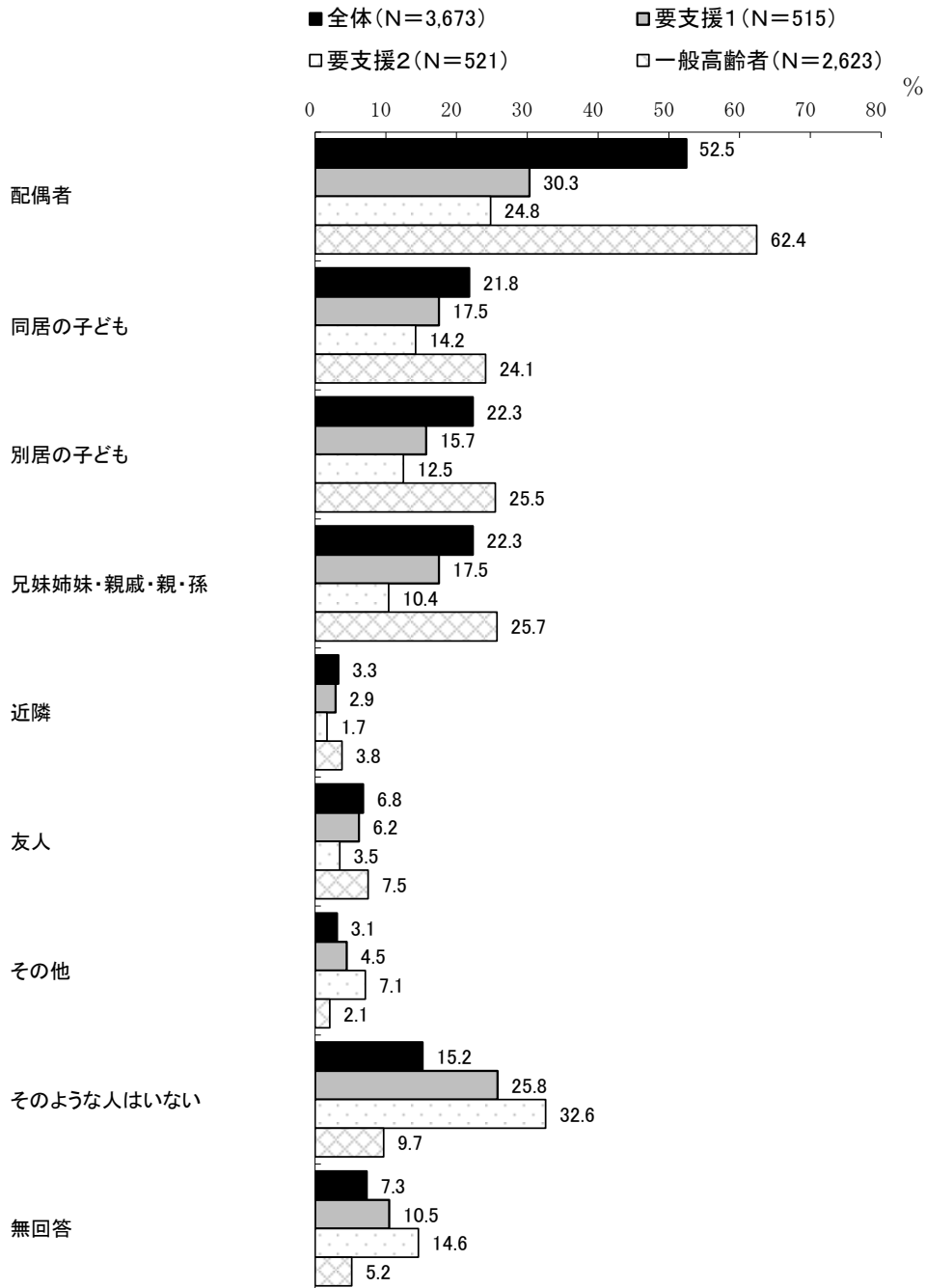


(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも) f

要支援1では、「配偶者」の割合が30.3%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が25.8%、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.5%となっています。

要支援2では、「そのような人はいない」の割合が32.6%と最も高く、次いで「配偶者」が24.8%、「同居の子ども」が14.2%となっています。

一般高齢者では、「配偶者」の割合が62.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.7%、「別居の子ども」が25.5%となっています。



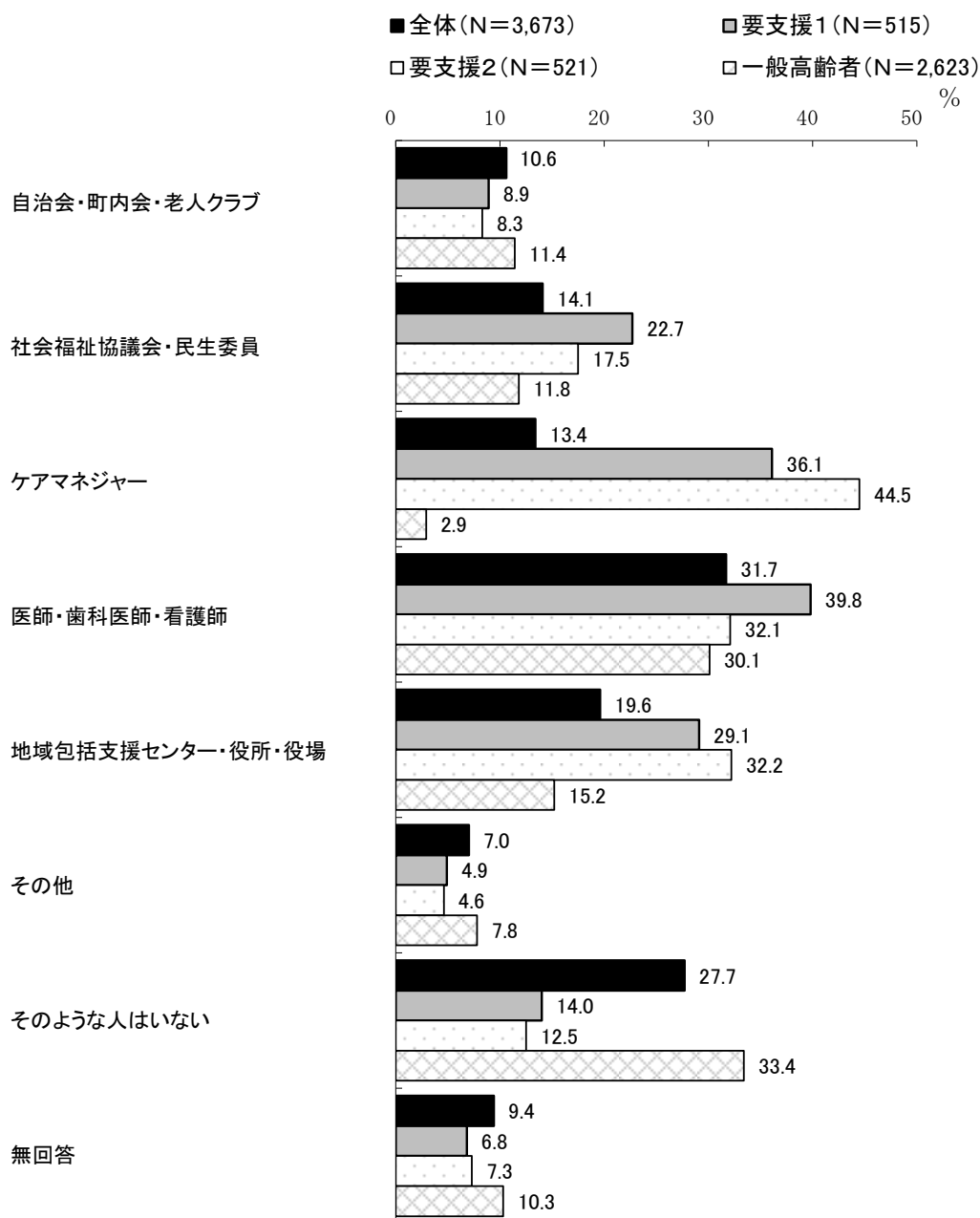
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(○はいくつでも)

要支援1では、「医師・歯科医師・看護師」の割合が39.8%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」が36.1%、「地域包括支援センター・役所・役場」が29.1%となっています。

要支援2では、「ケアマネジャー」の割合が44.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が32.2%、「医師・歯科医師・看護師」が32.1%となっています。

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が33.4%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が30.1%、「地域包括支援センター・役所・役場」が15.2%となっています。

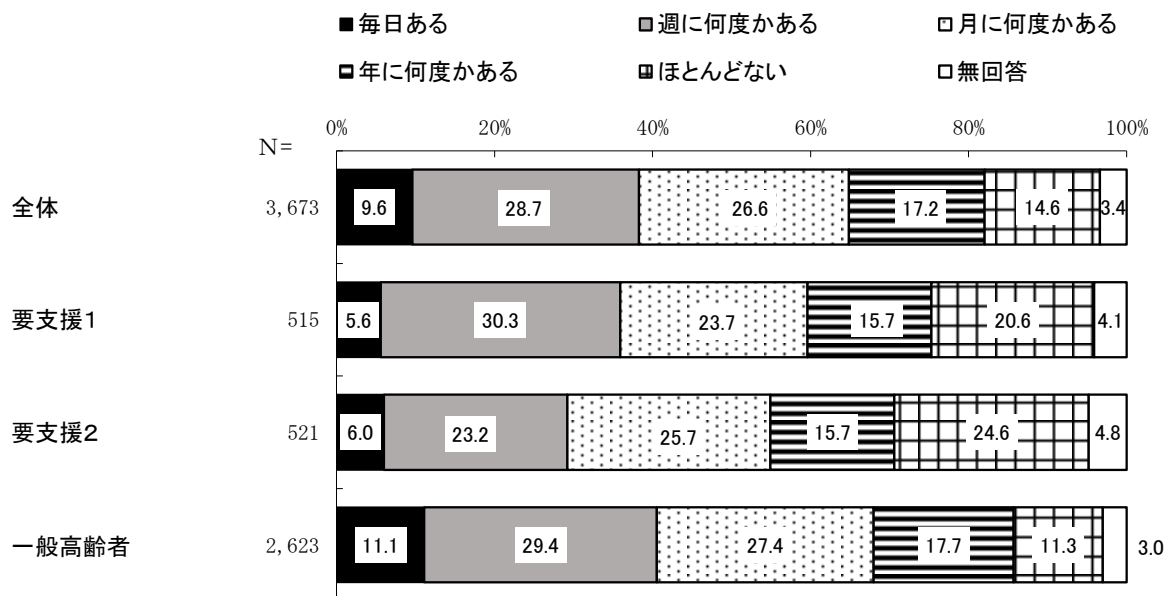


(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つだけ) f

要支援1では、「週に何度かある」の割合が30.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が23.7%、「ほとんどない」が20.6%となっています。

要支援2では、「月に何度かある」の割合が25.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」が24.6%、「週に何度かある」が23.2%となっています。

一般高齢者では、「週に何度かある」の割合が29.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」が27.4%、「年に何度かある」が17.7%となっています。



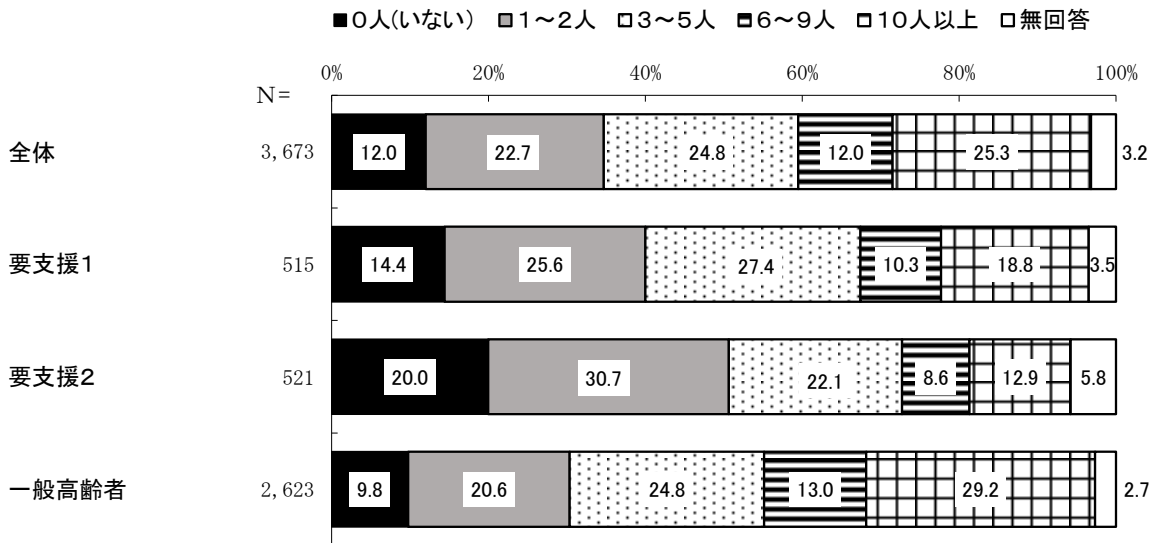
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

同じ人には何度会っても1人と数えることとします(〇は1つだけ)

要支援1では、「3～5人」の割合が27.4%と最も高く、次いで「1～2人」が25.6%、「10人以上」が18.8%となっています。

要支援2では、「1～2人」の割合が30.7%と最も高く、次いで「3～5人」が22.1%、「0人(いない)」が20.0%となっています。

一般高齢者では「10人以上」の割合が29.2%と最も高く、次いで「3～5人」が24.8%、「1～2人」が20.6%となっています。



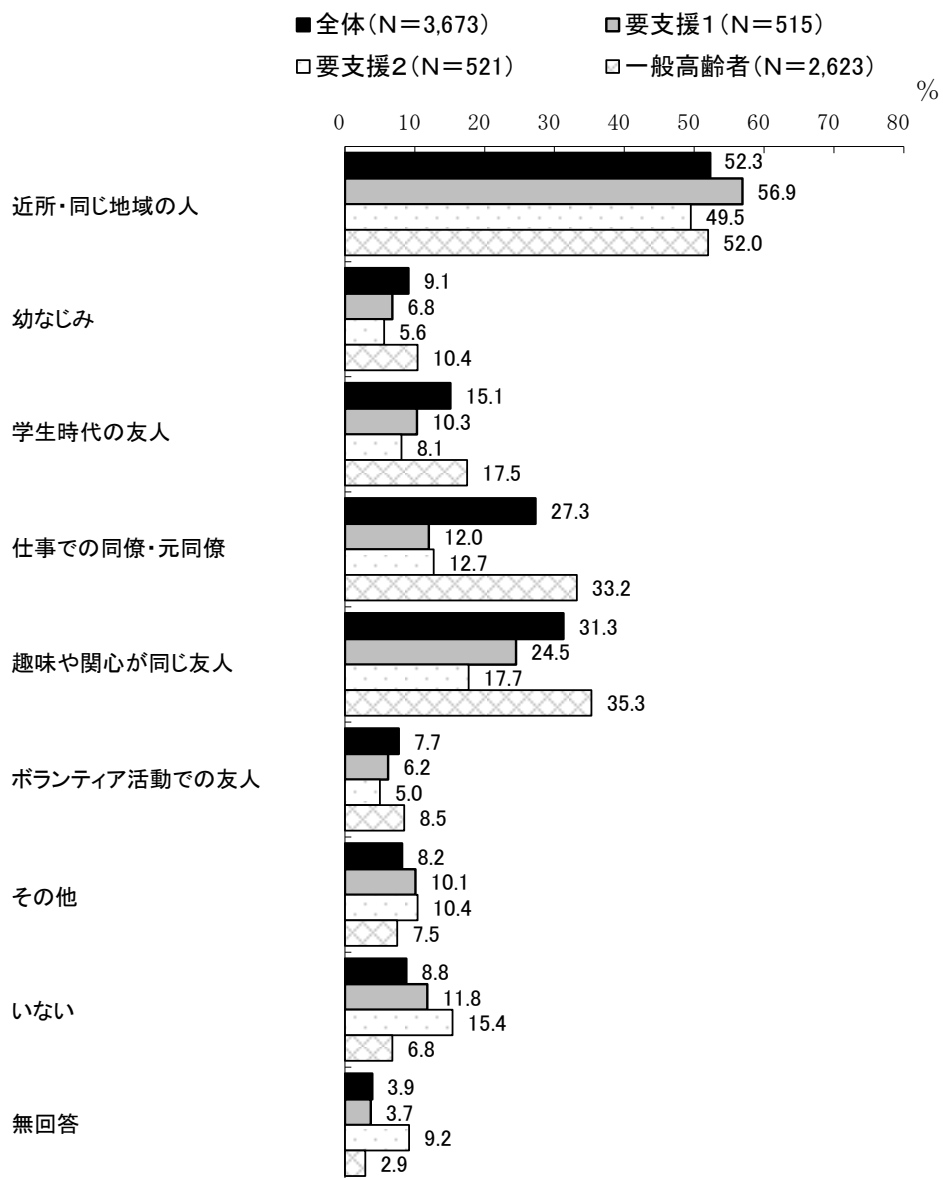
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

f

要支援1では、「近所・同じ地域の人」の割合が56.9%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が24.5%、「仕事での同僚・元同僚」が12.0%となっています。

要支援2では、「近所・同じ地域の人」の割合が49.5%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が17.7%、「いない」が15.4%となっています。

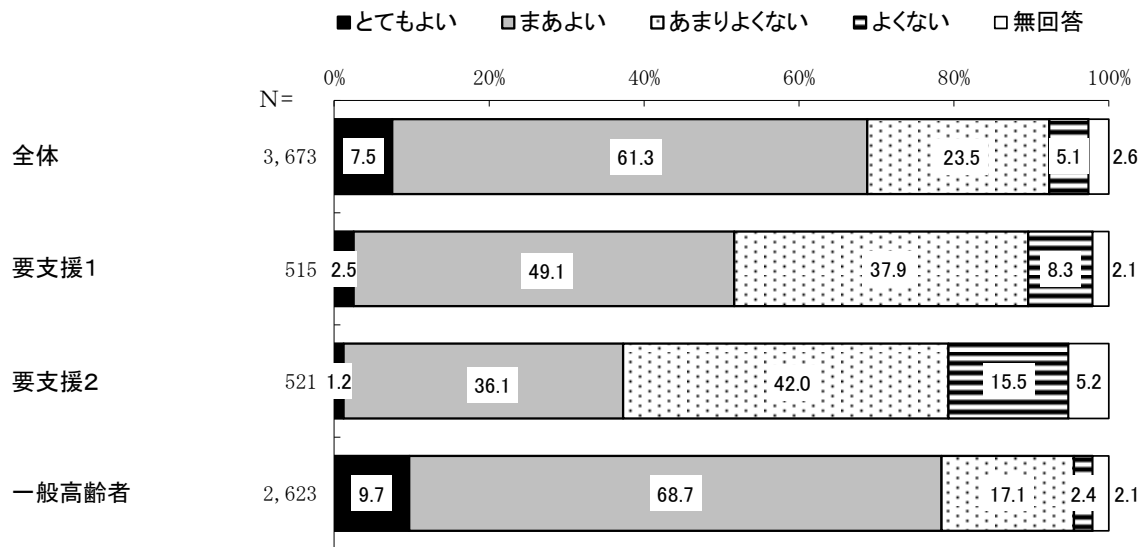
一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が52.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が35.3%、「仕事での同僚・元同僚」が33.2%となっています。



問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つだけ)

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康状態がよい人』の割合は、要支援1で51.6%、要支援2で37.3%、一般高齢者で78.4%となっています。また、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『健康状態がよくない人』の割合は、要支援1で46.2%、要支援2で57.5%、一般高齢者で19.5%となっています。

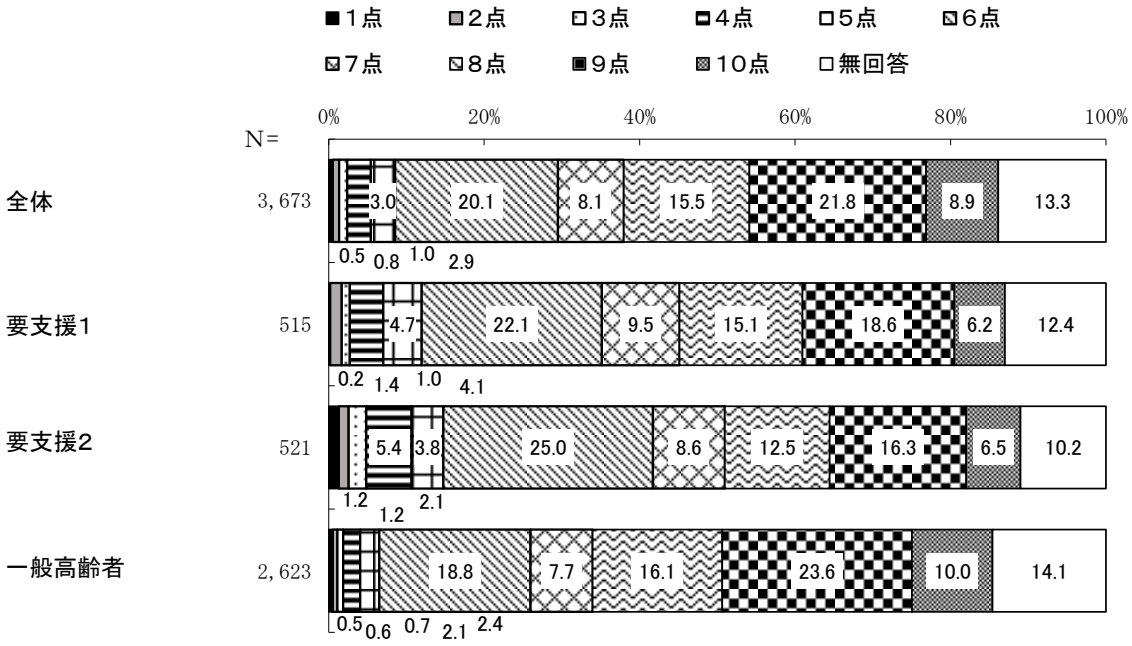


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つだけ) G

要支援1では、「6点」の割合が22.1%と最も高く、次いで「9点」が18.6%、「8点」が15.1%となっています。

要支援2では、「6点」の割合が25.0%と最も高く、次いで「9点」が16.3%、「8点」が12.5%となっています。

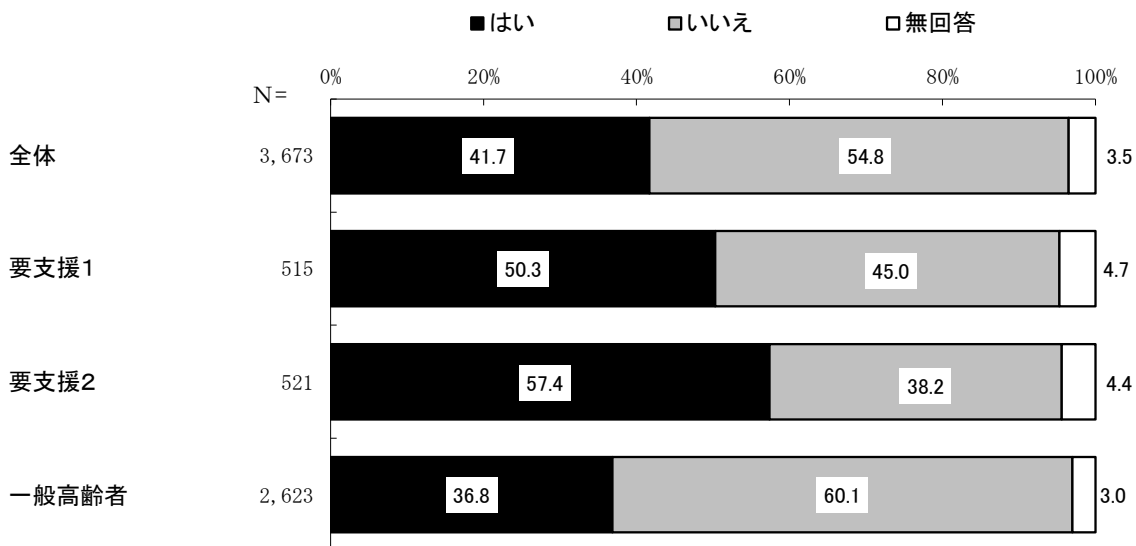
一般高齢者では、「9点」の割合が23.6%と最も高く、次いで「6点」が18.8%、「8点」が16.1%となっています。



※点数が「10点」に近いほど【幸せ】、「0点」に近いほど【不幸せ】となっています。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか  
(○は1つだけ)

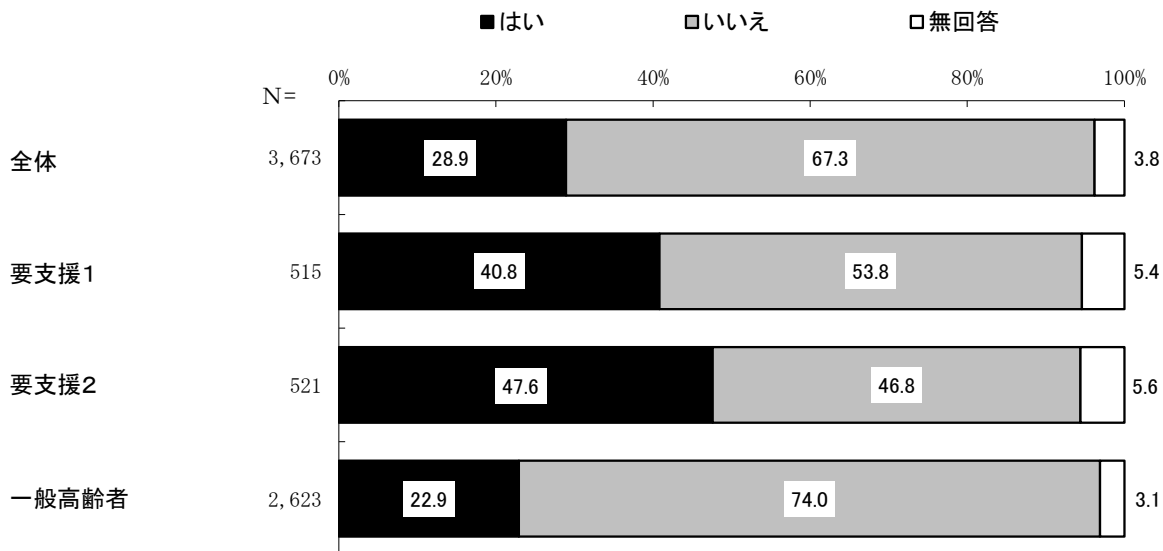
「はい」の割合は、要支援1で50.3%、要支援2で57.4%、一般高齢者で36.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が13.5ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。





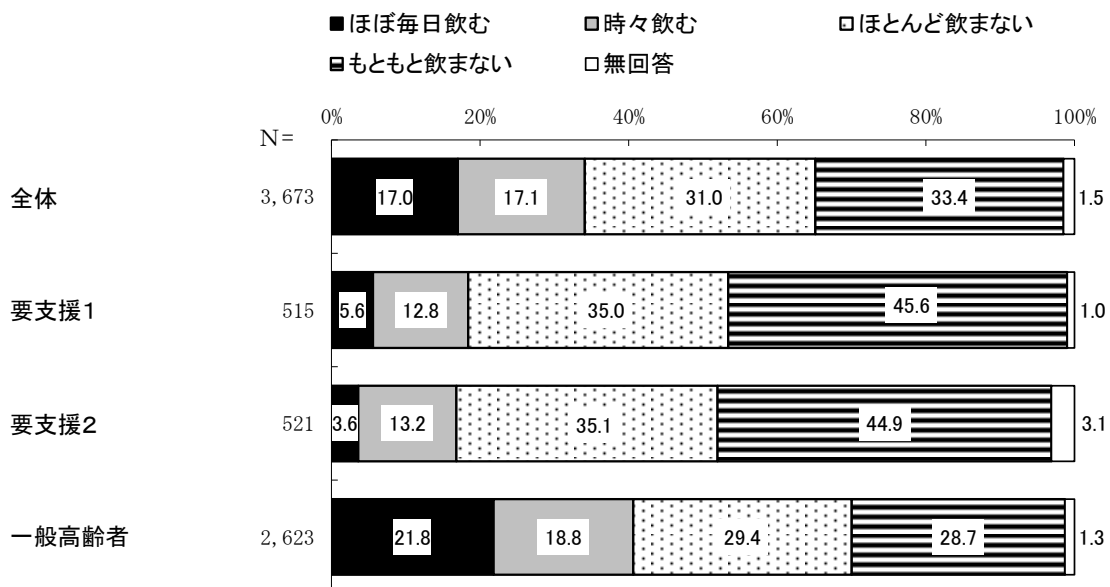
**(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つだけ)**

「はい」の割合は、要支援1で40.8%、要支援2で47.6%、一般高齢者で22.9%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が17.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



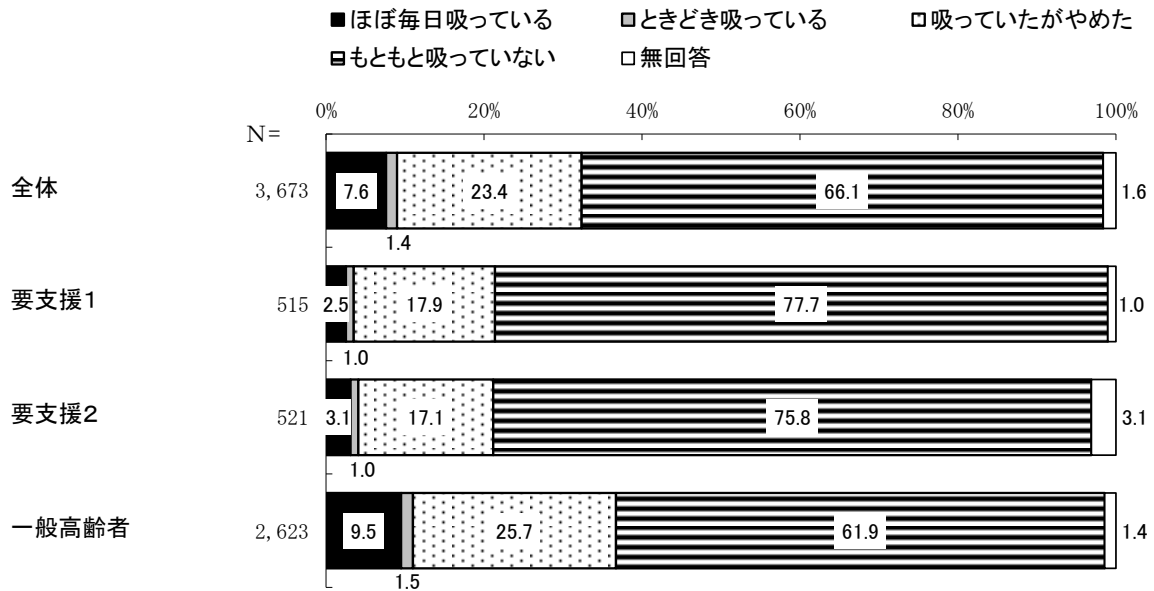
**(5) お酒は飲みますか (○は1つだけ)**

「ほぼ毎日飲む」の割合は、要支援1で5.6%、要支援2で3.6%、一般高齢者で21.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が16.2ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



(6) タバコは吸っていますか (○は1つだけ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている人』の割合は、要支援1で3.5%、要支援2で4.1%、一般高齢者で11.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。

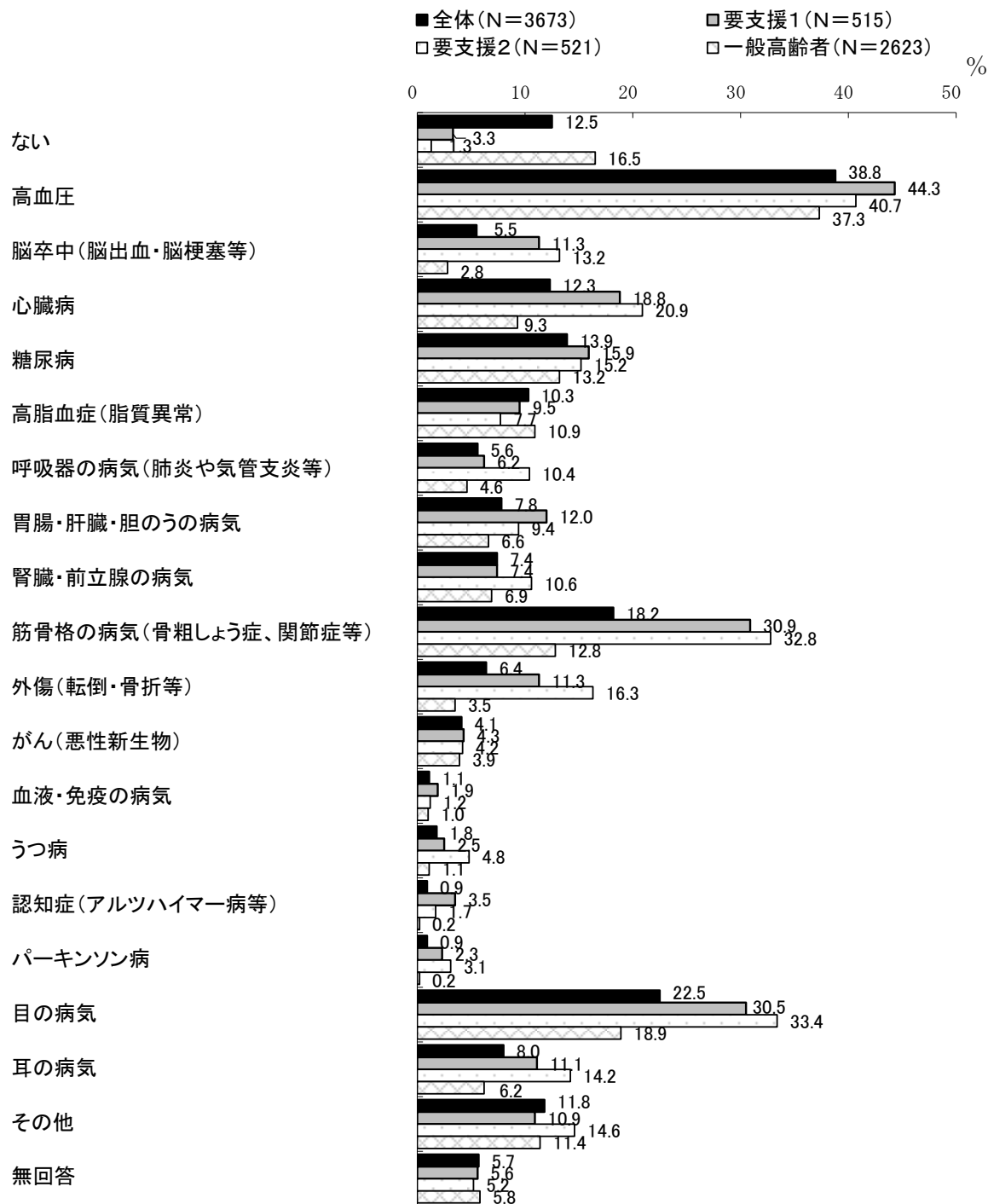


(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

要支援1では、「高血圧」の割合が44.3%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が30.9%、「目の病気」の割合が30.5%となっています。

要支援2では、「高血圧」の割合が40.7%と最も高く、次いで「目の病気」が33.4%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が32.8%となっています。

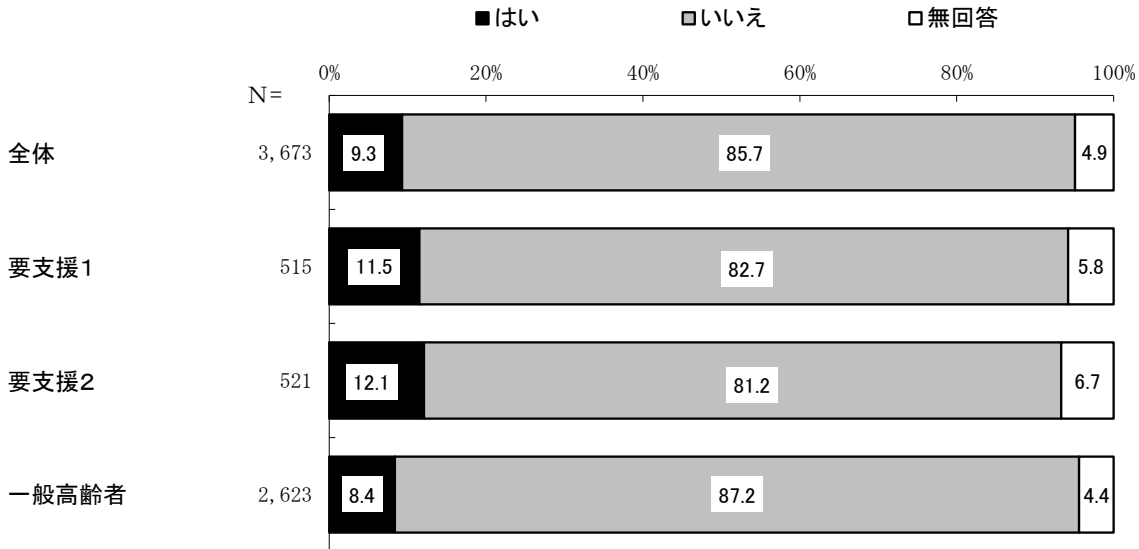
一般高齢者では、「高血圧」の割合が37.3%と最も高く、次いで「目の病気」が18.9%、「ない」が16.5%となっています。



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

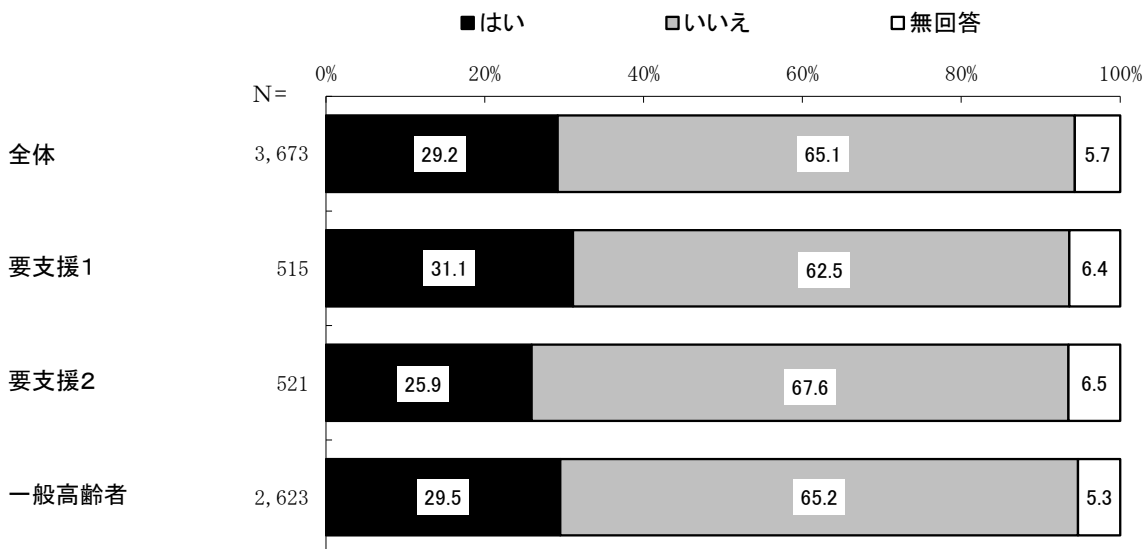
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で11.5%、要支援2で12.1%、一般高齢者で8.4%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はいくつでも)

「はい」の割合は、要支援1で31.1%、要支援2で25.9%、一般高齢者で29.5%となっています。

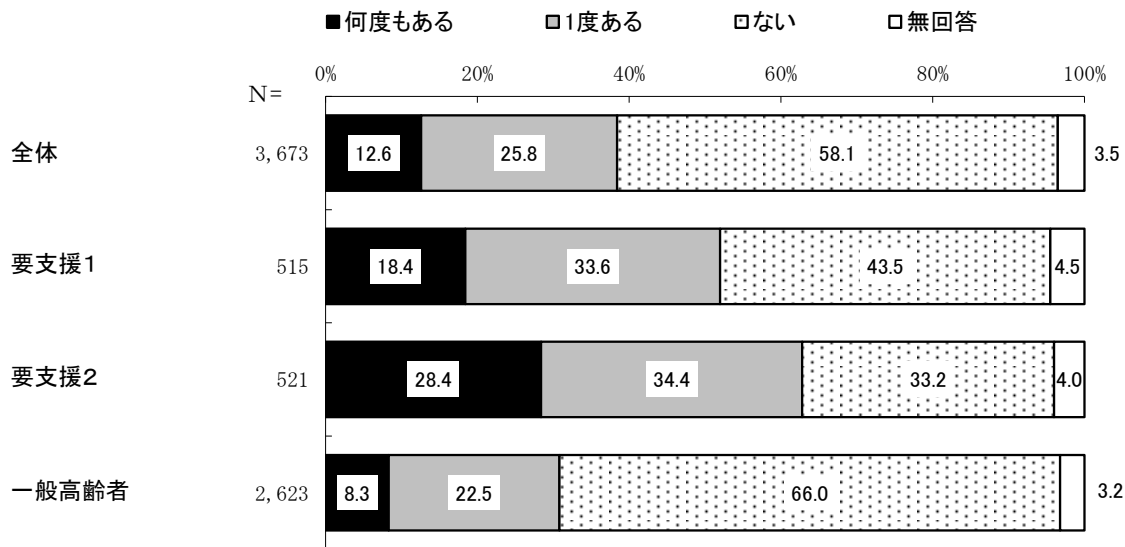


問9 セーフコミュニティの取り組みについて

問9-1 転倒予防について

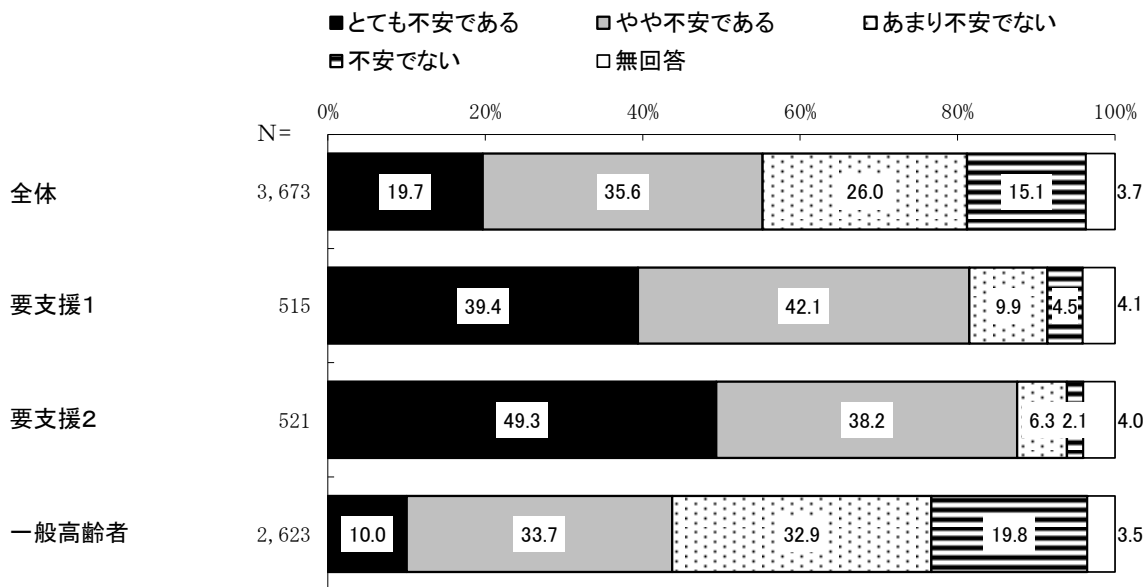
(1) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つだけ)

「何度もある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、要支援1で52.0%、要支援2で62.8%、一般高齢者で30.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が21.2ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



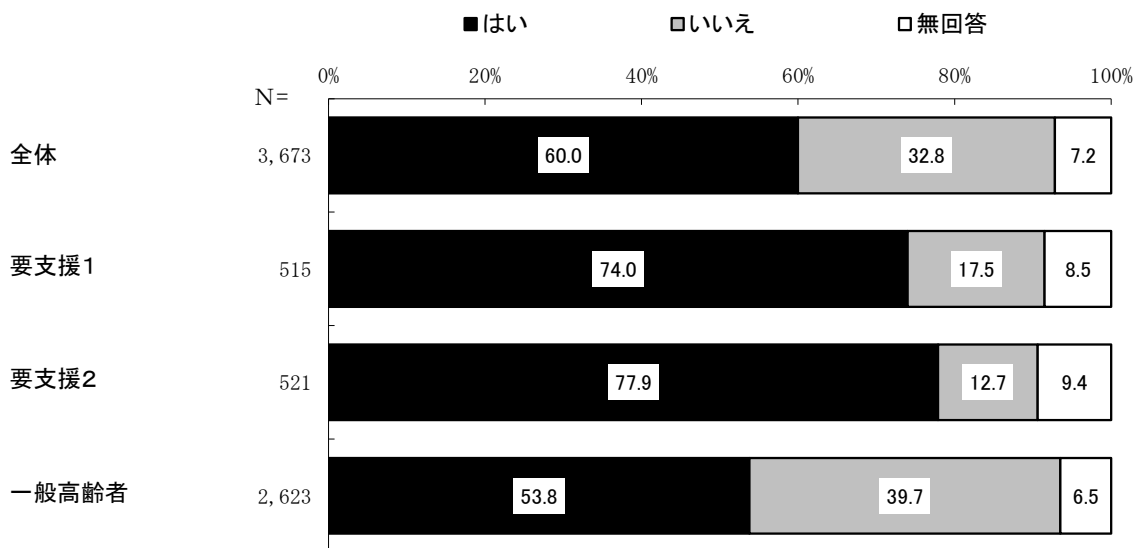
**(2) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つだけ)**

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、要支援1で81.5%、要支援2で87.5%、一般高齢者で43.7%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が37.8ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



**(3) 転倒を防止するために何か心がけていることはありますか (○は1つだけ)**

要支援1では、「はい」の割合が74.0%、「いいえ」の割合が17.5%となっています。  
 要支援2では、「はい」の割合が77.9%、「いいえ」の割合が12.7%となっています。  
 一般高齢者では、「はい」の割合が53.8%、「いいえ」の割合が39.7%となっています。



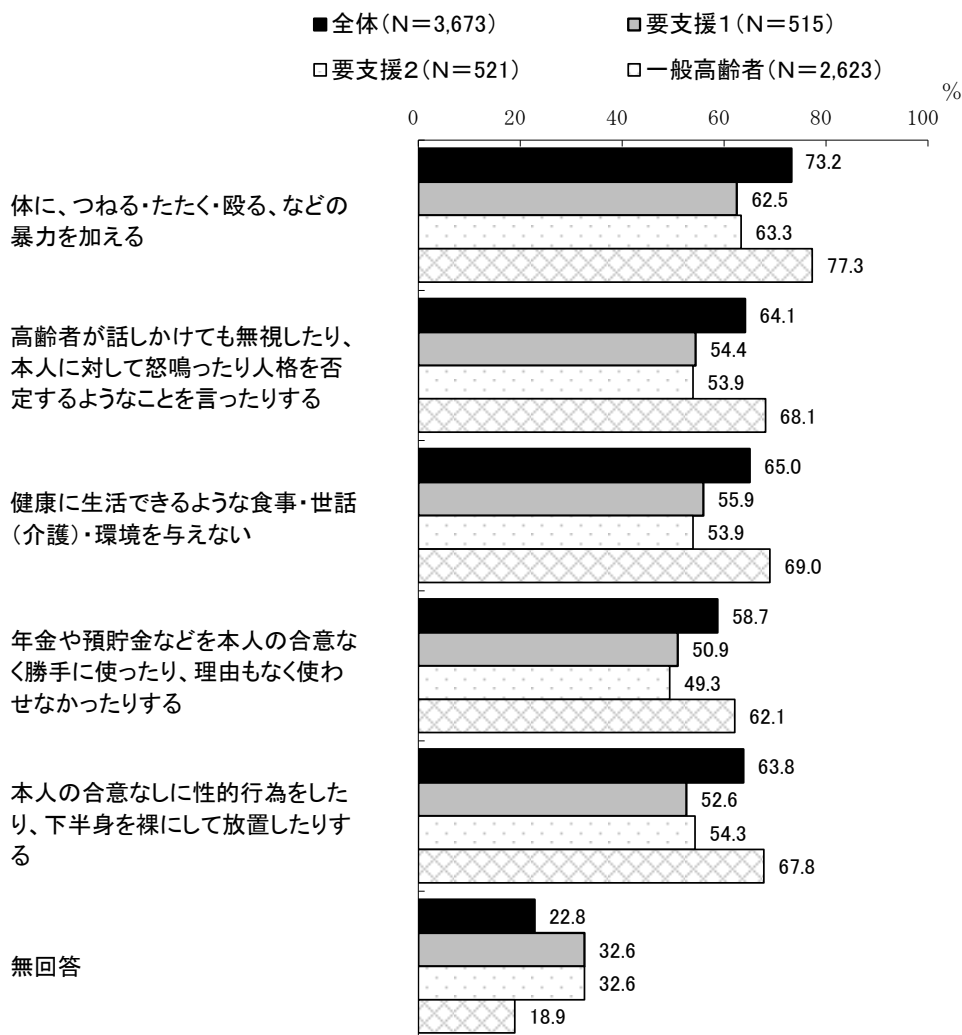
問9-2 高齢者の虐待防止について

(1) あなたは、次のようなことが虐待にあたると思いますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が62.5%と最も高く、次いで「健康に生活できるような食事・世話(介護)・環境を与えない」が55.9%、「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」が54.4%となっています。

要支援2では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が63.3%と最も高く、次いで「本人の合意なしに性的行為をしたり、下半身を裸にして放置したりする」が54.3%、「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」、「健康に生活できるような食事・世話(介護)・環境を与えない」の割合が53.9%となっています。

一般高齢者では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が77.3%と最も高く、次いで「健康に生活できるような食事・世話(介護)・環境を与えない」が69.0%、「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」が68.1%となっています。

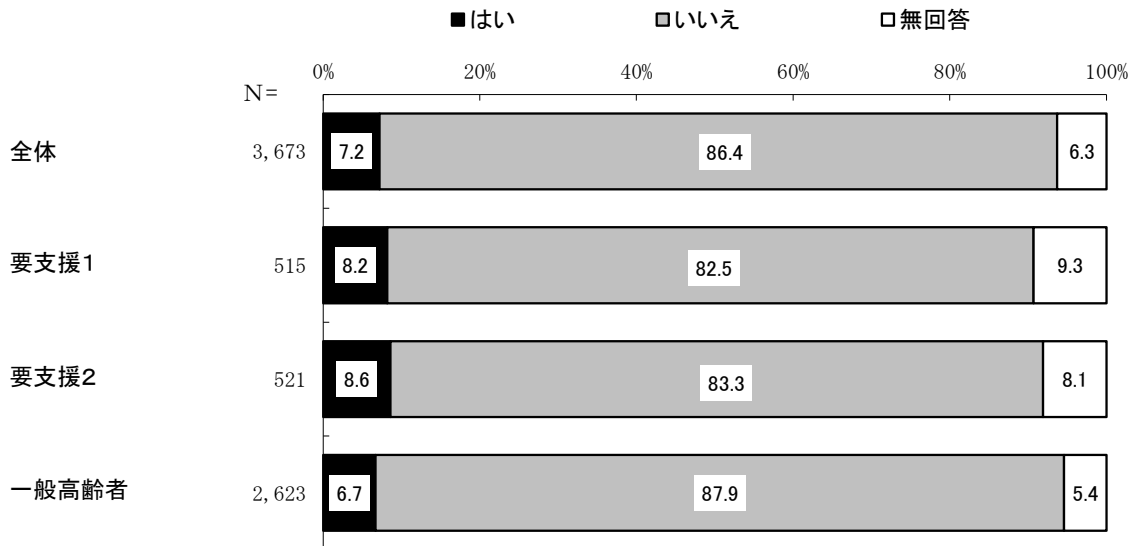


**（２）あなたの身近で、上記のような高齢者虐待があるという話や実態を見聞きしたことがありますか（○は1つだけ）**

要支援1では、「はい」の割合が8.2%、「いいえ」の割合が82.5%となっています。

要支援2では、「はい」の割合が8.6%、「いいえ」の割合が83.3%となっています。

一般高齢者では、「はい」の割合が6.7%、「いいえ」の割合が87.9%となっています。



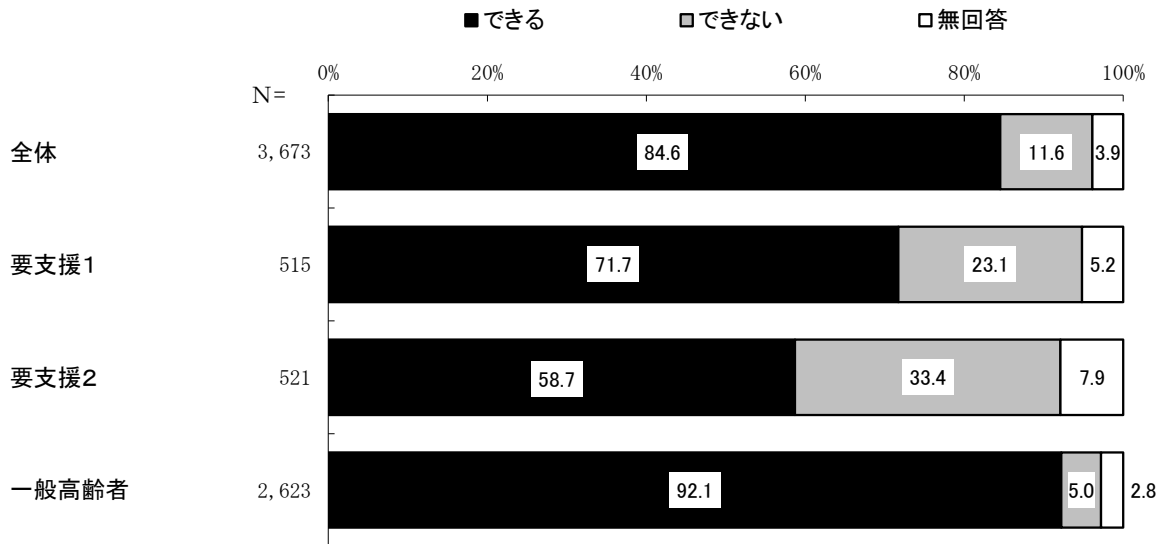


問9-3 防災について

(1) 災害が起きた時に自力又は家族の協力による避難ができますか (○は1つだけ)

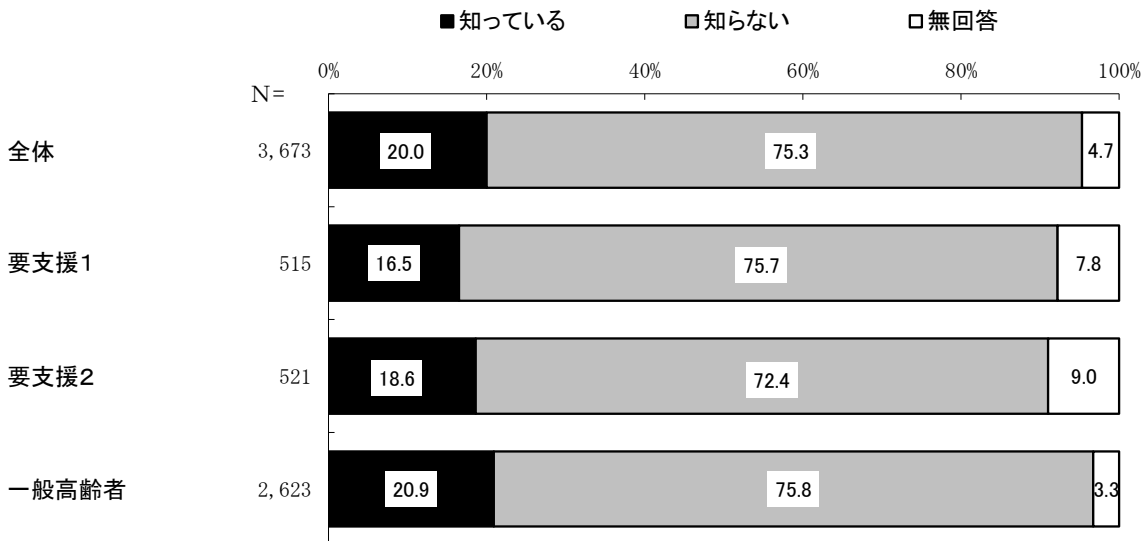
○は1つだけ

要支援1では、「できる」の割合が71.7%、要支援2では58.7%、一般高齢者では92.1%となっており、身体状況が悪化するとともに割合が低くなっています。



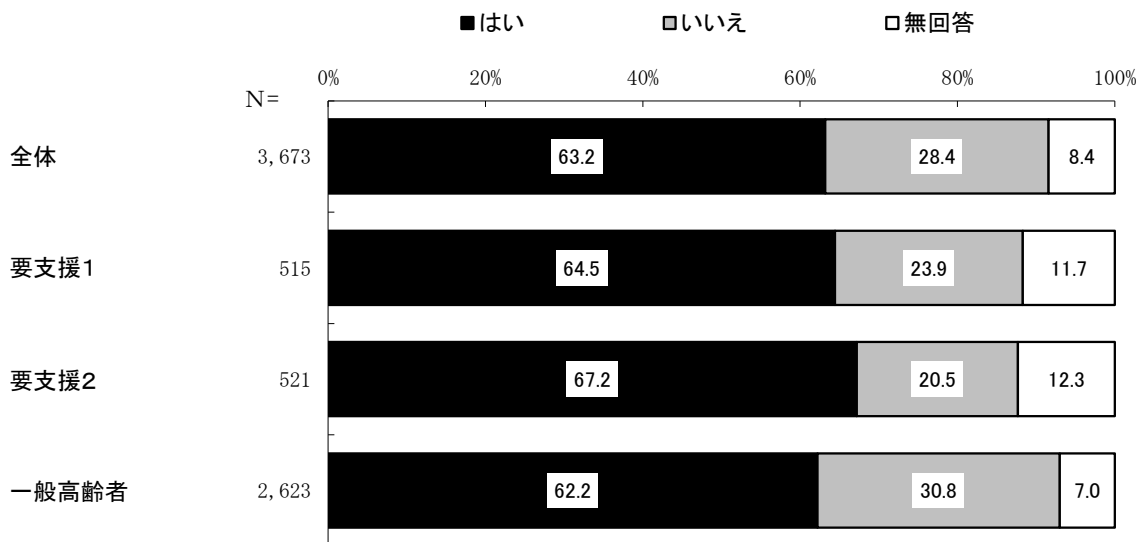
(2) 「避難行動要支援者名簿」をご存知ですか (○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が16.5%、要支援2では18.6%、一般高齢者では20.9%となっており、認知度について特に大きな差は見られない。



**（3）今後自力または家族の協力による避難が困難になった場合「避難行動要支援者名簿」に登録したいと思いませんか（〇は1つだけ）**

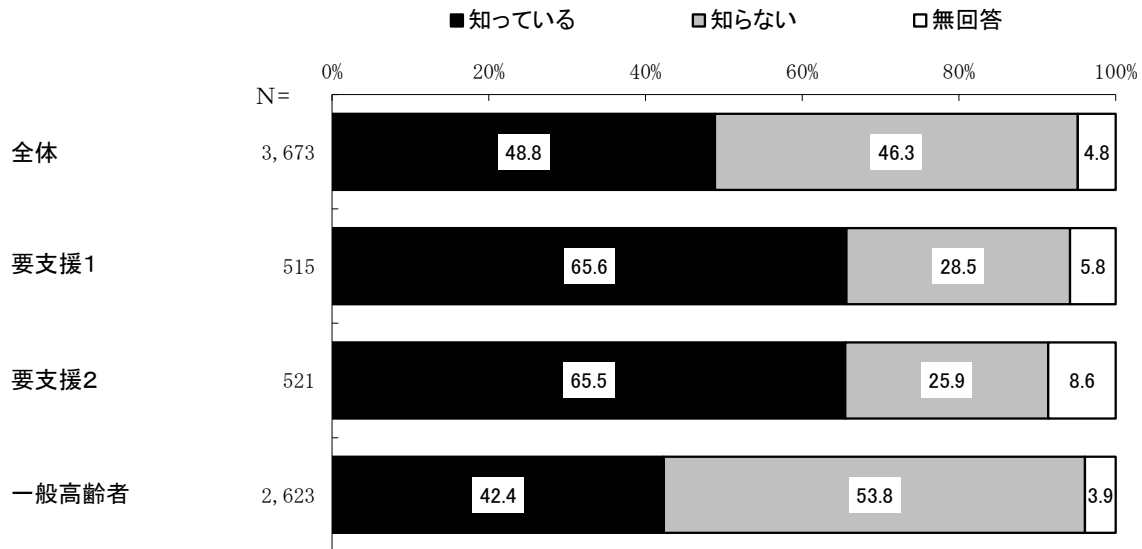
要支援1では、「はい」の割合が64.5%、要支援2では67.2%、一般高齢者では62.2%となっており、特に大きな差はみられませんが「いいえ」の割合では、一般高齢者で30.8%と他に比べ高くなっています。



問10 地域包括支援センターについて

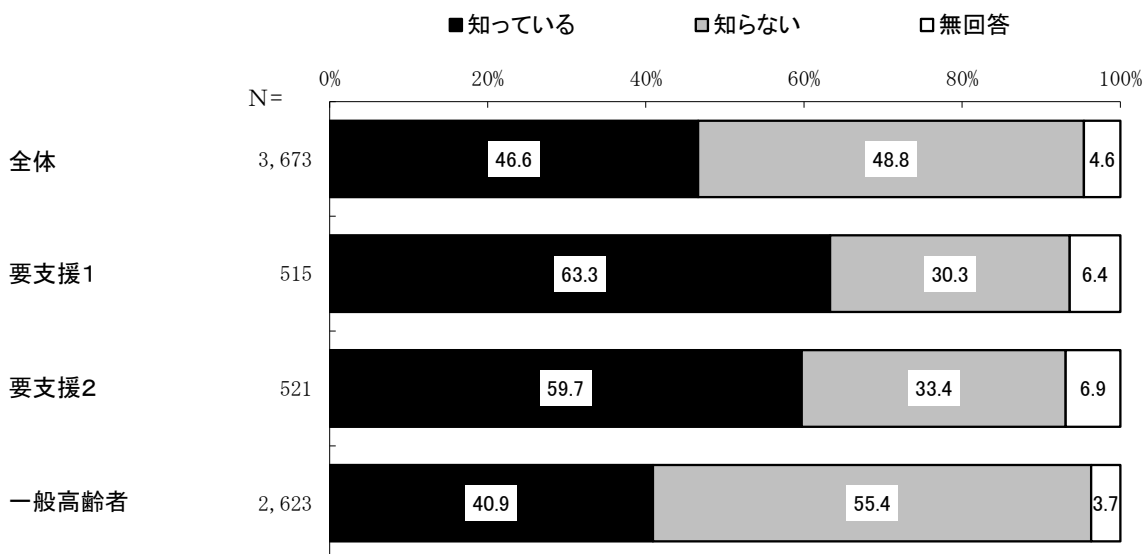
(1) お住まいの地区を担当する地域包括支援センターの場所や連絡先をご存知ですか  
(○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が65.6%、要支援2では65.5%、一般高齢者では42.4%となっており、要支援者での認知度が高く、一般高齢者ではこれに比べ、認知度が低くなっています。



(2) 地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口であることをご存知ですか  
(○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が63.3%、要支援2では59.7%、一般高齢者では40.9%となっており、要支援者での認知が高くなっている。





久留米市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査報告書（資料編）

令和2年7月

発行：久留米市健康福祉部長寿支援課

〒830-8520

福岡県久留米市城南町15番地3

TEL 0942-30-9184

FAX 0942-36-6845